はじめに

このたびは、Vodafone 702sMOをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- Vodafone 702sMOをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書は基本操作編、Vodafone live!編の2編構成となっております。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.26-33）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

Vodafone 702sMOは、W-CDMA方式とGSM方式に対応しております。

ご注意

- 本書の内容を一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 基本機能に関して、一部、日本では提供していないサービスがあります。
  Be related with basic functions, in part, there is service which is not offered in Japan.
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先（☞P.26-33）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

付属品

■電池パック
(MOBE01)

■急速充電器
(MOCE01)

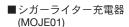
■TransFlash™
メモリカード

■SDアダプター

■USBケーブル＆ユーティリティーソフトウェア
(MOGF01)

オプション品

■卓上ホルダー
(MOEE01)

■シガーライター充電器
(MOJE01)

■ステレオイヤホンマイク (MOCF01)

- 付属品・オプション品についてのお問い合わせ先
（☞P.26-33）
- 電池パック、急速充電器、USBケーブル＆ユーティリティーソフトウェアは、オプション品としても取り扱っています。

目次

基本操作編

ご利用になる前に

基本的な操作のご案内

マナーモード

文字の入力方法

電話帳

TV コール

カメラ

ディスプレイの設定

音の設定

データ管理

セキュリティ機能

その他の機能

オプションサービス

Vodafone live! 編

Vodafone live!

メール受信

メール送信

メールボックス

メールのその他機能

ウェブの基本操作

情報の利用

ウェブのその他機能

V アプリの基本操作

V アプリの利用

V アプリのその他機能

Abridged English Manual

付録

本書の見かた

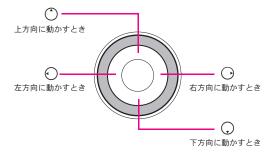
メモ 本書では、Vodafone 702sMOを702sMOと表記しています。
本書に記載されている画面は一例であり、使用状況によって画面の表示や番号などが実際の画面とは異なる場合があります。操作のめやすとしてご利用ください。

本文中のマークの表記

ヒント メモ …本文中の説明の補足となる情報や、関連する操作の方法など、本機をより便利に使用するための内容が記されています。

注意 …してはいけない操作や、設定を行ったことによる制限など、本機を使用するうえで注意すべき内容が記されています。

ボタンの表記について

メニュー項目の選択や画面上のカーソルの位置の移動、画面のスクロールを行うときなどは、ナビゲーション／選択ボタンを上下左右方向に軽く動かします。項目を選択し決定するとき、文字入力時に候補を確定するときなどは、ボタンを押します。
本書での操作説明中、ナビゲーション／選択ボタン操作は、次のように表記しています。

ボタンの操作方法によって、下記のように表記しています。
- 上または下方向に動かすとき…
- 左または右方向に動かすとき…
- 上下左右いずれかの方向に動かすとき…
- ボタンを押すとき…◎

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客さま、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
強制	強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

702sMO、電池パック、充電器の取扱いについて（共通）

●702sMOに使用する電池パックおよび充電器は、ボーダフォンが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

●強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

●ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

●電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、702sMO、充電器を入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、電池パック、702sMO、充電器の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

●直射日光の強い場所や炎天下の車内など、高温の場所で使用、放置しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障や事故の原因となります。

●ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

●子供が使用する場合保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となることがあります。

強制

●乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込むなど、けがなどの原因となります。

702sMOの取扱いについて

分解禁止

●分解、改造をしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

強制

●航空機に搭乗する際には 702sMO の電源をお切りください。
電子機器などに影響を与える場合があります。万一702sMOをお使いになる際は適用規定を遵守し、乗務員の指示に従ってください。

強制

●爆発の恐れのある場所に入るときは、あらかじめ702sMOの電源を切ってください。
このような場所では、電池パックの出し入れや充電はしないでください。爆発の危険性の高い場所で火花が発生すると、爆発や火災になり、ケガまたは死亡することもあります。
爆発の危険性の高い場所とは、ボートの甲板の下などのような燃料を供給する場所、燃料や化学物質を運搬したり貯蔵する施設、空気に穀物粒、ほこり、金属紛その他の化学物質や粒子が含まれている場所、および通常車のエンジンを止めるように指示されるような場所をいいます。爆発の危険性の高い場所では多くの場合危険を示す掲示がありますが、これのない場合もあります。

強制

●爆破作業現場および起爆装置の近くではあらかじめ702sMOの電源を切ってください。
爆破作業に対する干渉を避けるため、爆破作業現場の起爆装置の近くや、この掲示がある場所では、702sMOの電源を切ってください。起爆装置が誤動作する場合があります。

強制

● **高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、702sMOの電源を切ってください。**
電子機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

強制

● **病院など、使用を禁止された区域では、702sMOの電源を切ってください。**
電子機器や医用電気機器に影響をおよぼす場合があります。（医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。）

禁止

● **医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。**
702sMOを医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

強制

● 心臓の弱い方は着信音量や着信バイブレータ（振動）の設定に注意してください。

禁止

● **自動車などを運転中に使用しないでください。**
安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全な場所に停車させてからご使用ください。

禁止

● **自動車のエアーバッグ周辺に 702sMO を置かないでください。**
エアーバッグは強い力で膨らみます。エアーバッグ周辺に置いた物は、エアーバッグが膨らむと強い力で飛ばされ、車の同乗者に重大な傷害を与えることがあります。

強制

● **自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあるため、自動車内で使用する際は、十分な対電磁波保護がされているか、自動車販売店にご確認ください。**
安全走行を損なう原因となります。

強制

● **お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。**

禁止

● **702sMOを濡らさないでください。**
水などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

強制

● **屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。**
落雷、感電の原因となります。

●**磁気カードなどを702sMOに近づけたり、挟んだりしないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレフォンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

●**液晶面に衝撃を与えないでください。**
ガラスでできていますので、割れるとけがをする恐れがあります。

●**アンテナが損傷している場合には、702sMOは使用しないでください。**
損傷したアンテナが肌に触れると、火傷やけがの原因となります。

●**アンテナやストラップなどを持って 702sMO を振り回さないでください。**
本人や他人に当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

●**混雑している場所では使用しないでください。**
アンテナなどが他の人に当たりけがの原因となることがあります。

●**スピーカーにピンなどの金属片が吸着していないか確かめてから使用してください。**
けがなどの事故の原因となります。

●**フラッシュを撮影や簡易ライト以外に使用しないでください。**
目がくらむことにより視力障害・けがの原因となります。

●**充電中は、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。**
やけど・故障の原因となります。

●**ステレオイヤホンマイク（オプション品）を使用中、音量を上げすぎないでください。**
大きな音は聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。また、周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。

電池パックの取扱いについて

電池パックは、Motorola 702sMO専用 バッテリーをご使用ください。

● **分解、改造をしないでください。また、直接ハンダ付けしないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

● **火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置しないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

● **火の中に投下しないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

● **端子を針金などの金属類で接続しないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

● **釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

● **電池パックをぬらさないでください。**
電池パックに水などの液体が入ると発熱や感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

● **電池パックを702sMOや充電器に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

● **電池パック内部の液が目の中に入った場合は、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**
失明などの原因となります。

警告

● **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。**
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

● **電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、702sMOおよび 充電器から取り外し、使用しないでください。**
そのまま使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

●電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

●電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

●直射日光の強い場所や炎天下の車など、高温の場所で使用、放置しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたりする原因となります。

充電器の取扱いについて

●濡れた電池パックを充電しないでください。
発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。

●充電器のコードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

●コンセントにつながれた状態で充電端子やコネクタをショートさせないでください。また、充電端子やコネクタに手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

●充電器を濡らさないでください。
水などの液体が入ると発熱や感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

●**分解、改造をしないでください。**
感電、火災、故障の原因となります。

●**充電器は、風呂場などの湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。**
感電の原因となります。

●**電源プラグをコンセントに差し込むときは、針金などの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。**
感電の原因となります。

●**濡れた手で充電器、コンセントに触れないでください。**
感電、ショート、火災の原因となります。

●**長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
感電、火災、故障の原因となります。

●**指定の電源、電圧で使用してください。**
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
AC 充電器：AC 100～240 V

●**電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。**
火災の原因となります。

●**万が一、水などの液体が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。**
感電、発煙、火災の原因となります。

注意

●**充電器のコードの上に重いものを載せたりしないでください。**
感電や火災の原因となります。

●**充電器をコンセントから抜く場合は、コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。**
コードを引っ張ると、コードが傷つき、感電や火災の原因となります。

●**お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
感電の原因となります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

本記載の内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末機等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年３月「社団法人　電波産業界」）の内容を参考にしたものです。

● **植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から702sMOは22cm以上離して携行および使用してください。**
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

● **満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、702sMOの電源を切るようにしてください。**
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

● **医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。**
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には702sMOを持ち込まないでください。
- 病棟内では、702sMOの電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、702sMOの電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから、電源OFF状態にしてください。

● **自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。**

メモリカードの取扱いについて

●乳幼児の手の届く所に置かないでください。
あやまって飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

●メモリカードスロットにメモリカード以外のものを入れないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

●メモリカードのデータ書き込み・読み出し中に、振動・衝撃を与えたり、メモリカードを取り出したり、電話機の電源を切らないでください。
データ消失、故障の原因となります。

●メモリカードは指定品以外のものを使用しないでください。
データの消失や故障の原因となります。
指定品については、最寄りのボーダフォンショップまたはお問い合わせ先（☞P.26-33）までご連絡ください。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 702sMOは、電波を利用しているため、屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 702sMOを公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 702sMOは、電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、ご注意ください。
- 事故や故障などにより702sMOに登録したデータ（電話帳・画像・サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- ３Ｇ（日本）モードは、日本国内でしかご利用になれません。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転をしながら702sMOをご使用になると危険ですので、おやめください。
- 702sMOをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 702sMOを車内で使用した場合、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機内では、絶対にご使用にならないでください。（電源も入れないでください。）

お取り扱いについて

- 702sMOの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますのでご注意ください。なお、これらに関して発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 702sMOを極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 702sMOを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 702sMOは防水仕様になっておりませんので、水濡れの危険性の高い場所での使用や湿度の高い場所での保管には充分ご注意ください。
- 702sMOは精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 702sMOのディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 702sMOの電源を入れた状態でメモリカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- メモリカードに新たにラベルやシールを貼らないでください。メモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- メモリカードに文字を書くときは、フェルトペン（油性）をご使用ください。鉛筆やボールペンは、ご使用にならないでください。メモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- メモリカードの金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- メモリカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなくなることがあります。

著作権等について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、インターネット上などでの配信などを行うと、「著作権侵害」、「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされるときは、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種【702sMO】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
SARは、0.78W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html
※技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

ご利用になる前に

機能一覧

USIMカード対応

電話番号などお客様の情報が書き込まれたカードです。USIM カード対応のボーダフォン携帯電話に対応しています。

TVコール

対応するボーダフォン携帯電話同士でお互いの画像を見ながら通話できます。（☞P.6-1）

国際ローミング対応

W-CDMA方式とGSM方式に対応しています。日本国内／海外を1つの電話番号でご利用いただけます。（☞P.2-18）

マナーモード

ボタン1つで着信音を鳴らさないようにできます。702sMOでは、マナーモードとして「バイブレータ」機能が対応します。（☞P.3-1）

電話帳

最大500件まで登録できます。USIMカードへも登録できます。（☞P.5-1）

ボイスタグ

相手の方の名前を音声で電話帳に登録し、発声して電話をかけることができます。（☞P.5-2）

カメラ

702sMOに内蔵された2つのカメラで静止画や動画を撮影できます。撮影した画像は日本国内／海外から送信できます。（☞P.7-1）

ショートカットメニュー

よく使うメニュー項目を登録し、簡単に呼び出すことができます。（☞P.12-4）

マルチメディア

702sMOで録画した動画を再生したり、音楽や音声を録音／再生できます。
（☞P.7-19）

メモリカード

いろいろなデータをTransFlash™メモリカードに保存できます。（☞P.1-17）

Language／言語選択

メニューや各種メッセージを英語表示に切り替えることができます。（☞P.8-12）

日本語	英語
選択	SELECT
戻る	BACK
表示	VIEW
編集	EDIT
終了	DONE

セキュリティ

無断で他の人が使えないようにするなど、さまざまなセキュリティ機能があります。（☞P.11-1）

MMS

ボーダフォンの携帯電話やE-mail対応の携帯電話、パソコンなどとの間で文字、画像、サウンド、スライドショーのように表示されるメッセージなどの送受信ができます。（☞P.15-1、P.16-1、P.17-1）

SMS

ボーダフォン携帯電話の間で文字メッセージのやりとりができます。
（☞P.15-1、P.16-1、P.17-1）

ウェブ

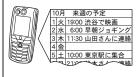
ウェブやインターネットから情報を入手できます。
（☞P.19-1）

Vアプリ

ウェブなどからVアプリを入手し、利用することができます。（☞P.22-1）

マルチ接続
通話中やウェブ接続中にさまざまな機能を呼び出して操作することができます。（☞P.21-4）

データフォルダ
画像やサウンドなどのデータをまとめて管理し、フォルダ内からウェブを利用してデータを入手することができます。
また、フォルダ内から直接ウェブに接続し、新しいデータを入手することもできます。（☞P.10-2）

カレンダー
指定した日時に音と文字でスケジュールを通知するように設定したり、独自の休日や記念日を登録することができます。（☞P.12-12）

待受画面表示
待受中の画面の内容や背景画像を設定することができます。（☞P.8-2）

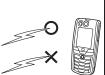
オプションサービス

転送電話サービス
かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。（☞P.13-3）

留守番電話サービス
電話に出られないとき、留守番電話センターが相手のメッセージをお預かりします。（☞P.13-7）

割込通話サービス
通話中に他からの電話を受けたり、かけられます。また、通話中の相手と保留中の相手を切り替えて通話ができます。（☞P.13-10）

多者通話サービス
最大6人まで同時に通話、または相手を切り替えながら通話することができます。（☞P.13-11）

発着信規制サービス
電話をかけたり、電話を受けたりすることを制限します。（☞P.13-12）

USIMカードのお取り扱い

USIMカードには、ご自分の電話番号のほか、電話帳などのデータが保存されています。

USIMカードを702sMOから外したときは、以下の点に気をつけて保管してください。

- カードを折り曲げない
- カードに傷をつけない
- カードを静電気の発生する場所に放置しない
- カードを水に濡らさない
- カードを汚さない

金色の金属面（IC部分）はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは、乾いた柔らかい布などでふいてください。

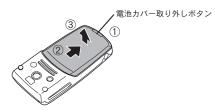
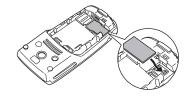
USIMカードを取り付ける／取り外す

取り外しの際は、必ず電源を切ってください。

USIMカードを取り付ける

1 電池カバー取り外しボタンを押しながら、電池カバーを矢印の方向にスライドさせて本体から取り外す

電池パックが入っている場合は、取り外します。

1
ご利用になる前に

2 金色の金属面を下にして、一番奥まで差し込む

3 電池パックをセットする

4 「カチッ」と音がするまで電池カバーを押し込む

USIMカードを取り外す

1 電池カバーを矢印の方向にスライドさせて本体から取り外す

電池パックが入っている場合は、取り外します。

2 USIMカードを引き出す

3 電池パックをセットする

4 「カチッ」と音がするまで電池カバーを押し込む

PINコード

USIMカードには、「PINコード」と「PIN 2コード」という2つの暗証番号があります。PINコードを忘れると、702sMOの機能が利用できなくなりますのでご注意ください。

PINコード

第三者による携帯電話の無断使用を防ぐための4～8ケタの暗証番号です。お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
PINコードは、変更することもできます。（☞P.11-6）
PINコードのON／OFF設定（☞P.11-7）を「ON」に設定すると、電源を入れたときにPINコードを入力しないと702sMOを使用することができなくなります。

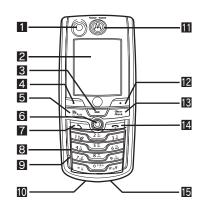
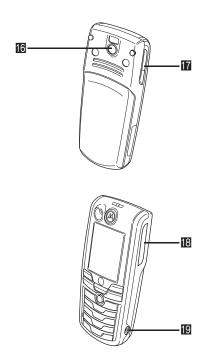
PIN2コード

お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
PIN 2コードは、変更することもできます。（☞P.11-6）

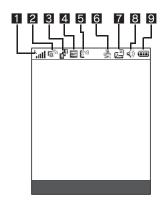
PINロック解除コード(PUK)

PINコードまたはPIN 2コードの入力を3回連続して間違うと、「PINロック」または「PIN 2ロック」が設定されます。PINロックを解除するには、PUKコードを入力して、新しいPINコードを設定する必要があります。（☞P.11-8）
PUKコードについては、お問い合わせ先（☞P.26-33）までご連絡ください。
PUKコードの入力を10回連続して間違えると、USIMカードが無効になり、702sMOが使用できなくなります。
USIMカードが使用できなくなったときは、お問い合わせ先（☞P.26-33）までご連絡ください。

各部の名称と機能

本体

1 **内側カメラ**
2 **ディスプレイ**
3 **メニューボタン**
メインメニューやサブメニューなどを表示するときに使います。
4 **左ソフトボタン**
ディスプレイ左下のガイドに表示された機能を実行するときに使います。（☞P.1-24）
5 **TVコールボタン**
TVコールをかけるときに使います。
6 **ナビゲーション／選択ボタン**（　　　　）・
ボタンを上下左右に軽く動かし、メニューや項目の選択、文字入力時のカーソル移動、画面のスクロールに使います。選択項目の決定などを行うときは、ボタンを押します。
7 **音声電話ボタン**
音声電話をかけたり、受けたりするときに使います。
8 **ダイヤルボタン**
電話番号をダイヤルしたり、数字や文字を入力するときに使います。
9 **送話口**
10 **充電端子**
11 **受話口**
12 **右ソフトボタン**
ディスプレイ右下のガイドに表示された機能を実行するときに使います。（☞P.1-24）
13 **クリアボタン**
文字を削除したり、1つ前の画面に戻るときに使います。
14 **電源／終了ボタン**
電話のON／OFFや、通話またはメニューを終了するときに使います。
15 **外部機器接続端子**
16 **外側カメラ**
17 **音量ボタン**
通話中にスピーカーの音量を調整したり、着信音の音量を調整するときなどに使います。
18 **カメラボタン**
カメラを起動したり、撮影するときに使います。
19 **ステレオイヤホンマイク接続端子**
ステレオイヤホンマイクなどを接続します。

ディスプレイ

実際の表示は、本書で記載している画面と異なる場合があります。

1 電波状態表示
垂直バーの本数で電波の強さを表示します。

2 ネットワーク表示
ネットワークの状態を表示します。
：パケット通信可能エリア
：パケット通信をサポート中

3 接続とデータ転送の状態表示
：通常の回線接続
：保護された回線接続
：通常のサイトへのパケット通信
：保護されたサイトへのパケット通信
：パケット通信中

4 使用している通信状況表示
国内では、（3G）が表示されます。海外でご利用になる場合、お客様がご使用になっているネットワーク（：3G、：GPRS、：GSM）が表示されます。

5 通話状況の表示
発信中および通話中は、が表示されます。留守番電話など「呼出なし」転送設定中は、が表示されます。

6 JAVA起動状態表示
JAVA起動時に、が表示されます。

7 メール受信状態表示

メールの受信状態を表示します。

：未読SMSまたはMMSメールあり

：未読MMSメールあり

：留守番電話への転送メッセージあり

：留守番電話への転送メッセージおよび未読SMSまたはMMSメールあり

：受信メールの保存メモリがいっぱいになっている

8 着信時通知表示

：サイレント設定時

：バイブレータ設定時

：バイブ&サウンド設定時

：音量（大）設定時

：音量（小）設定時

9 電池残量表示

垂直のバーで電池の残量を表示します。

「電池残量がありません」が表示され、電池アラーム音が鳴ったら、電池を充電してください。

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

電池パックの寿命はさまざまな要素によって左右されます。たとえば、様々な設定、電波状態、使用時の温度、使用している機能や設定内容、外部機器端子に接続されている機器、および音声、データ、その他のアプリケーションの使用状況などです。

けがややけどを防止するため、電池の端子に金属類を触れさせたり、ショートさせないでください。

電池の寿命を延ばすには:

- 指定の電池パックと充電器を必ず使用してください。これ以外の電池パックや充電器を使用した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 新しい電池パックまたは長期間保管していた電池パックの場合は、通常よりも充電時間が長くなることがあります。
- 充電は、室温または室温に近い温度の場所で行ってください。
- 電池パックを–10°C以下や45°C以上の温度の場所には放置しないでください。また、車内には絶対放置しないでください。
- 電池パックをしばらく使用しない場合は、補充電はせずに乾燥した冷暗所で保管してください。
- 電池パックは消耗品のため、充電時間が次第に長くなります。これは異常ではありません。電池パックを通常どおりに充電しても、通話時間が減少したり充電時間が増加した場合は、新しい電池パックへの交換が必要です。
- 使用済みの電池パックは、適切に廃棄する必要があります（リサイクルが可能な場合もあります）。電池の種類については、電池パックのラベルをご覧ください。適切な廃棄方法については、お近くのリサイクルセンターにお問い合わせください。

電池パックを絶対に火の中に投入しないでください。爆発する恐れがあります。

電池の残量を確認する

電池パックの残量はメニューで確認することができます。

1 **待受画面で［メニューキー］を押す**

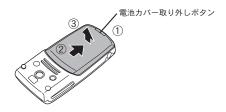
2 **［方向キー］で「設定」を選択して◎を押す**

3 **［方向キー］で「一般設定」を選択して◎を押す**

4 **［方向キー］で「電池残量表示」を選択して◎を押す**

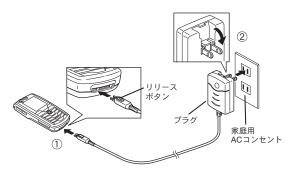
電池パックを取り付ける／取り外す

指定の電池パック（MOBE01）や付属品をお使いください。
なお、取り外しの際は、必ず電源を切ってください。

1 **電池カバー取り外しボタンを押しながら、電池カバーを矢印の方向にスライドさせて本体から取り外す**

2 **電池パックを本体のくぼみに差し込んでから、下方向に押す**

3 「カチッ」と音がするまで電池カバーを押し込む

急速充電器を利用して充電する

お買い上げ時、電池パックは完全には充電されていません。702sMOをご使用になる前に、電池パックを充電してください。

1 急速充電器の接続コネクタのリリースボタンを上にして、702sMOの充電端子正面左側の3ピン端子にカチッと音がするまで差し込む

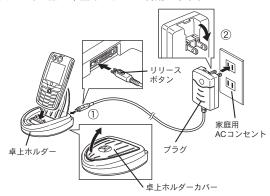
接続が悪い場合には、再度繰り返してください。

2 電源コードのプラグを家庭用ACコンセントに差し込む

3 **ディスプレイに「充電完了」と表示されたら、リリースボタンを押しながら接続コネクタを引き抜く**

- 充電が完了したあとは、本体から安全に充電器を取り外すことができます。電池パックが損傷を受けることはありません。

卓上ホルダーを利用して充電する

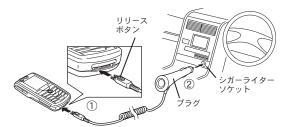
オプション品の卓上ホルダーを利用します。

1 **急速充電器の接続コネクタをリリースボタンが上になるように卓上ホルダーに差し込む**

2 **電源コードのプラグを家庭用ACコンセントに差し込む**

3 **卓上ホルダーカバーを開き、702sMOを差し込む**

4 **ディスプレイに「充電完了」と表示されたら、リリースボタンを押しながら接続コネクタを引き抜く**

シガーライター充電器を利用して充電する

オプション品のシガーライター充電器を利用します。

1 **シガーライター充電器のコネクタをリリースボタンが上になるように702sMOに差し込む**

2 **シガーライター充電器のプラグをシガーライターソケットに差し込む**

3 **ディスプレイに「充電完了」と表示されたら、リリースボタンを押しながら接続コネクタを引き抜く**

車のバッテリーを消耗させる原因となりますので、エンジンをかけない状態での充電はお避けください。

メモリカードを取り付ける／取り外す

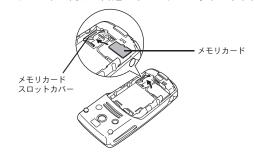
メモリカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。

取り付ける

1　電池カバーを矢印の方向にスライドさせて本体から取り外す

電池パックが入っている場合は、取り外します。

2　メモリカードスロットカバーを開き、メモリカードをセットする

メモリカードの向きを間違えないようにセットします。

3　メモリカードスロットカバーを閉じて、電池パックをセットする

4　「カチッ」と音がするまで電池カバーを押し込む

取り外す

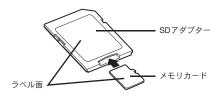
1　電池カバーを矢印の方向にスライドさせて本体から取り外す

電池パックが入っている場合は、取り外します。

2　メモリカードスロットのカバーを開き、メモリカードを取り外す

3　電池パックをセットし、「カチッ」と音がするまで電池カバーを押し込む

SDアダプターの使い方

SDアダプターとメモリカードのラベル面を合わせて、矢印の方向に差し込みます。

メモリカードをロックする

SDアダプターには、データの誤消去を防止する「書き込み禁止スイッチ」がついています。「書き込み禁止スイッチ」を「Lock」にすると、データの消去や保存などができなくなります。

702sMOとパソコンを接続する

同梱品の USBケーブル＆ユーティリティーソフトウェアを使用して702sMOをパソコンなどに接続し、回線交換方式、パケット通信方式のデータ通信を行うことができます。

USBケーブルを接続する

USBケーブルで、702sMOとパソコンなどを接続します。パソコンとUSBケーブルの接続については、ユーティリティーソフトウェアのCD-ROMに収録されている「ユーザーガイド」を参照してください。

ユーティリティソフトウェアをインストールする

USBケーブルをご使用の際は、付属の ユーティリティーソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。インストール手順などの詳細については、ユーティリティーソフトウェアのCD-ROMに収録されている「ユーザーガイド」を参照してください。

電話帳やスケジュールをパソコンと同期させる

付属のmobile Phone Tools®を使用すると、702sMOの電話帳やスケジュールを、パソコン上の電話帳やスケジュールデータと同期させることができます。詳しくは、mobile Phone Tools®のユーザーガイドを参照してください。mobile Phone Toolsは、多くのPIM（Personal Information Management）を同期することができます。

日本ではサポートされない機能も搭載されています。また、サポートされないデータもあります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **を2秒以上押す**

702sMOの電源が入ります。

電源を切る

1 **を2秒以上押す**

702sMOの電源が切れます。

日付・時刻の設定

702sMOの時計を合わせます。

1 待受画面で ▭ を押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「初期設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「日時設定」を選択して◎を押す

5 ◎で時刻を選択して◎を押す

6 ◎で項目を移動しながら時刻を入力し、◎を押す

7 ◎で年月日を選択して◎を押す

8 ◎で「日付」を選択して◎を押す

年月日の表示形式を変更するときは「フォーマット」を選択して◎を押し、表示形式を選択します。

9 ◎で項目を移動しながら年月日を入力し、◎を押す

機能の呼び出しかた

メインメニューから機能を呼び出す

メインメニュー

待受画面で を押すとメインメニューが表示されます。メインメニューは12個の機能に分類され、そこからさらに詳細な機能を選択できます。

メニューアイコンの種類

アイコン	機能	アイコン	機能	アイコン	機能
	Vアプリ		Vodafone live !		マルチメディア
Vアプリの起動、設定を行います。		Vodafone live!に接続します。		静止画、アニメーション、サウンドの再生や利用に用います。	
	メール		カメラ		データフォルダ
SMS および MMS の作成や送受信を行います。		静止画の撮影を行います。		ご自分で登録した静止画、サウンド、動画にアクセスします。	
	ツール		電話帳		ムービーカメラ
カレンダーや電卓など便利なツールが用意されています。		電話をかける相手先の情報を登録、整理できます。		動画の撮影を行います。	
	ショートカット		通話履歴		設定
よく使う機能を本体のキーに割り当てます。		発信履歴と着信履歴を確認し、発信に利用できます。		本機の様々な設定を行います。	

待受画面のショートカットメニューから機能を呼び出す

待受画面には、あらかじめメール、電話帳、通話履歴、ショートカットの機能が登録されています。ナビゲーションボタンで簡単に呼び出すことができます。

メニューアイコンを間違って選択したときは、を押すと待受画面に戻ります。

壁紙のイメージがよく見えるように、待受画面に表示される機能アイコンを非表示にしていることがあります。（☞P.8-5）ただし、非表示の状態でも、ショートカット機能を利用することは可能です。

メニュー画面の操作例

1 待受画面でを押す

メニューボタンについて

待受画面最下部の中央にはが表示されており、を押すとメインメニュー画面が表示されます。各機能や設定項目の操作中、中央にが表示されているときにを押すと、詳細設定のメニュー画面などが表示されます。

2 で「通話履歴」を選択して◎を押す

ナビゲーションボタンを上下左右いずれかの方向に押すと、画面上のカーソル（赤い枠）が移動し、選択されているアイコンの項目が表示されます。◎を押すと「通話履歴」メニューが表示されます。

3 で「発信履歴」を選択して◎を押す

表示されたメニューの項目の一覧から、表示または設定する項目を選択します。

項目の選択や数値の指定

メニューの選択後、項目の選択が必要なこともあります。

1 **◎を押して必要な項目を選択して◎を押す**

ソフトボタンの使い方

□と□のソフトボタンは、画面最下部の左右に表示された操作を行うときに押します。
たとえば、メインメニュー画面でガイド表示の左側に表示されている「選択」は□に対応し、右側の「戻る」は□に対応しています。表示はそのとき行うことのできる操作に変化します。□または□を押すと、表示されている操作が行われます。
本書では、対応するガイド表示の内容を□［選択］、□［戻る］のように表記します。

暗証番号

702sMOでは、以下の暗証番号を使用します。設定方法や変更など、詳しくは11章「セキュリティ機能」をごらんください。

暗証番号

ロック解除コードおよびシークレットコードが分からなくなったときや、本機の設定を初期化するときに入力する6桁の暗証番号です。お買い上げ時には「000000」に設定されていますが、番号を変更することができます。
（☞P.11-2）

ロック解除コード

本体のロックおよび機能ロックの設定時に使用する暗証番号です。お買い上げ時には「1234」に設定されていますが、番号を変更することができます。（☞P.11-3）

交換機用暗証番号

一般電話からオプションサービスの設定を遠隔操作する際に使用する暗証番号です。ご契約時にお決めいただいた4桁の番号に設定されており、本機の操作で変更することはできません。変更する場合は、お問い合わせ先（☞P.26-33）までご連絡ください。

発着信規制用暗証番号

702sMOで発着信規制サービスの設定を行うときに使用する暗証番号です。音声電話とTVコールの2種類の番号があり、ご契約時にお決めいただいた4桁の番号に設定されていますが、本機の操作で変更することができます。
（☞P.11-5）

シークレットコード

シークレット表示の設定時に使用する暗証番号です。お客様のお好みの番号へ設定してください。（☞P.11-4）

いずれの暗証番号の場合も、お忘れになったときは所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.26-33）までご連絡ください。

基本的な操作のご案内

電話をかける

日本国内で音声電話をかける操作について説明します。

国際電話のかけ方（☞P.2-3）

1 待受画面で電話番号を入力する

電波の状況を確認し、電話番号を入力します。
一般電話の場合は市外局番から入力します。携帯電話・自動車電話・PHSの場合は、0から始まる全桁を入力します。

電話番号を間違えたとき
[Clear/Back]を押して消去したあと、入力し直してください。

2 電話番号を確認し、[発信]を押す

- 通話を保留にする（☞P.2-7）
- スピーカーホンを使って通話する （☞P.12-9）

3 通話が終わったら[終話]を押す

電話が切れます。

電話をかけるときに発信者番号を通知する／通知しないを指定する

電話番号を入力して[メニュー]を押し、「電話番号通知」または「電話番号非通知」を選択して[発信]を押します。

電話番号を追加する

ダイヤルした番号に電話帳や発着信履歴リストの電話番号を追加できます。

1 待受画面で電話番号を入力する

2 ▭を押す

3 ◎で「番号追加」を選択して◎を押す

4 ◎で「電話帳」、「発信履歴」または「着信履歴」を選択して◎を押す

5 ◎で電話番号を選択して◎を押す

選択した電話番号が追加されます。

「発信履歴」を選択した場合

国際電話をかける

- 国際電話サービスのご利用には別途お申し込みが必要です。
- ボーダフォンの国際電話識別番号「0046010」と国番号を入力したあと、相手の電話番号（市外局番の0を除く）を追加して、国際電話をかけることができます。

以前かけた電話番号にもう一度かける（リダイヤル）

2

基本的な操作のご案内

一度かけた相手の電話番号は、最新の20件分まで記録されていて、簡単な操作でかけ直すことができます。

1 **待受画面で［発信キー］を押す**

発信履歴リストが表示されます。

2 **［上下キー］でかける相手を選択して［発信キー］を押す**

電話を受ける

電話がかかってくると、着信音やバイブレータでお知らせします。同時に、ディスプレイに着信メッセージが表示されます。

1 着信音やバイブレータが着信を知らせる

ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。相手の発信者番号が通知されない場合は、「非通知音声コール」と表示されます。
相手の電話番号や名前、静止画が電話帳に登録されている場合は、電話番号のほかに名前や画像も表示されます。

- かかってきた電話に応答せずに、登録した電話番号または留守番電話センターに転送するときは、［転送］を押します。
- 電話帳に登録した相手から電話がかかってきたとき、特定の着信音を設定することができます。（☞P.5-10）

2 を押して通話する

3 通話が終わったらを押す

電話が切れます。

ダイヤルボタンで電話を受けられるように設定する

電話がかかってきたときに、の代わりにダイヤルボタンを押して応答することができます。

1 待受画面でを押す

2 で「設定」を選択して◎を押す

3 で「発着信設定」を選択して◎を押す

4 で「応答キー」を選択して◎を押す

5 で「エニーキーアンサー」を選択して◎を押す

6 で「ON」を選択して◎を押す

設定を解除するときは、「OFF」を選択します。

電話に出られないとき

留守番電話または転送電話番号に転送する

かかってきた電話に応答せずに、登録した電話番号などに転送することができます。

1 **着信中に［転送］を押す**

電話の設定やご契約のオプションサービスの内容によっては、別の電話番号に転送されたり、通話が切れたりすることがあります。

着信音をOFFにする

電話がかかってきたとき、応答せずに着信音が鳴らないようにすることができます。

1 **着信中にまたはを押す**

通話中の操作

通話を保留にする

1　通話中に［▭］を押す

2　［◎］で「保留」を選択して［◎］を押す

通話が保留されます。

メモ　通話中の保留をご利用になるには、「割込通話サービス」（☞P.13-10）または「多者通話サービス」（☞P.13-11）のお申し込みが必要です。

受話音量を調節する

通話中に、相手の声の音量を調節できます。

1　通話中に［▲］（大きく）または［▼］（小さく）を押して音量を調節する

メモ　スピーカーホンを使用しているときは、スピーカーホンの音量が調節されます。

通話中にメモを登録する

通話中に覚えておきたい電話番号などをメモすることができます。

1 **通話中に電話番号を入力する**

2 **を押して電話を終了する**

ノートパッドメモリを呼び出す

最後にダイヤルボタンで入力した数字は、ノートパッドメモリに保存されています。メモリに保存されている数字は、発信した電話番号や通話中などに入力した番号などです。ノートパッドメモリに保存された番号を呼び出すことができます。

1 **待受画面でを押す**

2 **で「通話履歴」を選択して◎を押す**

3 **で「ノートパッドメモリ」を選択して◎を押す**

発信:
090XXXXXXXX
登録　クリア

- 表示された番号に電話をかけるときはを押します。
- 番号を追加して電話をかけるときは、を押してダイヤルメニューからで「番号追加」を選択して◎を押し、追加する番号を選択して、を押します。
- 番号を電話帳に登録するときは、［登録］を押し、電話帳の残りの項目を登録します。

発信履歴／着信履歴の確認

以前にかけた電話の履歴が発信履歴に、かかってきた電話の履歴が着信履歴に、それぞれ最新の20件分まで記録されます。

- 通話したかどうかにかかわらず記録されます。
- 各履歴は新しい項目から順に表示され、新しい記録が追加されるたびに、一番古い記録が削除されます。

●発信履歴／着信履歴

＜発信履歴の画面＞

＜着信履歴の画面＞

1 待受画面で を押す

2 で「通話履歴」を選択して◎を押す

3 で「着信履歴」または「発信履歴」を選択して◎を押す

4 で電話番号を選択する

5 を押す

表示されている電話番号に電話をかけます。

- TV コールをかけるときは、 を押します。
- 登録データの詳細を表示するときは、 ［表示］を押します。
- 電話帳に表示データを登録するときは、メニューボタンから「登録」または「番号追加」（☞P.2-3）を選択します。

発信履歴／着信履歴を削除する

発信履歴／着信履歴の電話番号を1件ずつ、またはまとめて削除できます。

1 **発信履歴／着信履歴リスト画面を表示する**

2 **で電話番号を選択して を押す**

3 **で「1件削除」または「全件削除」を選択して◎を押す**

4 **[YES]を押す**

発信履歴／着信履歴の相手に自分の電話番号を通知する／しないで電話をかける

発信履歴／着信履歴を利用して電話をかけるとき、自分の電話番号を通知する／しないを指定できます。

1 **発信履歴／着信履歴リスト画面を表示する**

2 **で電話番号を選択して を押す**

3 **で「電話番号通知」または「電話番号非通知」を選択して◎を押す**

指定された通知方法で電話をかけます。

発信履歴／着信履歴の電話番号にメールを送信する

発信履歴／着信履歴の電話番号を宛先にしたメールを作成・送信できます。

1 **発信履歴／着信履歴リスト画面を表示する**

2 **で電話番号を選択してを押す**

3 **で「メール新規作成」を選択して◎を押す**

4 **で「SMS」を選択して◎を押す**

選択した電話番号が宛先に挿入されたメール作成画面が表示されます。

5 **本文などを入力し、送信する**

メールの作成方法（☞P.16-2）

発信履歴／着信履歴の電話番号を変更して電話をかける

発信履歴／着信履歴の電話番号を変更して電話をかけることができます。

1 **発信履歴／着信履歴リスト画面を表示する**

2 **で電話番号を選択してを押す**

3 **で「発信」を選択して◎を押す**

4 **追加する電話番号を入力する**

電話番号を消去するときは、を押します。

5 **を押す**

電話をかけます。

発信履歴／着信履歴の電話番号を加えて電話をかける

ダイヤルした電話番号に、発信履歴／着信履歴の電話番号を加えて電話をかけることができます。

1 **待受画面で電話番号の一部をダイヤルする**

2 **[キー]を押し、[キー]で「番号追加」を選択して◎を押す**

3 **[キー]で「着信履歴」または「発信履歴」を選択して◎を押す**

4 **[キー]で電話番号を選択して◎を押す**

電話番号が追加されます。

5 **[キー]を押す**

電話をかけます。

不在着信の相手に電話をかける

かかってきた電話に出なかったとき、待受画面に「不在着信あり」と件数が表示されます。また、発信者不明の件数も表示されます。着信履歴から電話番号を選択して、電話をかけることができます。

1 **「不在着信あり」の表示中に、[キー]［表示］を押す**

着信履歴リストが表示されます。

「2 不在着信あり」と表示されているときは、2件の不在着信があったことを示します。

2 **[キー]で返信する電話番号を選ぶ**

3 **[キー]を押す**

電話をかけます。

通話時間表示

直前の通話時間を表示する

1 待受画面で▭を押す

2 ◎で「通話履歴」を選択して◎を押す

3 ◎で「通話時間」を選択して◎を押す

4 ◎で「前回の通話」を選択して◎を押す

通話時間とは、ボーダフォンのネットワークに接続した時点から、▭を押して通話を終了するまでに経過した時間です。この時間には、お話し中や呼び出し時間も含まれます。
ただし、702sMOに表示される通話時間は、ボーダフォンからお知らせする通話時間と一致しない場合があります。

通話時間の合計を表示する

前回リセットしてから現在までの通話時間の合計を表示できます。

1 待受画面で▭を押す

2 ◎で「通話履歴」を選択して◎を押す

3 ◎で「通話時間」を選択して◎を押す

4 ◎で「発信履歴」、「着信履歴」または「全ての発着信」を選択して◎を押す

発信、着信、発着信について通話時間の合計が表示されます。

2 基本的な操作のご案内

全ての発着信の通話時間の合計をリセットする

1　全ての発着信の通話時間表示中に、[リセット]を押す

2　[YES]を押す

通話時間の合計がリセットされます。

全通話時間を表示する

お買い上げ後からの累積通話時間を表示できます。

1　待受画面でを押す

2　で「通話履歴」を選択して◎を押す

3　で「通話時間」を選択して◎を押す

4　で「累積通話時間」を選択して◎を押す

自動的に通話時間を表示する

通話中に、通話時間を表示したり、一定の秒数ごとにビープ音でお知らせするように設定できます。

通話時間を表示する

1 待受画面で▭を押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「発着信設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「通話タイマー設定」を選択して◎を押す

5 ◎で「タイマー表示」を選択して◎を押す

6 ◎で「時間」を選択して◎を押す

通話時間を表示しないときは、「OFF」を選択します。

通話中にビープ音で通話時間を知らせる

1 待受画面で ▭ を押す

2 ◈ で「設定」を選択して ◎ を押す

3 ◈ で「発着信設定」を選択して ◎ を押す

4 ◈ で「通話タイマー設定」を選択して ◎ を押す

5 ◈ で「通知アラーム」を選択して ◎ を押す

6 ◈ で「60 秒」を選択して ◎ を押す

メモ ビープ音を鳴らさないときは、「OFF」を選択します。

7 ビープ音間隔の秒数を入力し、▭［OK］を押す

自分の電話番号の確認

自分の電話番号を表示できます。

1　待受画面で［－］［#］を押す

2　［▲▼］で「回線1」を選択して◎を押す

USIMカードに登録されている電話番号が表示されます。

海外での利用（国際ローミング）

702sMOは、日本国内だけでなく海外でも使用できます。海外で使用するときは、エリアモードを海外用に切り替える必要があります。

- 国際ローミングのしくみや使用できる国や地域、料金等につきましては、「国際ローミングサービスガイド」をご覧ください。また、使用できる機能や制限等につきましては、お問い合わせ先（☞P.26-33）までご連絡ください。
- 国際ローミングを利用するには別途契約が必要です。

エリアモードを選択する

1 待受画面で▭を押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「ネットワーク設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「ネットワーク設定」を選択して◎を押す

5 ◎で「3G／GSM」を選択して◎を押す

6 で地域に合った周波数を選択して◎を押す

自動切換えの場合：「自動」を選択します。
北米やハワイなどの場合：「1900」を選択します。
アジア・ヨーロッパ・オセアニアなどの場合：「900/1800/欧州」を選択します。

7 で「タイプ」を選択して◎を押す

ネットワークの検索方法
自動：優先度に基づいて、自動的にネットワークを検索します。
確認あり：選択可能なすべてのネットワークのリストを表示します。

8 で「自動」を選択して◎を押す

9 で「ネットワークサーチ間隔」を選択して◎を押す

10 で「普通」を選択して◎を押す

「低速」「普通」「高速」「連続」から選択します。

ネットワークサーチ間隔を「高速」や「連続」に設定すると、電池の利用時間が短くなります。

使用するネットワークを検索する

ネットワークの受信地域やローミング状態によっては、通話状態を良くするために別のネットワークに切り替えることができます。

1 待受画面でを押す

2 で「設定」を選択して◎を押す

3 で「ネットワーク設定」を選択して◎を押す

4 で「ネットワーク選択」を選択して◎を押す

新しいネットワークが検索されます。

使用するネットワークを選択する

利用可能なネットワークのリストから利用するものを選択し、702sMOをネットワークに登録できます。

1 **待受画面で を押す**

2 **で「設定」を選択して◎を押す**

3 **で「ネットワーク設定」を選択して◎を押す**

4 **で「利用可能ネットワーク」を選択して◎を押す**

利用可能なネットワークのリストが表示されます。

5 **で利用するネットワークを選択して [表示]を押し、 [登録]を押す**

ネットワークに登録されます。

ネットワークを切り替えたときにお知らせする

通信事業者を切り替えた際にサービス音を鳴らしてお知らせすることができます。

1 **待受画面で を押す**

2 **で「設定」を選択して◎を押す**

3 **で「ネットワーク設定」を選択して◎を押す**

詳細は国際ローミングサービスガイドを参照してください。

4 **で「サービス音」を選択して◎を押す**

5 **で「ON」を選択して◎を押す**

サービス音を鳴らさないときは、「OFF」を選択します。

海外から日本に電話をかける

日本や他国の一般電話や携帯電話にかける

1　待受画面で[0]を1秒以上押す

「+」が入力されます。

2　電話番号をダイヤルする

相手の国番号と電話番号（市外局番の0を除く）を入力します。

3　[発信]を押す

滞在国内の一般電話／携帯電話へかける

1　待受画面で電話番号をダイヤルする

相手の方の電話番号または携帯電話番号をそのままダイヤルします。

2　[発信]を押す

マナーモード

マナーについて

携帯電話をご使用になるときは、周囲の方への気配りを忘れないようにしましょう。

- 劇場や映画館、美術館などでは、まわりの人たちの迷惑にならないように電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーモード（バイブレータ）を設定すると、702sMOの音が鳴らず、周囲に迷惑をかけずにご使用いただくことができます。
お買い上げ時、マナーモード（バイブレータ）に切り替えると、電話の着信やメールなどの着信、ボタン確認音、アラーム音などの代わりにバイブレータが作動します。

マナーモード（バイブレータ）設定

マナーモード（バイブレータ）を設定／解除する

702sMOでは、下記の操作により、マナーモードとしてバイブレータが設定されます。
下記の操作により、着信音などを鳴らなくなり、代わりにバイブレータが作動します。

1　待受画面で#を1秒以上押す

マナーモード（バイブレータ）が設定されます。
解除する場合は、#を1秒以上押します。

マナーモード（バイブレータ）の設定内容を変更する

バイブレータ時の各項目の設定を自分で変更することができます。

1　待受画面で[−]を押す

2　で「設定」を選択して◎を押す

3　で「着信音」を選択して◎を押す

4　で「モード設定」を選択して◎を押す

5　で「バイブレータ」を選択して◎を押す

メモ　「詳細設定」からバイブレータの種類や「サイレント」（着信音などが鳴らない設定）を選択することができます。

6　で「詳細設定」を選択して◎を押す

3

マナーモード

7 ⊙で項目を選択して◎を押す

8 ⊙でバイブレータの種類を選択して◎を押す

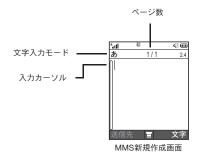
5種類のバイブレーションパターンと「サイレント」から選択できます。

文字の入力方法

文字入力について

文字の入力画面

MMS新規作成画面

SMS新規作成画面

文字入力モード

本文入力画面で［文字］を押すと文字入力モードが切り替わります。選択した文字入力モードは、別のモードを選択するまで継続されます。

- ［文字］を押すたびに、文字入力モードがカタカナモード→英字モード→数字モード→ひらがなモードの順に切り替わります。

- 絵文字を入力するときは、ひらがなモードまたは英字モードでを押し、絵文字リストから選択します。
- 記号を入力するときは、ひらがなモード、カタカナモードまたは英字モードでを押し、記号リストから選択します。

現在の文字入力モードは、文字入力モードアイコンで確認できます。

あ ：ひらがなモード
ア ：カタカナモード
Abc ：英字モード
123 ：数字モード

サブメニューで切り替えるには
①文字入力画面で[key]を押す
②[key]で「入力文字種選択」を選択して◎を押す
③[key]で文字入力モードを選択して◎を押す

最初の文字入力モードを設定する

文字入力画面を表示した時点の文字入力モードを変更できます。

- お買い上げ時は「ひらがな」に設定されています。

①文字入力画面で[key]を押す
②[key]で「入力設定」を選択して◎を押す
③[key]で「初期設定」を選択して◎を押す
④[key]で文字入力モードを選択して◎を押す

ダイヤルボタンの割り当て

ダイヤルボタンや[key]、[key]を押すことによって、さまざまな文字を入力できます。文字入力モードにより入力できる文字が異なります。また、ひらがなモード、カタカナモード、英字モードでは、ダイヤルボタンを押す回数によって入力される文字が変わります。

- 数字モードで入力中に、[key]～[key]を1秒以上押すと英字モードに切り替わります。
- 英字モードで入力中に、[key]を押すと数字モードに切り替わります。また、[key]～[key]を1秒以上押すと数字モードに切り替わります。

文字入力モードボタン	漢字・ひらがな入力モード	カタカナ入力モード(半角文字)	英字入力モード	数字入力モード
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ｧｨｩｪｫ	. - @ / : ~ 1	1
2	かきくけこ	カキクケコ	a b c 2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	d e f 3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	g h i 4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	j k l 5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	m n o 6	6

文字入力モードボタン	漢字・ひらがな入力モード	カタカナ入力モード（半角文字）	英字入力モード	数字入力モード
[7]	まみむめも	マミムメモ	pqrs7	7
[8]	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	tuv8	8
[9]	らりるれろ	ラリルレロ	wxyz9	9
[0]	わをんゎ、。 ？！―・	ワヲン、。 ？！―・	0	0 （1秒以上押す：+を入力）
[*]	絵文字 （文字確定前：濁音／半濁音への変換）	*	絵文字 （文字確定前：濁音／半濁音への変換）	*
[#]	、。 （文字確定後に押すと記号入力）	記号入力	記号入力	#
[上]	カーソルを上に移動 （文字確定前：デフォルト変換（逆順）） （変換中：変換リスト表示）	カーソルを上に移動		

文字入力モードボタン	漢字・ひらがな入力モード	カタカナ入力モード（半角文字）	英字入力モード	数字入力モード
[下]	カーソルを下に移動（文字確定前：デフォルト変換（優先度順）） （文章の最後：改行） （変換中：変換リスト表示）	カーソルを下に移動 （文字の確定後：改行）		
[左]	カーソルを左に移動（変換中：変換する範囲を変更）	カーソルを左に移動		
[右]	カーソルを右に移動（変換中：変換する範囲を変更）	カーソルを右に移動		
[Clear/Back]	カーソルの左側 1 文字を消去 （1 秒以上押す：編集内容全体を消去）			
[発信]	改行			
[A/a]	スペース入力（1 秒以上押す：スペース連続入力）			
[A/a] （文字入力時）	大文字／小文字の切り替え （小文字変換可能な文字のみ）		大文字／小文字の切り替え	スペース入力

文字の入力方法

漢字／ひらがなを入力する

ダイヤルボタンを繰り返し押すと、そのボタンに印字されている文字が切り替わります。

1 文字入力画面で［文字］を何回か押してひらがなモードにする

2 文字を入力する

例：「やまもとじろう」と入力する場合
①を1回押す：「や」が表示されます。
②を1回押す：「ま」が表示されます。
③を押す：カーソルが右に移動します。
④を5回押す：「も」が表示されます。
⑤を5回押す：「と」が表示されます。
⑥を2回押し、を押す：「じ」が表示されます。
⑦を5回押す：「ろ」が表示されます。
⑧を3回押す：「う」が表示されます。

- 濁音、半濁音を入力するには、濁音なしの文字を入力したあとで、を押します。
- 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するときは、1つめの文字を入力したあとでを押します。
- ダイヤルボタンの割り当て（P.4-3）

3 ［予測］またはを押す

変換候補リストが表示されます。

「予測」を押した場合

4 で文字を選択してを押す

- 漢字、ひらがな、全角カタカナ、ローマ字の順番で予測が表示されます。

- を使うと、初期設定された変換を行うことができます。お買い上げ時は、漢字変換に設定されているため、［予測］の代わりに使用できます。は優先順位の逆に変換されます。
- 変換候補リストを閉じるには、［終了］またはを押します。

ひらがなをカタカナや英数に変換するには

ひらがなを入力後、［カナ英数］を押し、でカタカナや英数字を選択してを押します。

小文字(っ、ッなど)を入力する

小文字も大文字と同様にダイヤルボタンに割り当てられています。(☞P.4-3)

濁音／半濁音を入力する

1 **濁点(゛)や半濁点(゜)の付かない文字を入力する**

2 **[＊゛゜]を押す**

希望する文字が入力されるまで、[＊゛゜]を繰り返し押します。

カタカナを入力する

1 **文字入力画面で [・]［文字］を何回か押してカタカナモードにする**

2 **文字の割り当てられたダイヤルボタンを押す**

ダイヤルボタンの割り当て
(☞P.4-3)

ひらがなをカタカナに変換するには
ひらがなで入力したあと、[・]［カナ英数］を押し、◎でカタカナを選択して◎を押します。

英数字を入力する

英字を入力する

1　文字入力画面で　［文字］を何回か押して英字モードにする

2　文字の割り当てられたダイヤルボタンを押す

メモ　ダイヤルボタンの割り当て
（☞P.4-3）

数字を入力する

1　文字入力画面で　［文字］を何回か押して数字モードにする

2　数字を入力する

絵文字を入力するときは、ひらがなモードまたは英字モードで を押し、絵文字リストから選択します。

記号／絵文字／顔文字などを入力する

記号を入力する

1 ひらがなモード、カタカナモードまたは英字モードで[#記]を押す

パレットが表示されます。

2 [方向キー]で記号を選択して◎を押す

絵文字を入力する

1 ひらがなモードまたは英字モードで[*絵]を押す

パレットが表示されます。

2 [方向キー]で絵文字を選択して◎を押す

パレットが表示された状態で[*絵]を押すと、表示をページごとにすばやく切りかえることができます。

顔文字を入力する

1 文字入力画面で[メニューキー]を押す

2 [方向キー]で「入力文字種選択」を選択して◎を押す

3 [方向キー]で「顔文字」を選択して◎を押す

リストが表示されます。

4 [方向キー]で顔文字を選択して◎を押す

4 文字の入力方法

スペースを入力する

1 **文字入力画面で◯または[A/a]を押す**

改行する

1 **文字入力画面で[↵]を押す**

区点コードを入力する

4桁の区点コードで漢字を入力できます。

1 **文字入力画面で[−]を押す**

2 **◯で「入力文字種選択」を選択して◎を押す**

3 **◯で「区点コード」を選択して◎を押す**

4 **区点コード4桁を入力する**

対応する漢字がすぐに入力されます。

区点コード一覧（☞P.26-8）

文字の変換機能

予測変換を使って入力する

予測変換を用いると、ダイヤルボタンを押すたびに、自動的に変換された候補が表示され、より効率よく入力することができます。

予測変換モードに設定する

ひらがなモードでの入力時、予測変換を行うか、行わないかを設定します。

お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

1 文字入力画面で⊡を押す

2 ⊙で「入力設定」を選択して◎を押す

3 ⊙で「予測変換」を選択して◎を押す

4 ⊙で「ON」を選択して◎を押す

予測変換をしないときは、「OFF」を選択します。

予測変換で入力する

1 文字入力画面で⊡［文字］を何回か押してひらがなモードにする

2 文字を入力する

予測リストが自動的に表示されます。

ダイヤルボタンの割り当て
（☞P.4-3）

3 ⊙で候補を選択して◎を押す

- ⊡［予測］を押すと、予測リストにカーソルが表示されます。変換すべき候補がない場合は、予測リストは表示されません。

文字の編集

入力した文字を修正する

入力した文字をすぐに修正するには、消去して入力し直すことができます。

1 Clear/Backを押す

入力済みの文字を１文字ずつ削除します。

2 正しい文字を入力し直す

指定した文字を消去する

入力済みの文字を消去できます。

1 で削除する文字の右にカーソルを移動する

2 Clear/Backを押す

1回押すと、1文字消去されます。
文章全体を消去するときは、Clear/Backを1秒以上押します。

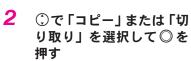
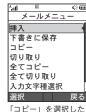
コピー／切り取り／貼り付けをする

入力した文章やほかの画面の文章をコピーしたり、切り取って、ほかの文字入力画面に貼り付けることができます。

電話帳の項目、予定表の行事、ウェブページの内容、SMS、または発着信履歴の詳細を表示しているときに、を押して「全てコピー」を選択すると、表示されている内容をコピーできます。

コピー／切り取りする

1 文字入力画面で を押す

「コピー」を選択した場合

2 で「コピー」または「切り取り」を選択して◎を押す

文章全体をコピーしたり切り取るには、「全てコピー」や「全て切り取り」を選択してください。この場合、以降の操作は不要です。

3 でコピーまたは切り取る文字の先頭にカーソルを合わせて［開始］を押す

強調表示されます。

4 でコピーまたは切り取る文字の末尾にカーソルを合わせて［コピー］または［切取り］を押す

選択した文字がコピーまたは切取りされ、ほかの位置や別の文字入力画面で貼り付けできるようになります。

貼り付ける

コピーしたり切り取った内容を、貼り付けることができます。

1 で貼り付けたい位置にカーソルを合わせる

2 を押す

3 で「貼り付け」を選択して◎を押す

文字を挿入する

文字をあとから追加挿入できます。

1　◎で挿入する位置にカーソルを合わせる

2　文字を入力する

電話帳

電話帳の登録

電話帳に登録できる項目

項目	入力できる内容	
	本体	USIMカード
名前	漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字（全角・半角24文字まで）	漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字（全角・半角24文字まで）
よみがな	漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字（全角・半角24文字まで）	漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字（全角・半角24文字まで）
電話番号	40桁まで	40桁まで
タイプ	7種類に分類	─
保存先	本体またはUSIMカード	本体またはUSIMカード
ボイスタグ	相手の名前を録音します	─
スピードダイヤル番号	1～500番まで	501～550番まで
グループ	4種類	4種類
住所1、住所2	全角・半角30文字まで	─
市町村	全角・半角30文字まで	─
都道府県	全角・半角30文字まで	─
郵便番号	7桁	─
国	全角・半角30文字まで	─
誕生日	月日年を入力する	─
着信音	リストより選択する	─
写真つきリスト	リストより選択する	─
シークレット	─	YESまたはNOを設定
メールアドレス	半角50文字	半角50文字

電話帳に登録する

電話帳に電話番号やメールアドレス、名前などを登録できます。

電話番号と名前を登録する

1 **待受画面で▭を押す**

2 **◎で「電話帳」を選択して◎を押す**

ヒント　電話帳に1件も登録されていない場合は、新規登録の画面が表示され、◎を押すと手順3の画面が表示されます。引き続き手順4から操作を行います。

3 **▭［新規］を押す**

注意　検索方法が「ジャンプ検索」に設定されている場合は、電話帳リスト画面で▭を押し、◎で「新規」を選択します。

4 **◎で「電話番号」を選択して◎を押す**

5 **◎で「名前」を選択して◎を押して、名前を入力し、◎を押す**

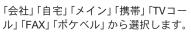
ヒント　よみがなを修正するときは、「よみがな」を選択して◎を押し、ダイヤルボタンで入力します。

6 **◎で「電話番号」を選択して◎を押して、電話番号を入力し、▭［OK］を押す**

7 **◎で「タイプ」を選択して◎を押す**

8 **◎で種類のアイコンを選択して◎を押す**

「会社」「自宅」「メイン」「携帯」「TVコール」「FAX」「ポケベル」から選択します。

9 ［完了］を押す

ヒント 保存先を選択するときは、電話帳登録画面で「保存先」を選択して◎を押し、「本体」または「USIM」を選択します。

メールアドレスと名前を登録する

1 待受画面でを押す

2 で「電話帳」を選択して◎を押す

ヒント 電話帳に1件も登録されていない場合は、新規登録の画面が表示されます。◎を押して、手順4から操作を行います。

3 ［新規］を押す

注意 検索方法が「ジャンプ検索」に設定されている場合は、電話帳リスト画面でを押し、で「新規」を選択します。

4 で「メールアドレス」を選択して◎を押す

データの詳細
名前:
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ:
保存先: 本体
ボイスタグ:
ｽﾋﾟｰﾄﾞﾀﾞｲﾔﾙ番号:
グループ: 一般
住所1:
完了 戻る

5 で「名前」を選択して◎を押す

6 名前を入力し、◎を押す

7 で「メールアドレス」を選択して◎を押す

8 メールアドレスを入力し、［OK］を押す

9 ［完了］を押す

5
電話帳

電話番号に特殊コードを登録するには

電話番号の一部に「p」「w」「n」を入力すると、番号の送信のタイミングをとることができます。
プッシュトーンの送信に利用できます。(☞P.12-2)
①電話番号の入力中に[メニュー]を押す
②[↕]でコードの種類を選択して◎を押す

- 「ポーズ挿入」を選択すると、「p」が挿入されます。「p」の前の番号まで電話をかけ、電話がつながってから、残りの数字を送信します。うまく動作しない場合は、「pp」と2つ挿入してください。
- 「ウエイト挿入」を選択すると、「w」が挿入されます。「w」の前の番号まで電話をかけ、電話がつながってから確認メッセージを表示します。送信指示をすると、残りの数字を送信します。
- 「'n'挿入」を選択すると、番号を入力させるメッセージを表示してから電話をかけます。発信時に入力した番号は、「n」の位置に挿入されます。

※ USIMカード電話帳には「w」または「n」を含む電話番号は保存できません。

グループメーリングリストを作成する

1 **待受画面で[メニュー]を押す**

2 **[✥]で「電話帳」を選択して◎を押す**

3 **[メニュー]を押す**

4 **[↕]で「新規登録」を選択して◎を押す**

5 **[↕]で「メーリングリスト」を選択して◎を押す**

6 **[↕]で「名前」を選択して◎を押す**

7 **リスト名を入力し、◎を押す**

8 **[↕]で「メンバー」を選択して◎を押す**

9 **[↕]でメンバーに登録する電話帳を選択して◎を押す**

選択した電話帳の横にチェックマークが表示されます。
つづけてほかの電話帳を選択できます。

10 **メンバーを選択したら[左ソフトキー]［OK］を押す**

11 で「ボイスタグ」を選択して◎を押す

12 ［録音］を押して名前を録音する

13 で「スピードダイヤル番号」を選択して◎を押す

14 スピードダイヤル番号を入力し、［OK］を押す

15 で「グループ」を選択して◎を押す

16 でグループを選択して◎を押す

17 ［完了］を押す

発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する

1 待受画面でを押す

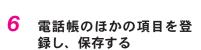
2 で「通話履歴」を選択して◎を押す

3 で「着信履歴」または「発信履歴」を選択して◎を押す

4 で電話番号を選択してを押す

5 で「登録」を選択して◎を押す

選択した電話番号が挿入された電話帳登録画面が表示されます。

6 電話帳のほかの項目を登録し、保存する

電話帳の登録状況を確認する

電話帳の空き容量が確認できます。

1 **待受画面で を押す**

2 **で「電話帳」を選択して◎を押す**

注意 1件でも電話帳が登録されている場合は、検索画面が表示されますのでを押してください。

3 **を押す**

4 **で「メモリ空き容量」を選択して◎を押す**

次のページを見るときは、［次ページ］を押します。

電話帳登録時のオプション設定

ボイスタグを登録する

相手の方の名前を音声で登録すると、音声で電話帳を呼び出すことができます。

1 待受画面で を押し、 で「電話帳」を選択して◎を押す

2 登録する電話帳を検索画面または で電話帳リストから選択して◎を押す

3 ［編集］を押し、 で「ボイスタグ」を選択して◎を押す

4 ［録音］を押して相手の名前を録音する

5 もう一度、 ［録音］を押して2秒以内に相手の名前を録音する

スピードダイヤル番号を変更する

スピードダイヤル番号は自動的に割り振られますが、好みの番号に変更して登録することができます。

1 待受画面で を押し、 で「電話帳」を選択して◎を押す

2 登録する電話帳を検索画面または で電話帳リストから選択して◎を押す

3 ［編集］を押し、 で「スピードダイヤル番号」を選択して◎を押す

4 スピードダイヤル番号を入力し、 ［OK］を押す

グループを設定する

1 待受画面で〔キー〕を押し、〔キー〕で「電話帳」を選択して◎を押す

2 登録する電話帳を検索画面または〔キー〕で電話帳リストから選択して◎を押す

3 〔キー〕［編集］を押し、〔キー〕で「グループ」を選択して◎を押す

4 〔キー〕でグループを選択して◎を押す

「一般」「仕事」「プライベート」「VIP」
または自分で作成したグループから選択できます。

USIMカードに保存されている電話帳データに対しては、グループは設定できません。

住所などを登録する

1 待受画面で〔キー〕を押し、〔キー〕で「電話帳」を選択して◎を押す

2 登録する電話帳を検索画面または〔キー〕で電話帳リストから選択して◎を押す

3 〔キー〕［編集］を押し、〔キー〕で「住所1」を選択して◎を押す

4 住所を入力し、◎を押す

5 「住所2」、「市町村」、「都道府県」、「郵便番号」、「国」を同様に登録する

誕生日を登録する

1 **待受画面で [キー] を押し、[キー] で「電話帳」を選択して◎を押す**

2 **登録する電話帳を検索画面または [キー] で電話帳リストから選択して◎を押す**

3 **[キー]［編集］を押し、[キー] で「誕生日」を選択して◎を押す**

4 **誕生日を入力し、◎を押す**

誕生日の表示形式は、お買い上げ時には「月／日／年」になっています。表示形式を変更するときは、日時設定メニューで設定を変更します。（☞ [キー]1-21）

着信音を設定する

電話帳ごとに着信音を設定します。

1 **待受画面で [キー] を押し、[キー] で「電話帳」を選択して◎を押す**

2 **登録する電話帳を検索画面または [キー] で電話帳リストから選択して◎を押す**

3 **[キー]［編集］を押し、[キー] で「着信音」を選択して◎を押す**

4 **[キー] で着信音を選択して◎を押す**

USIMカードに保存されている電話帳データに対しては、着信音は設定できません。

5 電話帳

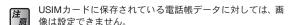
画像を設定する

1 **待受画面で ▭ を押し、◎で「電話帳」を選択して◎を押す**

2 **登録する電話帳を検索画面または◎で電話帳リストから選択して◎を押す**

3 **▭［編集］を押し、◎で「写真付きリスト」を選択して◎を押す**

4 **◎で画像を選択して◎を押す**

注意　USIMカードに保存されている電話帳データに対しては、画像は設定できません。

電話番号を追加登録する

1件の電話帳に複数の電話番号は登録できません。
下記の操作により、相手の方の電話帳を容易に追加することができます。

1 **待受画面で ▭ を押し、◎で「電話帳」を選択して◎を押す**

2 **登録する電話帳を検索画面または◎で電話帳リストから選択して◎を押す**

3 **▭［編集］を押し、◎で「追加」を選択して◎を押す**

4 **◎で「電話番号」を選択して◎を押す**

5 **◎で「電話番号」を選択して◎を押す**

6 **電話番号を入力し、▭［OK］を押す**

メールアドレスを追加登録する

1 待受画面で を押し、 で「電話帳」を選択して◎を押す

2 登録する電話帳を検索画面または で電話帳リストから選択して◎を押す

3 ［編集］を押し、 で「追加」を選択して◎を押す

4 で「メールアドレス」を選択して◎を押す

5 で「メールアドレス」を選択して◎を押す

6 メールアドレスを入力し、［OK］を押す

主番号を設定する

同じ名前で登録された複数の電話帳の電話番号の中から、主番号を設定できます。設定された電話番号が電話帳の一番上に表示されます。

1 待受画面で を押す

2 で「電話帳」を選択して◎を押す

3 で登録する名前を選択して を押す

4 で「主番号」を選択して◎を押す

5 電話番号を選択して◎を押す

主番号のみを表示するときは、電話帳リスト画面で を押し、 で「設定」、次に「表示」を選択し、続けて「主番号のみ表示」を選択します。その他の電話番号を確認するときは を押します。

グループ設定

グループ名を登録／編集する

グループを新規作成したり、グループ名を編集することができます。

1 待受画面で を押す

2 で「電話帳」を選択して◎を押す

3 を押す

4 を押す

5 で「グループ」を選択して◎を押す

6 を押す

メモ グループ名を編集するときは、グループを選択してから を押して「編集」を選択します。

7 で「新規」を選択して◎を押す

8 で「名前」を選択して◎を押す

- グループのメンバーを設定するときは、「メンバー」を選択して◎を押し、メンバーを選択します。
- 着信音を選択するときは、「着信音」を選択して ◎ を押し、着信音を選択します。

9 グループ名を入力し、◎を押す

10 ［完了］を押す

グループを削除する

1 待受画面で を押す

2 で「電話帳」を選択して◎を押す

3 を押す

4 を押す

5 で「グループ」を選択して◎を押す

6 削除するグループを選択して を押す

「全て」と「一般」は削除できません。

7 で「1件削除」を選択して◎を押す

8 [YES]を押す

グループを削除すると、削除されたグループ内の電話帳は「一般」に移動します。

5 電話帳

グループ別着信音を設定する

特定のグループに属する相手の方から電話がかかってきた際の着信音を設定できます。

1 待受画面で[キー]を押す

2 [キー]で「電話帳」を選択して◎を押す

3 [キー]を押す

4 [キー]を押す

5 [キー]で「グループ」を選択して◎を押す

6 着信音を設定するグループを選択して[キー]を押す

7 [キー]で「編集」を選択して◎を押す

8 [キー]で「着信音」を選択して◎を押す

9 [キー]で着信音を選択して◎を押す

5
電話帳

グループ表示を設定する

電話帳リストを表示したときに表示されるグループを設定できます。

1 待受画面で[キー]を押す

2 [キー]で「電話帳」を選択して◎を押す

3 [キー]を押す

4 [キー]を押す

5 [キー]で「グループ」を選択して◎を押す

6 [キー]で表示するグループを選択して◎を押す

電話帳の利用

電話帳から電話をかける

電話帳に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 待受画面で[キー]を押す

2 [キー]で「電話帳」を選択して◎を押す

3 [キー]を押す

電話帳リストが表示されます。登録されている名前が、よみがなの順番で表示されます。

電話帳の表示順

よみがなの表示順は次のとおりです。
1.かな
2.英字
3.数字
4.記号
5.絵文字

4 [キー]で名前を選択して[キー]を押す

TVコールをかけるときは、[キー]を押します。
登録されている電話番号に電話をかけます。

電話帳の各種検索方法

- よみがな検索画面
  文字を入力し、[キー]［検索］を押すと、一致した電話帳が表示されます。

- スピードダイヤル検索画面
  スピードダイヤル番号を入力し、[キー]［検索］を押すと、一致した電話帳が表示されます。

スピードダイヤル検索画面に切り替えるとき

- よみがな入力画面で[キー]を押して「スピードダイヤル検索」を選択します。
- 元に戻すときは同じ操作を繰り返します。

5
電話帳

電話帳の検索方法を変更する

「電話帳」を選択したときに、アカサタナ順で電話帳リスト画面が表示されるように設定します。
①待受画面で[ソフトキー]を押す
②[方向キー]で「電話帳」を選択して◎を押す
③[上下キー]で電話帳リストを表示して[ソフトキー]を押す
④[上下キー]で「設定」を選択して◎を押す
⑤[上下キー]で「検索方法」を選択して◎を押す
⑥[上下キー]で「ジャンプ検索」を選択して◎を押す

「検索」に設定すると、「電話帳」を選択して◎を押したときに、よみがな入力画面が表示されます。

スピードダイヤル番号で電話をかける

電話帳の各データには、固有のスピードダイヤル番号が割り当てられます。

スピードダイヤル番号を確認するには
①待受画面から[ソフトキー]を押す
②[方向キー]で「電話帳」を選択して◎を押す
③[上下キー]で名前を選択して◎を押す

1 **スピードダイヤル番号を入力し、[#]を押す**

電話番号が表示されます。

2 **[発信]を押す**

登録されている電話番号に電話をかけます。

スピードダイヤルから電話をかける

本体電話帳のスピードダイヤル番号2～9番、または、USIMカード電話帳のスピードダイヤル番号502～509番に登録されている相手に電話をかける場合は、スピードダイヤル番号1桁を入力するだけで、電話をかけることができます。

- 本体電話帳とUSIMカード電話帳のどちらを利用するかは、あらかじめ設定する必要があります。（☞P.5-19）

1 **スピードダイヤル番号に対応するダイヤルボタン（[2]～[9]）を1秒以上押す**

登録されている電話番号に電話をかけます。

[1]を1秒以上押すと、留守番電話センターに電話をかけます。

スピードダイヤルを設定する

702sMO本体の電話帳またはUSIMカードの電話帳のどちらに登録されているデータにスピードダイヤルするかを設定できます。

1 待受画面で[キー]を押す

2 [キー]で「設定」を選択して◎を押す

3 [キー]で「初期設定」を選択して◎を押す

4 [キー]で「スピードダイヤル」を選択して◎を押す

5 [キー]で「本体」または「USIM」を選択して◎を押す

相手の名前を呼んで電話をかける

電話帳に登録されている名前を発声して電話をかけることができます。

1 待受画面で[キー]を1秒以上押す

2 画面表示に従って登録した相手の名前を発声し、◎を押す

5

電話帳

電話帳の表示順序を設定する

電話帳データを一覧表示する順序を設定できます。

1 待受画面で▭を押す

2 ◎で「電話帳」を選択して◎を押す

3 ◎でリストを表示させて▭を押す

4 ◎で「設定」を選択して◎を押す

5 ◎で「ソート」を選択して◎を押す

「名前」「スピードダイヤル番号」「ボイスタグ」「メールアドレス」から選択します。

6 ◎でソート順序を選択して◎を押す

「名前」を選択するとよみがなの順に並べ替えられます。

電話帳の登録内容をコピーする

電話帳をUSIMカードと本体間でコピーする

702sMO本体とUSIMカードの間で電話帳データを選択してコピーできます。

1 待受画面で▭を押す

2 ◎で「電話帳」を選択して◎を押す

3 ◎で名前を選択して▭を押す

4 ◎で「コピー」を選択して◎を押す

5 で「選択データ」を選択して◎を押す

6 で追加する電話帳を選択して◎を押す

選択した電話帳の横にチェックマークが表示されます。
つづけて他の電話帳を選択できます。

7 電話帳を選択したら［OK］を押す

8 で「To」を選択して◎を押す

9 で「本体メモリ」または「USIMカード」を選択して◎を押す

10 ［完了］を押す

すべての電話帳をUSIMカードまたは本体へコピーする

1 待受画面でを押す

2 で「電話帳」を選択して◎を押す

3 で名前を選択してを押す

4 で「コピー」を選択して◎を押す

5 で「全件USIMカードへ」または「全件本体メモリへ」を選択して◎を押す

6 で「追加」または「上書き」を選択して◎を押す

選択した方法でコピーが開始されます。

電話帳からメールを送信する

1 **待受画面でを押す**

2 **で「電話帳」を選択して◎を押す**

3 **で名前を選択してを押す**

4 **で「メール新規作成」を選択して◎を押す**

5 **で「SMS」または「MMS」を選択して◎を押す**

6 **本文や宛先を入力し、メールを送信する**

メールの作成方法（☞P.16-2）

電話帳の内容をSMSで送信する

1 **待受画面でを押す**

2 **で「電話帳」を選択して◎を押す**

3 **で名前を選択してを押す**

4 **で「電話帳データ送信」を選択して◎を押す**

5 **で「SMS」を選択して◎を押す**

本文に名前や電話番号などが挿入されています。

6 **本文や宛先を入力し、メールを送信する**

メールの作成方法（☞P.16-2）

電話帳の編集

電話帳を修正する

1 待受画面で▭を押す

2 ◎で「電話帳」を選択して◎を押す

3 ◎で登録する名前を選択して▭を押す

4 ◎で「編集」を選択して◎を押す

5 新規登録時と同様に編集する（☞P.5-3）

電話帳を消去する

電話帳を1件または全件削除できます。

1 待受画面で▭を押す

2 ◎で「電話帳」を選択して◎を押す

3 ◎で登録する名前を選択して▭を押す

4 ◎で「1件削除」を選択して◎を押す

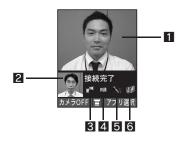
メモ 全件削除するときは、「全件削除」を選択して◎を押し、「本体より削除」または「USIMカードより削除」を選択して◎を押します。

5 ▭［YES］を押す

TVコール

TVコールをご利用になる前に

TVコール対応の携帯電話同士で、お互いの映像を見ながらハンズフリーで通話することができます。相手の方の声はスピーカーから聞こえます。

TVコール中のディスプレイ表示

1 通話中に相手の方の映像を表示します。
（自分の映像と切り替えることもできます。）
2 通話中に自分の映像を表示します。
（相手の方の映像と切り替えることもできます。）
3 通話の状況を表示します。
4 自分の映像の送信状態を表示します。
5 音声の状態を表示します。
6 画面の切替状況を表示します。

TVコールをかける

相手の方の顔を見ながら通話できます。

TVコールのご利用には、相手の方の電話機もTVコール機能に対応している必要があります。

1　待受画面で電話番号を入力する

電波の状況を確認し、電話番号を入力します。

2　電話番号を確認し、[TVコールキー]を押す

TVコールをかけます。

TVコール発信中
090XXXXXXXXX
戻る

3　通話が終わったら [終話キー] を押す

電話が切れます。

TVコールを受ける

1 **着信音が鳴り「TVコール着信中」と表示される**

2 **[通話キー]を押して通話する**

3 **通話が終わったら [終話キー] を押す**

電話が切れます。

TVコールに出られないとき

着信中に電話に出ることができないときは、あらかじめ設定した転送先（☞P.13-3）へ転送することができます。

1 TVコール受信中に［転送］を押す

電話が転送されます。

TVコール通話中の操作

映像の送信を一時停止する

1 **TV コール通話中に [カメラOFF]を押す**

相手の方に送信する映像が一時停止します。

TVコール通話中にを押して「カメラOFF」を選択することもできます。

2 **再び映像を送信するときは、［カメラON］を押す**

カメラを切り替える

内側カメラと外側カメラを切り替えます。

1 **TVコール通話中にで「外部ビュー」を選択する**

TVコール通話中にを押して「外部カメラから」を選択することもできます。

2 **［外部ビュー］を押す**

外側カメラの映像が送信されます。

内側カメラの映像に戻すときは、外側カメラの映像を送信中に［内部ビュー］を押します。

親画面と子画面を切り替える

相手の方と自分の映像を表示する画面を切り替えます。

1 **TVコール通話中に で「画面切替」を選択する**

TVコール通話中に を押して、「画面切替」を選択することもできます。

2 **［画面切替］を押す**

相手の方の映像が子画面に、自分の映像が親画面に表示されます。

元に戻すときは、同じ操作を繰り返します。

相手に送信する音声を消す

1 **TVコール通話中に で「オーディオミュート」を選択する**

TVコール通話中に を押して、「オーディオミュート」を選択することもできます。

2 **［オーディオミュート］を押す**

解除するときは、オーディオミュート中に ［ミュート解除］を押します。

通話を保留する

1 **TVコール通話中に▭を押す**

2 **◎で「保留」を選択して◉を押す**

TVコール通話が保留され、相手の方に送信する映像が一時停止します。

3 **通話を再開するときは、▭を押して◎で「再開」を選択して◉を押す**

TVコール通話が再開され、相手の方に映像が送信されます。

送信する映像の明るさを調整する

1 **TVコール通話中に▭を押す**

2 **◎で「明るさ」を選択して◉を押す**

3 **◎で明るさを調整する**

しばらくすると通話画面に戻ります。

TVコールの各種設定

自分の映像を左右反転表示する

画面に表示する自分の映像を左右逆に表示できます。

1 TVコール通話中に ⌐ を押す

2 ◯で「設定」を選択して◎を押す

3 ◯で「左右反転」を選択して◎を押す

4 ◯で「ON」または「OFF」を選択して◎を押す

照明を設定する

1 TVコール通話中に ⌐ を押す

2 ◯で「設定」を選択して◎を押す

3 ◯で「照明設定」を選択して◎を押す

4 ◯で照明の種類を選択して◎を押す

- 照明の種類
  自動、晴れ、曇り、白熱灯、蛍光灯、夜間

カメラ

カメラ利用時のご注意

702sMOは外側カメラと内側カメラの2つのカメラを搭載しています。内蔵カメラを利用して静止画や動画を撮影できます。

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- 702sMOを暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影したり、静止画や動画を保存したときは画質が劣化する場合があります。

撮影前のご注意

- 撮影前にレンズをきれいにしておいてください。レンズに指紋や油脂がつくとピントが合わなくなります。柔らかい布でレンズを拭いてください。

撮影時のご注意

- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。702sMOが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置いてセルフタイマー（☞P.7-6）で撮影してください。
- 撮影するときは、レンズに指やストラップなどがかからないように注意してください。

静止画の撮影

静止画撮影モード

カメラを起動すると、静止画撮影モードになり、ファインダーに被写体が表示されます。

静止画撮影モードでは、解像度や画質などを指定して撮影を行うことができます。(☞P.7-14)

解像度	MMS(160×120ドット)、中(320×240ドット)、高(640×480ドット)
画質	通常画質、高画質、最高画質

静止画を撮影する

1 を押す

2 で「カメラ」を選択して◎を押す

カメラが起動して静止画撮影モードになり、ファインダーに被写体が表示されます。

- 内側カメラと外側カメラを切り替えるには(☞P.7-6)
- フラッシュを使うには(☞P.7-7)
- 画像サイズなどを設定するには(☞P.7-13)

3 [撮影]を押す

撮影されます。

フラッシュのON／OFFを切り替えるときは、を押します。

4 ［オプション］を押す

撮影した写真を保存しないときは、［撮り直し］を押してファインダーに戻ります。

5 で「保存」を選択して◎を押す

「メール添付」を選択すると、撮影した画像をすぐにメールで送信できます。（☞P.7-7）

7

カメラ

静止画撮影で利用できる機能

静止画撮影モード中に［メニューキー］を押すと、ピクチャーメニューが表示され、以下の操作を行うことができます。

- ピクチャーメニュー

メニュー名	内容	参照
ピクチャーを見る	静止画撮影モードから702sMO本体に保存されている画像や写真を表示します。	(☞P.7-6)
本体メモリ／メモリカード	画像の保存先を本体メモリ／メモリカードに切り替えます。	(☞P.7-6)
内側／外側カメラに切替	内側カメラ（自画像）／外側カメラを切り替えます。	(☞P.7-6)
セルフタイマー撮影	セルフタイマーを設定します。	(☞P.7-6)
フラッシュON／OFF	フラッシュのON／OFFを切り替えます。	(☞P.7-7)
明るさ調整	明るさを6段階で切り替えます。	(☞P.7-7)
ピクチャー設定	静止画撮影用の各種設定を行います。	(☞P.7-13)
空き容量表示	画像保存用の空きメモリを表示します。	(☞P.10-11)

撮影した静止画を表示する

撮影した静止画を表示できます。

1 **静止画撮影モード中にを押す**

ピクチャーメニューが表示されます。

2 **で「ピクチャーを見る」を選択して◎を押す**

3 **で静止画を選択して◎を押す**

静止画が表示されます。

撮影した画像の保存先を切り替える

メモリカードを装着しているときのみ表示されます。

1 **静止画撮影モード中にを押す**

2 **で「本体メモリ」または「メモリカード」を選択して◎を押す**

内側カメラと外側カメラを切り替える

内側カメラ（自画像）と外側カメラを交互に切り替えることができます。

1 **静止画撮影モード中にを押す**

内側カメラの映像に切り替わります。

静止画撮影モード中にを押し、「内側カメラに切替」または「外側カメラに切替」を選択することもできます。

2 **外側カメラに切り替えるときはを押す**

セルフタイマーを使って撮影する

セルフタイマーは5秒か10秒を設定できます。

1 **静止画撮影モード中にを押す**

2 **で「セルフタイマー撮影」を選択して◎を押す**

3 **［開始］を押す**

カウントダウンが始まり、設定秒数後に撮影されます。

フラッシュのON／OFFを切り替える

1 **静止画撮影モード中に[*絵]を押す**

[*絵]を押すたびにON／OFFが切り替わります。

静止画撮影モード中に[メニュー]を押し、「フラッシュ」を選択して◎を押し、ON／OFFを選択することもできます。

明るさを調整する

1 **静止画撮影モード中に[メニュー]を押す**

ピクチャーメニューが表示されます。

2 **[上下]で「明るさ調整」を選択して◎を押す**

3 **[左右]で明るさを選択する**

明るさは6段階に調整できます。

撮影した静止画をすぐにメール送信する

静止画を撮影後、そのままメールに添付して送信できます。

1 **静止画を撮影後すぐに[ソフトキー]［オプション］を押す**

2 **[上下]で「メール添付」を選択して◎を押す**

メール作成画面が表示されます。

3 **本文や宛先を入力し、メールを送信する**

メールの作成について（☞P.16-2）

7

カメラ

撮影した静止画を壁紙やスクリーンセーバーに設定する

1 静止画を撮影すぐに［オプション］を押す

2 で「壁紙に設定」を選択して◎を押す

スクリーンセーバーに設定するときは、「スクリーンセーバーに設定」を選択します。

動画の撮影

動画撮影モード

ムービーカメラを起動すると、動画撮影モードとなり、ファインダーに被写体が表示されます。

動画撮影モードでは、画質や撮影時間などを指定して撮影を行うことができます。（☞P.7-16）

画質	通常画質、高画質、最高画質
撮影時間（本体保存時）	MMSショート（10秒）、MMSロング（15秒）、最長（30秒）
撮影時間（メモリカード保存時）	MMSショート（10秒）、MMSロング（15秒）、最長（3分）

動画を撮影する

1 **待受画面で◯を押す**

2 **◯で「ムービーカメラ」を選択して◎を押す**

ムービーカメラが起動して動画撮影モードになります。ファインダーに被写体が表示されます。

- 内側カメラと外側カメラを切り替えるには（☞P.7-6）
- フラッシュを使うには（☞P.7-7）
- 画像品質などを設定するには（☞P.7-16）

3 **◯［撮影］を押す**

撮影されます。

動画の撮影を一時停止するには、◯［一時停止］を押します。

7 カメラ

4 [停止]を押す

動画の撮影を終了します。

5 [オプション]を押す

撮影した動画を保存しないときは、[撮り直し]を押してファインダー画面に戻ります。

6 で「保存」を選択して◎を押す

「メール添付」を選択すると、撮影した動画をすぐにメールで送信できます。(☞P.7-21)

動画撮影で利用できる機能

動画撮影モード中にを押すと、ムービーメニューが表示され、以下の操作を行うことができます。

メニュー名	内容	参照
ムービーを見る	動画撮影モードから702sMO本体に保存されている動画を表示します。	(☞P.7-11)
本体メモリ／メモリカード	画像の保存先を本体メモリ／メモリカードに切り替える	(☞P.7-6)
内側／外側カメラに切替	内側カメラ（自画像）／外側カメラを切り替えます。	(☞P.7-11)
フラッシュON／OFF	フラッシュのON／OFFを切り替えます。	(☞P.7-7)
ムービー設定	動画撮影用の各種設定を行います。	(☞P.7-16)
空き容量表示	画像保存用の空きメモリを表示します。	(☞P.10-11)

撮影した動画を表示する

1 **動画撮影モード中に［メニュー］を押す**

ムービーメニューが表示されます。

2 **［上下］で「ムービーを見る」を選択して◎を押す**

3 **動画を選択して◎を押す**

動画が再生されます。

内側カメラと外側カメラを切り替える

内側カメラ（自画像）と外側カメラを交互に切り替えることができます。

1 **動画撮影モード中に［左］を押す**

内側カメラの映像に切り替わります。

動画撮影モード中に［メニュー］を押し、「内側カメラに切替」または「外側カメラに切替」を選択することもできます。

2 **外側カメラに切り替えるときは［右］を押す**

7

カメラ

撮影した動画をすぐにメールで送信する

動画を撮影後、そのままメールに添付して送信できます。

1 **動画を撮影後、すぐに[オプション]を押す**

2 **で「メール添付」を選択して◎を押す**

メール作成画面が表示されます。

3 **本文や宛先を入力し、メールを送信する**

ヒント　メールの作成について（☞P.16-2）

静止画撮影用の各種設定

静止画の画質、サイズなどの設定はピクチャー設定メニューから行うことができます。

照明を設定する

1 静止画撮影モード中にを押す

2 で「ピクチャー設定」を選択して◎を押す

ピクチャー設定メニューが表示されます。

3 で「照明設定」を選択して◎を押す

4 で照明の種類を選択して◎を押す

- 照明の種類
  自動、晴れ、曇り、白熱灯、蛍光灯、夜間

明るさを設定する

1 静止画撮影モード中にを押す

2 で「ピクチャー設定」を選択して◎を押す

ピクチャー設定メニューが表示されます。

3 で「明るさ」を選択して◎を押す

4 で明るさの数値を選択して◎を押す

- 明るさの数値
  ＋2、＋1、0、－1、－2

静止画のサイズを設定する

1 静止画撮影モード中に を押す

2 で「ピクチャー設定」を選択して◎を押す

3 で「解像度」を選択して◎を押す

4 で解像度の種類を選択して◎を押す

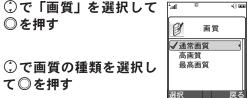
- 解像度の種類
  MMS（160×120）、中（320×240）、高（640×480）

画質を設定する

1 静止画撮影モード中に を押す

2 で「ピクチャー設定」を選択して◎を押す

3 で「画質」を選択して◎を押す

4 で画質の種類を選択して◎を押す

- 画質の種類
  通常画質、高画質、最高画質

シャッター音を設定する

1 **静止画撮影モード中に ▭ を押す**

2 **◎で「ピクチャー設定」を選択して◎を押す**

3 **◎で「シャッター音」を選択して◎を押す**

4 **◎でシャッター音の種類を選択して◎を押す**

左右反転表示を設定する

内側カメラで撮影するときに、ファインダーに表示される画像を鏡像で表示できます。

1 **静止画撮影モード中に ▭ を押す**

2 **◎で「ピクチャー設定」を選択して◎を押す**

3 **◎で「左右反転」を選択して◎を押す**

4 **◎で「ON」または「OFF」を選択して◎を押す**

動画撮影用の各種設定

動画の画質などの設定を行うことができます。

画質を設定する

1 動画撮影モード中に ▭ を押す

2 Ⓒで「ムービー設定」を選択して◎を押す

3 Ⓒで「ムービー画質」を選択して◎を押す

4 Ⓒで画質の種類を選択して◎を押す

- 画質の種類
  通常画質、高画質、最高画質

撮影時間を設定する

1 動画撮影モード中に ▭ を押す

2 Ⓒで「ムービー設定」を選択して◎を押す

3 Ⓒで「撮影時間」を選択して◎を押す

4 Ⓒで再生時間の種類を選択して◎を押す

- 再生時間の種類
  MMSショート（10秒）、MMSロング（15秒）、最長（30秒）

照明を設定する

1 動画撮影モード中に［ソフトキー］を押す

2 ［上下キー］で「ムービー設定」を選択して◎を押す

3 ［上下キー］で「照明設定」を選択して◎を押す

4 ［上下キー］で照明の種類を選択して◎を押す

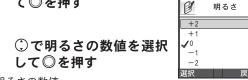
- 照明の種類
  自動、晴れ、曇り、白熱灯、
  蛍光灯、夜間

明るさを設定する

1 動画撮影モード中に［ソフトキー］を押す

2 ［上下キー］で「ムービー設定」を選択して◎を押す

3 ［上下キー］で「明るさ」を選択して◎を押す

4 ［上下キー］で明るさの数値を選択して◎を押す

- 明るさの数値
  ＋2、＋1、0、－1、－2

動画の音声録音を設定する

1 **動画撮影モード中に を押す**

2 **で「ムービー設定」を選択して◎を押す**

3 **で「録音する」を選択して◎を押す**

4 **で「ON」を選択して◎を押す**

音声録音しないときは、「OFF」を選択します。

左右反転表示を設定する

内側カメラで撮影するときに、ファインダーに表示される画像を鏡像で表示できます。

1 **動画撮影モード中に を押す**

2 **で「ムービー設定」を選択して◎を押す**

3 **で「左右反転」を選択して◎を押す**

4 **で「ON」を選択して◎を押す**

左右反転しないときは、「OFF」を選択します。

撮影した画像の確認

静止画を確認する

702sMO本体に保存されている写真、画像、アニメーションを表示できます。

1 **待受画面で ▭ を押す**

2 **⊕で「マルチメディア」を選択して◎を押す**

3 **⊕で「ピクチャー」を選択して◎を押す**

が表示されている画像は、名前の変更、削除、またはメール送信を行うことはできません。

4 **⊕で画像を選択して◎を押す**

選択した画像が表示されます。

次の／前の画像を表示する

○または○を押します。

静止画リスト画面から撮影を開始する

静止画リスト画面で ▭ を押し、○で「新規」を選択して◎を押すと、カメラが起動し、静止画を撮影したり、ピクチャーアルバムを作成できます。ピクチャーアルバムに保存した画像は連続再生できます。（☞P.10-4）

動画を確認する

702sMO本体に保存されている動画を表示できます。

1　待受画面で を押す

2　 で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3　 で「ムービー」を選択して◎を押す

ムービー
ムービーダウンロード
11-28-04_0951
11-28-04_0956
[ムービーカメラ]
[本体メモリ]
選択　戻る

4　 で動画を選択して◎を押す

選択した動画が再生されます。

動画リスト画面から撮影を開始する

動画リスト画面で を押し、 で「新規」を選択して◎を押すと、動画撮影モードになり、動画を撮影できます。

7
カメラ

メール添付

保存済みの静止画または動画をメールに添付して送信できます。

が表示されている静止画や動画は、メール送信できません。

1 **待受画面で を押す**

2 **で「マルチメディア」を選択して◎を押す**

3 **で「ピクチャー」または「ムービー」を選択して◎を押す**

静止画リストまたは動画リストが表示されます。

4 **で静止画または動画を選択し、 を押す**

ピクチャーメニューまたはムービーメニューが表示されます。

5 **で「メール添付」を選択して◎を押す**

メール作成画面が表示されます。

6 **本文や宛先を入力し、メールを送信する**

メールの作成について（☞P.16-2）

ディスプレイの設定

壁紙を設定する

待受画面の壁紙（背景画像）として、写真、静止画やアニメーションを設定できます。
表示する画像と表示位置を選択できます。

1 **待受画面で▭を押す**

2 **◎で「設定」を選択して◎を押す**

3 **◎で「ユーザ設定」を選択して◎を押す**

4 **◎で「壁紙」を選択して◎を押す**

5 **◎で「ピクチャー」を選択して◎を押す**

6 **◎で画像を選択して◎を押す**

7 **◎で「レイアウト」を選択して◎を押す**

8 **◎で表示位置を選択して◎を押す**

「中央」「並べて表示」「画面全体に表示」のいずれかを選択できます。

スクリーンセーバーを設定する

702sMOの操作を一定時間行わなかったときに、画像などをスクリーンセーバーとして表示できます。
表示する画像（写真、ピクチャー、アニメーション）と、スクリーンセーバー画像が表示されるまでの時間を設定できます。

- スクリーンセーバーにアニメーションを設定すると、アニメーションが約1分間繰り返されたあと、最初のフレームが表示されます。
- 画面サイズに合わせて、画像が縮小表示されます。

電池の消耗を抑えたいときは、スクリーンセーバーを「OFF」にしてください。

1 待受画面でを押す

2 で「設定」を選択して◎を押す

3 で「ユーザ設定」を選択して◎を押す

4 で「スクリーンセーバー」を選択して◎を押す

5 で「ピクチャー」を選択して◎を押す

スクリーンセーバーを設定しないときは、「OFF」を選択します。

6 で画像を選択して◎を押す

7 で「起動時間」を選択して◎を押す

8 ダイヤルボタンで起動時間を入力し、［OK］を押す

起動時間がディスプレイ省電力の設定時間（☞P.8-11）より長いと、スクリーンセーバーが表示される前にディスプレイが消灯します。

待受画面設定

キーの割り当てを変更する

待受画面でキーを押したときに起動する機能を変更することができます。
割り当てを変更できるキーとお買い上げ時の設定は以下のとおりです。

キー	お買い上げ時の割り当て機能
	ショートカット
	電話帳
	メール
	通話履歴

1 待受画面でを押す

2 で「設定」を選択して◎を押す

3 で「ユーザ設定」を選択して◎を押す

4 で「時計表示／キー割当」を選択して◎を押す

5 で「キー割当」を選択して◎を押す

6 でキーの種類を選択して◎を押す

キー割当
アイコン：表示
上：ショートカット
下：電話帳
左：メール
右：通話履歴
スマートキー：
変更　戻る

7 で割り当てるメニューを選択して◎を押す

待受画面にアイコンを表示しない

待受画面に4つのアイコンを表示するか、表示しないかを設定できます。

1 待受画面で［メニュー］を押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「ユーザ設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「時計表示／キー割当」を選択して◎を押す

5 ◎で「キー割当」を選択して◎を押す

6 ◎で「アイコン」を選択して◎を押す

7 ◎で「表示」／「非表示」を選択して◎を押す

アイコンが非表示のときも、表示時と同様にナビゲーションボタンを押して機能を呼び出すことができます。

待受画面での文字位置を変更する

待受画面に表示される「Vodafone」や「利用不可」、「充電中」などの文字の位置を設定できます。

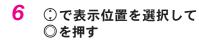
1 **待受画面で ⌴ を押す**

2 **◇で「設定」を選択して◎を押す**

3 **◇で「ユーザ設定」を選択して◎を押す**

4 **◇で「時計表示／キー割当」を選択して◎を押す**

5 **◇で「レイアウト」を選択して◎を押す**

6 **◇で表示位置を選択して◎を押す**

- 表示位置
  中央、左詰め

時計表示を設定する

待受画面に表示する時計表示の種類を設定できます。

1 **待受画面で ⌴ を押す**

2 **◇で「設定」を選択して◎を押す**

3 **◇で「ユーザ設定」を選択して◎を押す**

4 **◇で「時計表示／キー割当」を選択して◎を押す**

5 **◇で「時計」を選択して◎を押す**

6 **◇で時計の種類を選択して◎を押す**

- 時計の種類
  アナログ、デジタル

メインメニュー設定

メインメニューの表示方法や、順番を変更できます。

メインメニューの表示方法を変更する

メインメニューの表示をアイコンにするか、文字のリストにするかを選択できます。

1 **待受画面で ▭ を押す**

2 **◎で「設定」を選択して◎を押す**

3 **◎で「ユーザ設定」を選択して◎を押す**

4 **◎で「メインメニュー」を選択して◎を押す**

5 **◎で「表示」を選択して◎を押す**

6 **◎で表示方法を選択して◎を押す**

- 表示方法
  アイコン、リスト

メインメニューの表示順を変更する

1 待受画面で[key]を押す

2 [key]で「設定」を選択して◎を押す

3 [key]で「ユーザ設定」を選択して◎を押す

4 [key]で「メインメニュー」を選択して◎を押す

5 [key]で「並べ替え」を選択して◎を押す

6 [key]で移動するメニューを選択して◎を押す

選択したメニューの左に ↕ が表示されます。

7 [key]で移動先を選択して◎を押す

ウェイクアップメッセージ表示設定

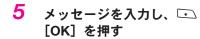
電源を入れたときに表示されるメッセージを設定できます。

1 **待受画面で[メニューキー]を押す**

2 **[方向キー]で「設定」を選択して◎を押す**

3 **[方向キー]で「ユーザ設定」を選択して◎を押す**

4 **[方向キー]で「ウェイクアップメッセージ」を選択して◎を押す**

5 **メッセージを入力し、[ソフトキー]［OK］を押す**

ディスプレイ／ボタンの照明設定

ディスプレイの明るさを調整する

1 待受画面で ⌨ を押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「初期設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「明るさ」を選択して◎を押す

5 ◎で明るさを調節して◎を押す

バックライトの点灯時間を設定する

ディスプレイやボタンのバックライトの点灯時間を設定できます。電池の持続時間をのばすために、バックライトを「OFF」にすることもできます。

1 待受画面で ⌨ を押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「初期設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「バックライト」を選択して◎を押す

5 ◎で点灯時間を選択して◎を押す

- バックライトを常時点灯させるときは、「連続」を選択します。
- バックライトを点灯しないときは、「OFF」を選択します。
- バックライトの点灯時間を「連続」に設定すると、電池の消耗が早くなります。

ディスプレイが消灯するまでの時間を設定する

一定時間702sMOを操作しなかったときに、ディスプレイを消灯させることができます。

1 **待受画面で⊂−⊃を押す**

2 **◎で「設定」を選択して◎を押す**

3 **◎で「初期設定」を選択して◎を押す**

4 **◎で「ディスプレイ省電力」を選択して◎を押す**

5 **◎で消灯するまでの時間を選択して◎を押す**

- 消灯するまでの時間
  OFF、1分、2分、5分、10分

消灯させないときは、「OFF」を選択します。

8

ディスプレイの設定

英語表示に切り替える

メニューの言語を英語表示または日本語表示に切り替えることができます。

1 **待受画面で[キー]を押す**

2 **[十字キー]で「設定」を選択して◎を押す**

3 **[上下キー]で「初期設定」を選択して◎を押す**

4 **[上下キー]で「Language」を選択して◎を押す**

5 **[上下キー]で表示する言語を選択して◎を押す**

- 言語
  日本語、English

音の設定

着信音量を設定する

待受中に、着信音の音量を調節できます。

1 **待受画面で▲（大きく）または▼（小さく）を押す**

最小音量のときにさらに▼（小さく）を押すと、バイブレータに切り替わります。もう一度押すと、サイレントになります。▲（大きく）を押すと、バイブレータ、着信音の順に切り替わります。

着信音パターンの設定

電話がかかってきたり、スケジュールアラームの設定時間になると、着信音やバイブレータでお知らせします。
以下の着信音パターンから1つを選択できます。

着信音パターン

音量（大）
音量（小）
バイブレータ
バイブ&サウンド
サイレント

現在の着信音パターンは、着信音インジケータとして、待受画面に表示されます。（☞P.1-11）

着信音を設定する

1 待受画面で[キー]を押す

2 [キー]で「設定」を選択して◎を押す

3 [キー]で「着信音」を選択して◎を押す

4 [キー]で「モード設定」を選択して◎を押す

5 [キー]で着信音パターンを選択して◎を押す

- 着信音が鳴らないようにするには、「バイブレータ」もしくは「サイレント」を選択します。待受画面で[キー]を1秒以上押すだけでバイブレータに切り替えることができます。

着信音パターンの設定を変更する

着信音パターンごとに、イベントアラーム音、電話帳に割り当てた着信音を有効にするかどうかを設定したり、着信音の種類やボタン操作音量を設定できます。

1　待受画面で を押す

2　で「設定」を選択して◎を押す

3　で「着信音」を選択して◎を押す

4　で「モード設定」を選択して◎を押す

メモ　モード設定は選択した着信音モードによって項目名が変わります。

5　で着信モードを選択して◎を押す

6　で「モード詳細設定」を選択して◎を押す

7　で「着信音量」を選択して◎を押す

8　で音量を調節して◎を押す

9　で「ボタン確認音」を選択して◎を押す

10　で音量を調節して◎を押す

アラーム動作時のバイブレータのON／OFFを設定するときは、「アラーム」を選択して◎を押し、「ON」または「OFF」を選択します。

データ管理

データフォルダについて

データフォルダの構成

データフォルダにはピクチャー、メロディ&サウンド、ムービーの３種類があり、作成・入手したデータを管理できます。また、それぞれのデータフォルダ内にグループを作成して管理することもできます。
ピクチャー、メロディ＆サウンド、ムービーの各データフォルダから、壁紙、着メロサウンド、動画などのダウンロードサイトへ直接アクセスすることができます。

メモリカードを装着しているときは、ピクチャー、メロディ&サウンド、ムービーを選択して、「本体メモリ」と「メモリカード」を切り替えることができます。

壁紙などのダウンロードサイトへ直接アクセス

702MO内の画像ファイルへアクセスし表示

着メロなどのダウンロードサイトへ直接アクセス

702MO内のサウンドファイルへアクセスし再生

ムービーのダウンロードサイトへ直接アクセス

702MO内のムービーファイルへアクセスし再生

保存されているファイルの確認

静止画やアニメーションを再生する

1 待受画面で［メニュー］を押す

2 ［方向キー］で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3 ［方向キー］で「ピクチャー」を選択して◎を押す

4 ［方向キー］で画像を選択して◎を押す

画像が表示されます。

ピクチャー一覧画面の表示方法を変更する

・ピクチャー表示

・リスト表示

1 ピクチャー一覧画面で［メニュー］を押す

2 ［方向キー］で「ピクチャー設定」を選択して◎を押す

3 ［方向キー］で「表示形式」を選択して◎を押す

4 ［方向キー］で「ピクチャー」または「リスト」を選択して◎を押す

アルバムを作成する

保存されている静止画のいくつかをアルバムに登録すると、スライドショーとして再生できます。

1 ピクチャー一覧画面で[ソフトキー]を押す

2 [方向キー]で「新規」を選択して◎を押す

3 [方向キー]で「アルバム」を選択して◎を押す

4 [方向キー]で「名前」を選択して◎を押す

5 アルバム名を入力し、◎を押す

6 [方向キー]で「画像表示」を選択して◎を押す

7 [方向キー]でアルバムに登録する画像を選択して◎を押す

選択した画像の横にチェックマークが表示されます。
つづけて他の画像を選択できます。

8 [ソフトキー]［OK］を押す

9 [方向キー]で「起動時間」を選択して◎を押す

10 切替秒数を入力し、[ソフトキー]［OK］を押す

11 [ソフトキー]［完了］を押す

アルバムが保存されます。

アルバムを再生する

アルバムを再生すると、登録した複数の静止画がスライドショーのように順番に再生できます。

1 **ピクチャー一覧画面から↕でアルバムを選択して◎を押す**

アルバム内の画像が連続再生されます。

リピート再生する

アルバムに登録したアニメーションやアルバムを繰り返し再生できます。

1 **ピクチャー一覧画面で⊟を押す**

2 **↕で「ピクチャー設定」を選択して◎を押す**

3 **↕で「オートリピート」を選択して◎を押す**

4 **↕で「ON」を選択して◎を押す**

- リピート再生を行わないときは、「OFF」を選択します。
- リピート再生を停止するときは、↓を押します。

ランダム再生する

アルバムを登録順序に関係なくランダムに再生できます。

1 **ピクチャー一覧画面でを押す**

2 **で「ピクチャー設定」を選択して◎を押す**

3 **で「シャッフル」を選択して◎を押す**

4 **で「ON」を選択して◎を押す**

ランダム再生を行わないときは、「OFF」を選択します。

カウンタを表示する

再生中、バーを表示するかどうかを設定します。

1 **ピクチャー一覧画面でを押す**

2 **で「ピクチャー設定」を選択して◎を押す**

3 **で「カウンタ」を選択して◎を押す**

4 **で「ON」を選択して◎を押す**

カウンタを表示しないときは、「OFF」を選択します。

サウンドファイルを再生する

自分で作成した着信音や、ダウンロードした着信音やサウンドファイルを再生できます。

1　待受画面で[メニュー]を押す

2　⊙で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3　⊙で「メロディ&サウンド」を選択して◎を押す

4　⊙でサウンドファイルを選択して◎を押す

サウンドファイルが再生されます。

リピート再生する

サウンドファイルや再生リスト（☞P.10-8）を繰り返し再生するように設定できます。

1　サウンド一覧画面で[メニュー]を押す

2　⊙で「サウンド設定」を選択して◎を押す

3　⊙で「オートリピート」を選択して◎を押す

4　⊙で「ON」を選択して◎を押す

- リピート再生を行わないときは、「OFF」を選択します。
- リピート再生を停止するときは、⊙を押します。

再生リストを作成する

保存されているサウンドファイルのいくつかを再生リストに登録すると、連続して再生することができます。

1 **サウンド一覧画面で〔キー〕を押す**

2 **〔キー〕で「新規」を選択して◎を押す**

3 **〔キー〕で「再生リスト」を選択して◎を押す**

4 **〔キー〕で「名前」を選択して◎を押す**

5 **再生リスト名を入力し、◎を押す**

6 **〔キー〕で「オーディオファイル」を選択して◎を押す**

7 **〔キー〕で登録するサウンドファイルを選択して◎を押す**

選択したサウンドファイルの横にチェックマークが表示されます。
つづけて他のサウンドファイルを選択できます。

8 **〔キー〕［OK］を押す**

9 **〔キー〕［完了］を押す**

再生リストが保存されます。

再生リストを再生する

再生リストに登録されているサウンドファイルを順番に再生できます。

1　サウンド一覧画面から⊕で再生リストを選択して◎を押す

再生リスト内のサウンドファイルが再生されます。

ランダム再生する

再生リストを登録順序に関係なくランダムに再生できます。

1　サウンド一覧画面から⊕で再生リストを選択して⊟を押す

2　⊕で「サウンド設定」を選択して◎を押す

3　⊕で「シャッフル」を選択して◎を押す

4　⊕で「ON」を選択して◎を押す

ランダム再生を行わないときは、「OFF」を選択します。

10

データ管理

動画ファイルを再生する

1 待受画面で[ソフトキー]を押す

2 [十字キー]で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3 [十字キー]で「ムービー」を選択して◎を押す

4 [上下キー]で動画を選択して◎を押す

動画が再生されます。

リピート再生する

動画を繰り返し再生するように設定できます。

1 ムービー一覧画面で[ソフトキー]を押す

2 [上下キー]で「ムービー設定」を選択して◎を押す

3 [上下キー]で「オートリピート」を選択して◎を押す

4 [上下キー]で「ON」を選択して◎を押す

- リピート再生を行わないときは、「OFF」を選択します。
- リピート再生を停止するときは、[下キー]を押します。

10 データ管理

ファイル保存用のメモリ状況を確認する

空きメモリを表示できます。

1　待受画面で[ソフトキー]を押す

2　[方向キー]で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3　[方向キー]で「ピクチャー」、「ムービー」または「メロディ＆サウンド」を選択して◎を押す

選択したデータフォルダの一覧画面が表示されます。

4　[ソフトキー]を押し、[方向キー]で「空き容量表示」を選択して◎を押す

メモリカードが挿入されているときは、メモリカードの状況が表示されます。本体メモリの状況を確認するときは、手順4で「本体メモリ」を選択して◎を押し、本体メモリの一覧画面に切り替えてから、改めて手順4の操作を行います。

10

データ管理

画像を壁紙やスクリーンセーバーに設定する

保存されている静止画を壁紙やスクリーンセーバーの画像として利用することができます。

1 待受画面で[ソフトキー]を押す

2 [方向キー]で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3 [方向キー]で「ピクチャー」を選択して◎を押す

4 [方向キー]で画像を選択して[ソフトキー]を押す

5 [方向キー]で「各種設定」を選択して◎を押す

6 [方向キー]で「壁紙」または「スクリーンセーバー」を選択して◎を押す

サウンドファイルの利用

着信音に設定する

保存されているサウンドファイルを着信音に利用することができます。

1 待受画面で を押す

2 で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3 で「メロディ & サウンド」を選択して◎を押す

4 でサウンドファイルを選択して を押す

5 で「着信音に適用」を選択して◎を押す

サウンドファイルを添付してメール送信する

サウンドファイルをMMSに添付して送信することができます。

1 待受画面で を押す

2 で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3 で「メロディ & サウンド」を選択して◎を押す

4 でサウンドファイルを選択して を押す

10

データ管理

5 ◯で「メール添付」を選択して◎を押す

6 ◯で「MMS」を選択して◎を押す

メール作成画面が表示されます。

新規作成
MMS
選択 戻る

7 本文や宛先を入力し、メールを送信する

メールの作成について（☞P.16-2）

保護されたファイルや添付不可のサウンドファイルは送信できません。

再生音量を変更する

再生中のサウンドファイルは、着信音量に設定している音量で鳴りますが、再生中に調整もできます。

1 再生中に▲（大きく）または▼（小さく）を押す

グループ／ファイルの編集

新しいグループを作成する

1 待受画面で▭を押す

2 ◎で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3 ◎で「ピクチャー」、「ムービー」または「メロディ＆サウンド」を選択して◎を押す

4 ▭を押す

5 ◎で「グループ」を選択して◎を押す

6 ◎で「新規グループ」を選択して◎を押す

7 ◎で「名前」を選択して◎を押す

8 グループ名を入力し、◎を押す

9 ◎で「ファイル」を選択して◎を押す

10 ◎でフォルダに登録するファイルを選択して◎を押す

選択したファイルの横にチェックマークが表示されます。

11 複数のファイルを選択するときは手順10を繰り返す

12 ▭［OK］を押す

13 ▭［完了］を押す

グループ名やファイル名を変更する

1 待受画面で[キー]を押す

2 [方向キー]で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3 [方向キー]で「ピクチャー」、「ムービー」または「メロディ＆サウンド」を選択して◎を押す

4 [キー]を押す

5 [方向キー]で「グループ」を選択して◎を押す

6 [方向キー]でグループを選択して[キー]を押す

7 [方向キー]で「編集」を選択して◎を押す

8 [方向キー]で「名前」を選択して◎を押す

9 新規作成時と同様に編集する

静止画や動画のファイル名を変更する

注意 が表示されている画像は、名前を変更できません。

1 待受画面で を押す

2 で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3 で「ピクチャー」または「ムービー」を選択して◎を押す

4 で静止画または動画を選択して を押す

5 で「名前の変更」を選択して◎を押す

6 名前を修正して◎を押す

アルバムや再生リストの名前を変更する

1 待受画面で を押す

2 で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3 で「ピクチャー」または「サウンド」を選択して◎を押す

4 でアルバムまたは再生リストを選択して を押す

5 ◯で「編集」を選択して◎を押す

6 新規作成時と同様に編集する

- アルバム作成（☞P.10-4）
- 再生リスト作成（☞P.10-8）

グループ／ファイルを消去する

不要なグループやファイルを消去できます。

グループを消去する

1 待受画面で▭を押す

2 ◯で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3 ◯で「ピクチャー」、「ムービー」または「メロディ＆サウンド」を選択して◎を押す

4 ▭を押す

5 で「グループ」を選択して◎を押す

6 でフォルダを選択してを押す

7 で「1件削除」を選択して◎を押す

8 [YES] を押す

ファイルを消去する

不要な静止画や動画、アルバム、再生リストを削除できます。

が表示されている画像は、削除できません。

1 待受画面でを押す

2 で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3 で「ピクチャー」、「ムービー」または「メロディ&サウンド」を選択して◎を押す

4 でファイルを選択してを押す

「ピクチャー」を選択した場合

5 で「1件削除」を選択して◎を押す

6 [YES] を押す

複数のファイルをまとめて消去する

1 待受画面でを押す

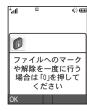
2 で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3 で「ピクチャー」、「ムービー」または「メロディ&サウンド」を選択して◎を押す

4 でファイルを選択して を押す

5 で「マーク」を選択して◎を押す

選択したファイルの横にチェックマークが表示されます。

- ファイルを全て選択するときは、「全てマーク」を選択します。
- 選択を取り消すときは、「マークを解除」または「マークを全て解除」を選択します。

6 複数のファイルを選択するときは手順4～5を繰り返す

7 を押す

8 で「マーク付きファイルを削除」を選択して◎を押す

9 [YES] を押す

ファイルをグループへ移動する

ファイルを1つずつ移動する

1 待受画面で を押す

2 で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3 で「ピクチャー」、「ムービー」または「メロディ＆サウンド」を選択して◎を押す

4 で移動するファイルを選択して を押す

10

データ管理

5 で「ファイルのグループ登録」を選択して◎を押す

6 で移動先のグループを選択して◎を押す

複数のファイルをまとめて移動する

1 待受画面でを押す

2 で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3 で「ピクチャー」、「ムービー」または「メロディ＆サウンド」を選択して◎を押す

4 で移動するファイルを選択してを押す

5 で「マーク」を選択して◎を押す

選択したファイルの横にチェックマークが表示されます。

- ファイルを全て選択するときは、「全てマーク」を選択します。
- 選択を取り消すときは、「マークを解除」または「マークを全て解除」を選択します。

6 複数のファイルを選択するときは手順4〜5を繰り返す

7 を押す

8 で「ファイルのグループ登録」を選択して◎を押す

9 で移動先のグループを選択して◎を押す

アルバムや再生リスト内のファイルの順番を並べ替える

1 待受画面で⌴を押す

2 ⊕で「マルチメディア」を選択して◎を押す

3 ⊕で「ピクチャー」を選択して◎を押す

4 ⊙でアルバムまたは再生リストを選択して⌴を押す

5 ⊙で「並べ替え」を選択して◎を押す

6 ⊙で移動するファイルを選択して◎を押す

選択したファイルの左に↕が表示されます。

7 ⊙で移動先を選択して◎を押す

8 ⌴［完了］を押す

ファイルの詳細情報を表示する

各ファイルのサイズなどの詳細情報を表示します。

- 表示される項目

ピクチャー	：タイトル、サイズ、タイプ、解像度、保存日時、グループ
ムービー	：タイトル、再生時間、サイズ、タイプ、保存日時、グループ
メロディ&サウンド	：タイトル、再生時間、サイズ、タイプ、グループ

1 **待受画面で⊟を押す**

2 **◎で「マルチメディア」を選択して◎を押す**

3 **◎で「ピクチャー」、「ムービー」または「メロディ&サウンド」を選択して◎を押す**

4 **◎でファイルを選択して⊟を押す**

5 **◎で「詳細」を選択して◎を押す**

詳細情報が表示されます。

コンテンツキー一覧を表示する

1 **待受画面で[-]を押す**

2 **◎で「ツール」を選択して◎を押す**

3 **◎で「コンテンツキー一覧」を選択して◎を押す**

コンテンツキー一覧が表示されます。

セキュリティ機能

暗証番号を変更する

702sMOの暗証番号は、お買い上げ時「000000」に設定されています。他人が個人情報にアクセスしないよう、番号を変更できます。

1 待受画面で ▭ を押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「セキュリティ設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「パスワード設定」を選択して◎を押す

5 ◎で「暗証番号」を選択して◎を押す

6 現在の暗証番号を入力し、▭［OK］を押す

7 新しい暗証番号を入力し、▭［OK］を押す

8 もう一度、新しい暗証番号を入力し、▭［OK］を押す

ロック解除コードを変更する

702sMOのロック解除コードは、お買い上げ時「1234」に設定されています。

1 待受画面で[キー]を押す

2 [キー]で「設定」を選択して◎を押す

3 [キー]で「セキュリティ設定」を選択して◎を押す

4 [キー]で「パスワード設定」を選択して◎を押す

5 [キー]で「ロック解除コード」を選択して◎を押す

6 現在のロック解除コードを入力し、[キー]［OK］を押す

7 新しいロック解除コードを入力し、[キー]［OK］を押す

8 もう一度、新しいロック解除コードを入力し、[キー]［OK］を押す

シークレットコードを設定／変更する

シークレットコードは4～8桁の数字です。お買い上げ時には、お客様ご自身で設定する必要があります。また、設定後はいつでも変更することができます。シークレットモードを利用される際には、暗証番号（☞P.11-2）を変更されることをおすすめします。

1 待受画面でを押す

2 で「設定」を選択して◎を押す

3 で「セキュリティ設定」を選択して◎を押す

4 で「パスワード設定」を選択して◎を押す

5 で「シークレットコード」を選択して◎を押す

6 現在のシークレットコードを入力し、［OK］を押す

お買い上げ後、初めてシークレットコードを設定されるときは、手順6の代わりにを押し、暗証番号（☞P.11-2）を入力してから[OK]を押した後、手順7に進みます。

7 新しいシークレットコードを入力し、［OK］を押す

8 もう一度、新しいシークレットコードを入力し、［OK］を押す

音声電話／TVコール発着信規制コードを変更する

音声電話やTVコールの発着信規制用の暗証番号を変更できます。お買い上げ時、「1234」に設定されています。

1 待受画面で を押す

2 で「設定」を選択して◎を押す

3 で「セキュリティ設定」を選択して◎を押す

4 で「パスワード設定」を選択して◎を押す

5 で「通話発着信規制」、または「TVコール発着信規制」を選択して◎を押す

6 現在の通話発着信規制コード、またはTVコール発着信規制コードを入力し、 [OK] を押す

7 新しい通話発着信規制コード、またはTVコール発着信規制コードを入力し、 [OK] を押す

8 もう一度、新しい通話発着信規制コード、またはTVコール発着信規制コードを入力し、 [OK] を押す

PINコード設定

PINコード、PIN2コードは、お買い上げ時「9999」に設定されています。それぞれ別の番号に変更できます。
例：PIN2コードを変更する場合

1 **待受画面でを押す**

2 **で「設定」を選択して◎を押す**

3 **で「セキュリティ設定」を選択して◎を押す**

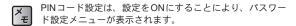
4 **で「パスワード設定」を選択して◎を押す**

5 **で「PIN2コード」を選択して◎を押す**

6 **現在のPIN2コードを入力し、［OK］を押す**

7 **新しいPIN2コードを入力し、［OK］を押す**

8 **もう一度、新しいPIN2コードを入力し、［OK］を押す**

メモ PINコード設定は、設定をONにすることにより、パスワード設定メニューが表示されます。

電源を入れたときにPINコードを入力させる

他の人の無断使用を防ぐため、電源を入れたときにPINコードを入力しないと702sMOを使用できないように設定することができます。
PINコードを入力するまでは、緊急通報を含むすべての発着信を行うことができません。

1 待受画面で［メニューキー］を押す

2 ［方向キー］で「設定」を選択して◎を押す

3 ［方向キー］で「セキュリティ設定」を選択して◎を押す

4 ［方向キー］で「PINコード」を選択して◎を押す

5 ［方向キー］で「ON」を選択して◎を押す

解除するときは、「OFF」を選択します。

電源を入れたときに、間違ったPINコードを3回連続して入力するとPINコードがロックされ、「USIMカードがロックされています」と表示されます。ロックを解除するときはPUKコード（☞P.11-8）を入力します。

USIMカードのロックを解除する

間違ったPINコードまたはPIN2コードを3回連続して入力すると、そのPINコードがロックされ、702sMOの各種機能が利用できなくなります。以下の解除操作を行ってください。

- 間違ったPUKコードを10回連続して入力すると、USIMカードが無効になり、使用できなくなります。
- PUKコードがわからないときは、ボーダフォンにお問い合わせください。
- USIMカードが無効になったときは、所定の手続きが必要となります。お問い合わせ先（☞P.26-33）までご連絡ください。

- PINコードのロックを例に説明します。

1　PINコードがロックされたら、* * 0 5 * を押す

PIN2コードがロックした場合は、* * 0 5 2 * を押します。

2　PUKコードを入力し、［OK］を押す

3　新しいPINコードを入力し、［OK］を押す

PINコードは4～8桁で入力します。

4　もう一度、新しい　PINコードを入力し、［OK］を押す

新しいPINコードが設定されます。

無断で利用されたくないとき

ダイヤル操作を禁止する

702sMOの操作ボタンをロックして操作できないようにし、他人の無断使用を防ぐことができます。
ダイヤル操作禁止を解除して702sMOを使用するには、ロック解除コードを入力する必要があります。

メモ ダイヤル操作禁止中でも、電話の着信やメール受信を知らせる着信音やバイブレータは動作しますが、ロックを解除しないかぎり、応答できません。また、緊急通報も行えませんのでご注意ください。

1 **待受画面で[メニュー]を押す**

2 **◇で「設定」を選択して◎を押す**

3 **◇で「セキュリティ設定」を選択して◎を押す**

4 **◇で「ダイヤル操作禁止」を選択して◎を押す**

5 **◇で「今すぐロック」を選択して◎を押す**

6 **4桁のロック解除コードを入力する**

7 **[・]［OK］を押す**

ダイヤル操作禁止を一時解除する

ダイヤル操作禁止設定中は、何かのボタンを押すと、ロック解除コード入力画面が表示されます。4桁のロック解除コードを入力すると、ダイヤル操作禁止を解除することができます。

1 **4桁のロック解除コードを入力する**

2 **［OK］を押す**

電源を入れるたびにダイヤル操作禁止を設定する

1 **待受画面でを押す**

2 **で「設定」を選択して◎を押す**

3 **で「セキュリティ設定」を選択して◎を押す**

4 **で「ダイヤル操作禁止」を選択して◎を押す**

5 **で「オート」を選択して◎を押す**

6 ◎で「ON」を選択して◎を押す

7 4桁のロック解除コードを入力する

8 ［OK］を押す

オートロックが設定されます。

アプリケーションをロックする

特定の機能をアプリケーションごとに操作できないように設定できます。

1 待受画面でを押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「セキュリティ設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「機能ロック」を選択して◎を押す

5 4桁のロック解除コードを入力する

6 [OK]を押す

7 でロックするアプリケーションを選択して◎を押す

8 で「ロック中」または「ロック解除」を選択して◎を押す

ロック解除コードがわからない場合は、を押すと入力画面が「暗証番号」に変わります。6桁の暗証番号を入力して［OK］を押すと、アプリケーションを使用できます。

セキュリティ機能

11

秘密にしたい電話番号の登録

他人に知られたくない電話帳をシークレット登録できます。

- USIMカードに保存されている電話帳のみ設定できます。
- シークレット登録した電話帳は、「シークレット表示」を「シークレット非表示」に設定すると表示されなくなり、表示する場合はシークレットコードの入力が必要になります。

電話帳をシークレット登録する

1 待受画面で[キー]を押す

2 [キー]で「電話帳」を選択して◎を押す

3 [キー]で登録する名前を選択して[キー]を押す

USIMカードに保存されている電話帳を選択します。

4 [キー]で「編集」を選択して◎を押す

セキュリティ機能

11

5 で「シークレット」を選択して◎を押す

6 で「NO」または「YES」を選択して◎を押す

7 電話帳の登録を完了するときは［完了］を押す

シークレットモードに設定する

1 待受画面でを押す

2 で「設定」を選択して◎を押す

3 で「セキュリティ設定」を選択して◎を押す

4 で「シークレット表示」を選択して◎を押す

5 で「シークレット非表示」を選択して◎を押す

設定を解除する場合は、「シークレット表示」を選択して◎を押し、シークレットコードを入力して［OK］を押します。

6 ［OK］を押す

シークレット登録した電話帳が非表示になります。

電話帳一覧画面で ☐ を押し、◯で「設定」を選択して◎を押し、「シークレット表示」を選択することもできます。

登録内容をお買い上げ時の状態に戻す

各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

各機能の設定をリセットし、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

以下の設定は初期化を行ってもリセットされません。
- ロック解除コード、暗証番号、累積通話時間、電話帳の内容やピクチャーなど、お客様の登録されたデータ、SIMカードなどの情報

1 待受画面で▭を押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「初期設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「設定リセット」を選択して◎を押す

5 暗証番号を入力し、▭［OK］を押す

6 ▭［YES］を押す

すべての登録内容を消去する

各機能の設定をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。さらに、ユーザ設定やすべてのデータを消去することができます。

以下の設定は全データ消去を行ってもリセットされません。
- ロック解除コード、暗証番号、累積通話時間、SIMカードなどの情報

全データ消去を行うと、電話帳やスケジュールなどの内容も消去され、復旧できませんのでご注意ください。

1 待受画面で▭を押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「初期設定」を選択して◎を押す

4 で「全データ消去」を選択して◎を押す

5 暗証番号を入力し、［OK］を押す

6 ［YES］を押す

その他の機能

通話時の便利な機能

プッシュトーン

プッシュトーンを設定する（DTMF）

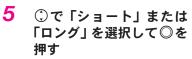
通話中、プッシュトーンを送信するように設定できます。

1 待受画面で を押す

2 で「設定」を選択して◎を押す

3 で「初期設定」を選択して◎を押す

4 で「プッシュトーン」を選択して◎を押す

5 で「ショート」または「ロング」を選択して◎を押す

プッシュトーンを送信できないようにするときは、「OFF」を選択します。

通話中にプッシュトーンを送信する

通話中にダイヤルボタンを押すと、対応するプッシュトーンを送信できます。また、以下の手順で着信履歴や発信履歴に登録されている番号を送信することもできます。

1 通話中に を押す

2 で「着信履歴」または「発信履歴」を選択して◎を押す

3 で電話番号を選択する

4 を押す

5 で「PB送信」を選択して◎を押す

操作4～5の代わりに を2秒以上押しても送信できます。
選択した電話番号がプッシュトーンとして送信されます。

その他の機能

12

ショートカットメニューの利用

ショートカットメニューの登録

メニューの項目のショートカットを作成することができます。

1 待受画面で[ソフトキー]を押す

2 [ナビキー]で分類アイコンを選択して◎を押す

3 [上下キー]で機能を選択して[ソフトキー]を1秒以上押す

4 [ソフトキー][YES]を押す

5 割り当てる番号を変えるときは、[上下キー]で「ボタン」を選択して◎を押す

6 割り当てる番号を入力し、[ソフトキー][完了]を押す

ショートカットが作成されます。

ショートカットメニューの選択

1 待受画面で[ソフトキー]を押す

2 [ナビキー]で「ショートカット」を選択して◎を押す

3 [上下キー]で起動したいショートカットメニューを選択して◎を押す

ショートカットメニューを編集する

1 待受画面で[ソフトキー]を押す

2 [ナビキー]で「ショートカット」を選択して◎を押す

3 [上下キー]で編集したいショートカットメニューを選択して[ソフトキー]を押す

4 ◎で「編集」を選択して◎を押す

5 名前を編集するときは、◎で「名前」を選択して◎を押す

6 名前を入力し、◎を押す

7 割り当てる番号を変えるときは、◎で「ボタン」を選択して◎を押す

8 割り当てる番号を入力し、［OK］を押す

ショートカットメニューから削除する

1 待受画面で▭を押す

2 ◎で「ショートカット」を選択して◎を押す

3 ◎で削除したいショートカットメニューを選択して▭を押す

4 ◎で「1件削除」を選択して◎を押す

メモ すべてのショートカットメニューを削除するときは、「全件削除」を選択します。

5 ▭［YES］を押す

その他の機能

12

誤動作を防止する

電源を入れた状態で持ち運ぶ際などに、ボタンが押されて誤動作しないようにロックをかけることができます。

1　待受画面で［メニュー］［＊］を押す

ダイヤルロック状態になり、どのキーを押しても右の画面が表示されます。解除するときはもう一度［メニュー］［＊］を押します。

省電力設定

電池の消費を節約することができます。

1 **待受画面で[キー]を押す**

2 **[キー]で「設定」を選択して◎を押す**

3 **[キー]で「初期設定」を選択して◎を押す**

4 **[キー]で「省電力設定」を選択して◎を押す**

5 **[キー]で「ON」を選択して◎を押す**

通話しにくい場合は、「OFF」を選択して解除してください。

スクロール動作の設定

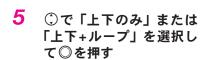
スクロール動作を「上下のみ」または「上下+ループ」のいずれかに設定できます。

1 **待受画面で[キー]を押す**

2 **[キー]で「設定」を選択して◎を押す**

3 **[キー]で「初期設定」を選択して◎を押す**

4 **[キー]で「スクロール」を選択して◎を押す**

5 **[キー]で「上下のみ」または「上下+ループ」を選択して◎を押す**

ハンズフリー機能

702sMO内蔵のハンズフリースピーカーホンを使用したり、ステレオイヤホンマイクなどを接続すると、本機を手で持たずに通話することができます。

ステレオイヤホンマイクなどの使用は、場所によって禁止または制限されている場合があります。このような製品の使用にあたっては、関連する法律や規則を常に守ってください。

ハンズフリースピーカーホンを使って通話する

702sMO内蔵のハンズフリースピーカーホンを使用すると、702sMOを手に持たずに会話できます。

TVコールのときは、自動的にハンズフリー通話となります。

1 通話中に［スピーカーホン］を押す

ハンズフリースピーカーホンをONにすると、待受画面に「スピーカーホンON」と表示され、ハンズフリーで会話できます。
ハンズフリースピーカーホンの使用をやめるときは、もう一度［スピーカーホン］を押します。

702sMOをステレオイヤホンマイクに接続しているとき、ハンズフリースピーカーホンは使用できません。

ステレオイヤホンマイク使用時にどこから着信音を鳴らすかを設定する

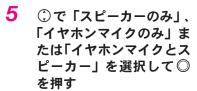
702sMOにステレオイヤホンマイクを接続したときに、着信音をステレオイヤホンマイクまたはスピーカーのいずれかから鳴らすか、両方から鳴らすかを設定できます。

1　待受画面で を押す

2　 で「設定」を選択して◎を押す

3　 で「イヤホンマイク」を選択して◎を押す

4　 で「受話設定」を選択して◎を押す

5　 で「スピーカーのみ」、「イヤホンマイクのみ」または「イヤホンマイクとスピーカー」を選択して◎を押す

ステレオイヤホンマイクで自動応答する

702sMOにステレオイヤホンマイクを接続したときに電話がかかってきた場合、自動的に応答するように設定できます。

1　待受画面で を押す

2　 で「設定」を選択して◎を押す

3　 で「運転中モード」または「イヤホンマイク」を選択して◎を押す

4　 で「自動応答」を選択して◎を押す

5　 で応答までの秒数を選択して◎を押す

「2秒」「5秒」「10秒」から選択します。

自動応答しないときは、「OFF」を選択します。

着信音が「サイレント」に設定されている場合は、自動応答しません。

音声ダイヤル時にステレオイヤホンマイクの送信／終了ボタンを使う

ステレオイヤホンマイクを接続して電話帳のボイスタグを使って音声ダイヤルするとき、ステレオイヤホンマイクの送信／終了ボタンを使って電話をかけたり、電話を切ることができます。

1 **待受画面で　を押す**

2 **　で「設定」を選択して◎を押す**

3 **　で「イヤホンマイク」を選択して◎を押す**

4 **　で「音声ダイヤル」を選択して◎を押す**

5 **　で「ON」を選択して◎を押す**

自動応答しないときは、「OFF」を選択します。

カレンダー

カレンダーは、約束や会議などのスケジュールを管理するためのカレンダーです。カレンダーを使う前に、正確な日付・時刻を設定してください。

新しい予定を作成する

新しい予定を作成します。予定日時にVアプリを起動することもできます。

- 各予定のタイトルは必ず入力してください。

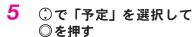
1 **待受画面でを押す**

2 **で「ツール」を選択して◎を押す**

3 **で「カレンダー」を選択して◎を押す**

カレンダー画面が表示されます。

4 **で日付を選択して［新規］を押す**

5 **で「予定」を選択して◎を押す**

6 **で「タイトル」を選択して◎を押す**

7 **タイトルを入力し、◎を押す**

8 **で「開始」を選択して◎を押す**

9 開始時刻を入力し、◎を押す

10 ⇕で「時間」を選択して◎を押す

11 ⇕で設定間隔を選択して◎を押す

「30分」「1時間」「2時間」「3時間」「4時間」「1日中」「カスタム」から選択します。

- 期間を設定しないときは、「なし」を選択します。
- 設定期間を自分で入力するときは「カスタム」を選択し、ダイヤルボタンで期間を入力します。

12 日付を変更するときは、⇕で「日付」を選択して◎を押す

13 日付を入力し、◎を押す

14 繰り返しの予定のときは、⇕で「繰返し」を選択して◎を押す

15 ⇕で繰り返しの周期を選択して◎を押す

「毎日」「毎週」「毎月指定曜日」「毎月指定日」「毎年」から選択します。

設定しないときは、「なし」を選択します。

16 ⇕で「アプリ起動」を選択して◎を押す

17 ⇕でソフトを選択して◎を押す

18 [完了]を押す

予定が登録されます。

- 他の機器から受信したスケジュールデータ(vCalendar ファイル)を登録したとき、内容が正しく表示されない場合があります。

予定アラームを設定する

予定の開始時刻前にアラーム表示とアラーム音でお知らせします。どのぐらい前にお知らせするかを設定できます。

1 予定作成画面からで を選択して◎を押す

2 で設定する時間を選択して◎を押す

「5分前」「10分前」「30分前」「1時間前」「1日前」「1週間前」「カスタム」から選択します。

事前にアラームを通知しないときは、「OFF」を選択します。

予定アラームの設定時刻になると

アラーム音が鳴り、ディスプレイに予定の開始時刻とタイトルが表示されます。

予定アラームの表示を止めるとき

- [表示]を押すとアラーム音が止まり、予定の詳細画面が表示されます。
- [戻る]またはを押すとアラーム音が止まり、待受画面に戻ります。

アラーム通知時間を設定する

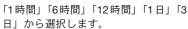
アラーム通知時間を設定できます。

1 **カレンダー画面を表示する（☞P.12-12）**

2 **（ソフトキー）を押す**

3 **（方向キー）で「設定」を選択して◎を押す**

4 **（方向キー）で通知時間を選択して◎を押す**

「1時間」「6時間」「12時間」「1日」「3日」から選択します。

通知しないときは、「OFF」を設定します。

予定を表示する

登録されている予定を表示できます。

1 **待受画面で（ソフトキー）を押す**

2 **（方向キー）で「ツール」を選択して◎を押す**

3 **（方向キー）で「カレンダー」を選択して◎を押す**

カレンダー画面が表示されます。
予定が登録されている日付には、「◢」が表示されます。

次の月を表示するときは（#）、前の月を表示するときは（*）を押します。

4 **（方向キー）で日付を選択して◎を押す**

- 選択した日付に登録されている予定とTo Doの一覧が表示されます。
- アラームが設定されている予定には「⏰」が表示されます。

- 優先度が「高」に設定されているTo Doには、「▶」が表示されます。

5 ⊙で予定を選択して ⌐[表示]を押す

選択した予定の詳細が表示されます。

予定を編集する

登録されている予定を表示し、編集することができます。

1 カレンダー画面を表示する(☞P.12-12)

2 ⊙で日付を選択して◎を押す

3 ⊙で編集する予定を選択して◎を押す

4 ⌐[編集]を押す

5 新規作成時と同様に編集する

予定を削除する

1 カレンダー画面を表示する(☞P.12-12)

2 ◎で日付を選択して◎を押す

3 ◎削除する予定を選択して ▭ を押す

4 ◎で「1件削除」を選択して◎を押す

5 ▭［YES］を押す

予定をコピーする

1 カレンダー画面を表示する(☞P.12-12)

2 ◎で日付を選択して◎を押す

3 ◎でコピーする予定を選択して ▭ を押す

4 ◎で「コピー」を選択して◎を押す

5 コピー先の日付を入力し、▭［OK］を押す

6 新規作成時と同様に編集する

終了した予定を自動的に削除する

終了した予定を自動的に削除するように設定できます。

1　カレンダー画面を表示する（☞P.12-12）

2　[key]を押す

3　[nav]で「設定」を選択して◎を押す

4　[nav]で「保存期間」を選択して◎を押す

5　[nav]で日数を選択して◎を押す

「1週間」「2週間」「4週間」「8週間」「期間設定なし」から選択します。

ToDoリストを作成する

行動予定を作成できます。優先度を設定したり、開始時刻前にアラームでお知らせするように設定することもできます。

1　カレンダー画面を表示する（☞P.12-12）

2　[nav]で日付を選択して[key]［新規］を押す

3　[nav]で「To Do」を選択して◎を押す

4　[nav]で「タイトル」を選択して◎を押す

5　タイトルを入力し、◎を押す

6 で「開始日」を選択して◎を押す

7 開始日を入力し、◎を押す

8 で「期日」を選択して◎を押す

9 期日を入力し、◎を押す

10 で「優先度」を選択して◎を押す

11 で「低」または「高」を選択して◎を押す

12 で「カテゴリー」を選択して◎を押す

13 でカテゴリーの種類を選択して◎を押す

「シークレット」「休日」「旅行」「会社」から選択します。

メモ　カテゴリーを設定しないときは、「なし」を選択します。

14 ［完了］を押す

To Doが登録されます。

ToDoリストの状態を変更する

1 カレンダー画面を表示する（☞P.12-12）

（☞P.12-12）

2 で日付を選択して◎を押す

3 予定を選択して ［表示］を押す

4 ［編集］を押す

5 で「状態」を選択して◎を押す

行動予定が完了したときは「完了」を選択して◎を押し、完了日を入力します。状態が自動的に「完了」に変わります。

6 で状態を選択して◎を押す

「未開始」「進行中」「完了しました」「情報待ち」「保留」から選択します。

アラーム機能

アラームを設定する

指定時刻にアラーム音でお知らせするように設定できます。

1 待受画面でを押す

2 で「ツール」を選択して◎を押す

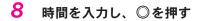
3 で「アラーム」を選択して◎を押す

4 で「新規アラーム」を選択して◎を押す

5 で「名前」を選択して◎を押す

6 名前を入力し、◎を押す

7 で「時間」を選択して◎を押す

8 時間を入力し、◎を押す

9 で「アラーム音」を選択して◎を押す

10 でアラーム音を選択して◎を押す

11 で「音量」を選択して◎を押す

12 で音量を調節して◎を押す

13 ［完了］を押す

アラームを設定した時刻になると

1 **アラーム音が鳴る**

ディスプレイにアラーム名と日時が表示されます。

2 **アラーム音を止めるには、[解除」または を押す**

アラームの有効／無効を設定する

登録したアラームを動作させるかどうかを設定できます。

1 **待受画面で を押す**

2 **で「ツール」を選択して◎を押す**

3 **で「アラーム」を選択して◎を押す**

有効になっているアラームは「」が表示されます。

4 **でアラーム名を選択して◎を押す**

◎を押すたびに有効／無効が切り替わります。

アラームを削除する

1 待受画面で を押す

2 で「ツール」を選択して◎を押す

3 で「アラーム」を選択して◎を押す

4 で削除するアラーム名を選択して を押す

5 で「1件削除」を選択して◎を押す

全てのアラームを削除するときは、「全件削除」を選択します。

6 [YES]を押す

アラームを編集する

1 待受画面で を押す

2 で「ツール」を選択して◎を押す

3 で「アラーム」を選択して◎を押す

4 で編集するアラーム名を選択して を押す

5 で「編集」を選択して◎を押す

6 新規設定時と同様に編集する

簡易電卓

702sMOを電卓代わりに使用して数値計算や通貨換算を行うことができます。

1 **待受画面で▭を押す**

2 **◎で「ツール」を選択して◎を押す**

3 **◎で「簡易電卓」を選択して◎を押す**

4 **簡易電卓を終了するときは、▭を押す**

メモリ計算した計算結果は、簡易電卓を終了しても消去されません。電源を切ると消去されます。

簡易電卓でのボタンの割り当て

0〜9の数字	0〜9	＋／－の切替	▭→「+/－」→◎
クリア	＊	MS（メモリ）	▭→「MS」→◎
小数点	#	MC（メモリクリア）	▭→「MC→◎
＝（計）	▭	MR（メモリ呼出）	▭→「MR」→◎
＋（加算）	◎	％（パーセント）	▭→「％」→◎
－（減算）	◎		
×（乗算）	◎		
÷（除算）	◎		

通貨の換算をする

1 簡易電卓を表示し、[キー]を押す

2 [キー]で「為替レート」を選択して◎を押す

3 為替レートを入力し、[キー]［OK］を押す

4 金額を入力し、[キー]を押す

5 [キー]で「通貨の換算」を選択して◎を押す

各種情報の表示

USIM情報を表示する

1 待受画面で[key]を押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「一般設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「USIM情報」を選択して◎を押す

USIM情報が表示されます。

外部メモリの情報を表示する

1 待受画面で[key]を押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「一般設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「メモリ確認」を選択して◎を押す

5 ◎で「本体」または「カード」を選択して◎を押す

詳細情報が表示されます。

オプションサービス

オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスをご利用できます。

- 電波の届かない場所では、702sMOからは操作できません。
- 一般電話からの操作、ご利用にあたっての詳細は『3Gガイドブック』をご覧ください。

サービス	概要	参照ページ
転送電話サービス※	かかってきた電話を、指定した電話番号へ転送します。	☞P.13-3
留守番電話サービス（別途お申し込みが必要）	電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりします。	☞P.13-7
割込通話サービス（別途お申し込みが必要）	通話中の相手を保留にして、別の相手からの電話を受けたり、別の相手に電話をかけることができます。また、相手を切り替えることもできます。	☞P.13-10
多者通話サービス（別途お申し込みが必要）	通話中に別の相手に電話をかけて、相手を切り替えながら通話したり、6人同時に通話することもできます。	☞P.13-11
発着信規制サービス※	電話をかけたり、電話を受けたりすることを状況にあわせて制限できます。	☞P.13-12

※音声通話、TVコールでは、転送電話サービスと発着信規制サービスは同時に設定できません。

転送電話サービス

702sMOにかかってきた音声電話またはTVコールを別の電話番号に転送します。

転送電話を設定する

1 待受画面で を押す

2 で「設定」を選択して◎を押す

3 で「留守番転送設定」を選択して◎を押す

4 で「音声コール」または「TVコール」を選択して◎を押す

5 で「転送」を選択して◎を押す

- 転送方法
  呼出なし転送：すべての着信を転送します。
  呼出あり転送：電話に出られなかったときに転送します。
  詳細設定：条件によって異なる転送先に転送します。
  OFF：転送を停止します。

6 で転送方法を選択して◎を押す

ヒント
詳細設定を選択したときは、このあと、で「話中時転送」「呼出あり転送」「呼出なし転送」を選択します。
話中時転送：音声電話が通話中の場合に転送します。
呼出あり転送：電話に出られなかったときに転送します。
呼出なし転送：すべての着信を転送します。

7 で「To」を選択して◎を押す

8 転送先電話番号を入力し、 ［OK］を押す

9 ［完了］を押す

転送電話の設定をまとめて解除する

1 待受画面で [key] を押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「留守番電話設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「一括解除」を選択して◎を押す

転送電話の状態を確認する

1 待受画面で [key] を押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「留守番電話設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「転送設定確認」を選択して◎を押す

5 ◎で「音声コール」または「TVコール」を選択して◎を押す

設定内容が表示されます。

通話中に手動で転送する（通知する）

通話中、別の相手の方を呼び出して転送する旨をお知らせしたあとで、転送することができます。

1 **通話中に［メニュー］を押す**

通話メニュー
自局電話番号
保留
ミュート
転送
TVコールに変更
新規発信
発信履歴
選択　戻る

2 **［上下］で「保留」を選択して◎を押す**

3 **転送先の電話番号をダイヤルし、［発信］を押す**

4 **［発信］を押す**

応答した相手と通話します。

5 **［メニュー］を押す**

通話中メニュー
スピーカーホンON
ミュート
転送
終話し保留に応答
発信履歴
着信履歴
その他の情報
選択　戻る

6 **［上下］で「転送」を選択して◎を押す**

7 **［・］［OK］を押す**

通話が転送されます。

オプションサービス

13

通話中に手動で転送する（通知しない）

通話中に手動で別の相手の方に転送できます。呼び出す相手の方とは通話できません。

1 **通話中に［キー］を押す**

2 **［キー］で「転送」を選択して◎を押す**

3 **転送先の電話番号をダイヤルし、［キー］を押す**

通話が転送されます。

着信中に転送する

転送先電話番号または留守番電話センターに転送できます。

1 **着信中に［キー］［転送］を押す**

オプションサービス

13

留守番電話サービス

受け取った留守番電話メッセージは、留守番電話センター上に保存されています。メッセージを確認するときは、留守番電話センターの電話番号に電話をかける必要があります。

伝言メッセージを聞く（伝言再生）

1　待受画面で〔ー〕を押す

2　〔◇〕で「メール」を選択して◎を押す

3　〔◇〕で「留守番電話」を選択して◎を押す

留守番電話センターに電話をかけます。

待受画面で〔1〕を1秒以上押しても留守番電話センターに電話をかけることができます。

留守番電話センターの再生用電話番号が登録されていない場合は、番号を登録する旨のメッセージが表示されます。
（☞P.13-9）

伝言メッセージが録音されると

伝言メッセージが録音されると、ディスプレイに「新着留守電メッセージあり」が表示されます。

1　〔通話〕を押す

留守番電話センターに電話をかけます。

留守番電話センターの再生用電話番号が登録されていない場合は、番号を登録する旨のメッセージが表示されます。
（☞P.13-9）

留守番電話サービスを開始する

着信中のメッセージを留守番電話センターに転送できます。

転送先を登録する

1 待受画面で[ソフトキー]を押す

2 [方向キー]で「設定」を選択して◎を押す

3 [方向キー]で「留守番転送設定」を選択して◎を押す

4 [方向キー]で「音声コール」を選択して◎を押す

5 [方向キー]で「転送」を選択して◎を押す

6 [方向キー]で「呼出なし転送」または「呼出あり転送」を選択して◎を押す

「呼出なし転送」は、メッセージを自動的に留守番電話センターへ転送します。「呼出あり転送」は、手動で転送します。

7 [方向キー]で「To:」を選択して◎を押す

8 留守番電話センターの電話番号「09066517000」を入力する

9 [ソフトキー][OK]を押す

10 [ソフトキー][完了]を押す

手動で転送する

転送先の登録時、「呼出あり転送」を選択した場合のみ有効です。

1 着信中に[ソフトキー][転送]を押す

留守番電話センターの再生用電話番号を登録する

留守番電話センターの再生用電話番号を702sMOに登録できます。

通常は、すでに登録されています。

1 待受画面で▭を押す

2 ◎で「メール」を選択して◎を押す

3 ▭を押し、◎で「留守番電話設定」を選択して◎を押す

4 留守番電話センターの再生用電話番号「1416」を入力する

留守番電話の番号には、「p」「w」「n」は登録できません。これらの文字を留守番電話センターの番号に登録する場合は、電話帳に登録してください。(☞P.5-5)

5 ▭［OK］を押す

番号が登録されます。

メッセージ受信時の通知を設定する

留守番電話メッセージを受信時に通知するかどうかを設定できます。

1 待受画面で▭を押す

2 ◎で「メール」を選択して◎を押す

3 ▭を押す

4 ◎で「留守番電話設定」を選択して◎を押す

5 ◎で「通知」を選択して◎を押す

6 ◎で「ON」を選択して◎を押す

通知しないときは、「OFF」を選択します。

割込通話サービス

通話中に別の電話がかかってきたときに、現在の通話を保留にして新しい電話を受けることができます。

割込通話を設定する

1 **待受画面でを押す**

2 **で「設定」を選択して◎を押す**

3 **で「発着信設定」を選択して◎を押す**

4 **「割込通話」を選択して◎を押す**

5 **で「ON」を選択して◎を押す**

割込通話を解除するときは、「OFF」を選択します。

割込着信を受ける

1 **通話中に「プープー」と鳴ったら、を押す**

新しくかかってきた相手とお話しできます。

2 **通話相手を切り替えるときは、［通話切替］を押す**

通話相手が切り替わります。以降、［通話切替］を押すたびに相手が交互に切り替わります。

- 三人で通話するときは、［追加］を押します。
- 現在保留中の通話を終了して２人の通話に戻すには、を押し、で「終話し保留に応答」を選択して◎を押します。

多者通話サービス

通話中に複数の相手の方に電話をかけ、相手の方を切り替えながら通話をすることができます。通話できる相手の方は最大5人まで可能です。

1 最初の方と通話中に を押し、で「新規発信」を選択して◎を押す

2 電話番号を入力する

[参照]を押して、電話番号を選択することもできます。

3 を押す

最初に話していた相手の方は保留になります。

4 次の方に電話がかかる

続けて他の方へ電話をかけるときは、[多者]を押してから、操作1～4をくり返してください。

5 複数の相手の方と通話する

- 通話中の相手の方を切り替えて話すとき（通話相手が2人の場合）
  [通話切替]を押すたびに、相手の方が切り替わります。
- 複数の相手の方と同時に話すとき
  [多者]を押すと、電話がつながっているすべての相手の方と同時に話すことができます。
- 通話中の相手の方を選んで話すとき（通話切替時はご利用できません）
  を押し、で「通話選択」を選択して◎を押し、相手の方を選択します。

発着信規制サービス

音声電話、TVコール、データ通信、SMSなどの発着信を制限します。

規制の対象	規制の種類	概要
音声発信	国際電話	国際電話の音声発信ができないようにします。
	日本以外全て	日本以外のすべての地域で音声発信ができないようにします。
	全て	すべての音声発信ができないようにします。
	OFF	規制を解除します。
TVコール発信	国際電話	国際電話をTVコールで発信できないようにします。
	日本以外全て	日本以外のすべての地域で音声発信ができないようにします。
	全て	すべてのTVコール発信ができないようにします。
	OFF	規制を解除します。
音声着信	ローミング時	国際ローミング時の音声着信ができないようにします。
	全ての発着信	すべての音声着信ができないようにします。
	OFF	規制を解除します。
TVコール着信	ローミング時	国際ローミング時のTVコール着信ができないようにします。
	全ての発着信	すべてのTVコール着信ができないようにします。
	OFF	規制を解除します。
音声規制全解除		すべての音声発着信の規制を解除します。
TVコール規制全解除		すべてのTVコール発着信の規制を解除します。

発信規制中でも、緊急通報は可能です。

発着信規制を設定する

1 待受画面で［メニューキー］を押す

2 ［方向キー］で「設定」を選択して◎を押す

3 ［方向キー］で「セキュリティ設定」を選択して◎を押す

4 ［方向キー］で「発着信規制」を選択して◎を押す

5 ［方向キー］で規制の対象を選択して◎を押す

音声発着信／TVコール発着信規制を選択したときは手順7に進みます。

6 ［方向キー］で規制の種類を選択して◎を押す

7 音声通話発着信規制コード、または TVコール発着信規制コードを入力し、［ソフトキー］［OK］を押す

注意

発着信規制コードの入力を 3 回連続して間違えると、サービスがご利用できなくなります。この場合は、所定の手続きが必要となりますので、お問い合わせ先（☞P.26-33）までご連絡ください。

オプションサービス

13

発信者番号通知サービス

電話をかけるとき、お客様の電話番号を相手にお知らせするかどうかを毎回選択できます。

1 待受画面で ▭ を押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「発着信設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「電話番号通知」を選択して◎を押す

5 ◎で「次回発信のみ」を選択して◎を押す

6 ◎で「電話番号通知」または「電話番号非通知」を選択して◎を押す

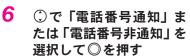
電話をかけるときの指定は、この設定より優先します。

発信時に指定する

1 待受画面で電話番号を入力する

2 ▭ を押す

3 ◎で「電話番号通知」または「電話番号非通知」を選択して◎を押す

4

上記の設定を行わずに電話をかけると、電話番号が通知されます。

Vodafone live!をご利用になる前に

メール

日本国内でも海外でも、ボーダフォン携帯電話やパソコンなどのE-mailとメッセージを送受信することができます。

MMS

ボーダフォン携帯電話やパソコン、E-mailに対応している携帯電話などとの間で、長い文字メッセージ（最大半角30000文字）をやりとりすることができます。動画、静止画、サウンドなどのファイルを添付することも可能です。

MMSのご利用には、別途ご契約が必要です。

SMS

ボーダフォン携帯電話（スカイメール対応機、SMS対応機）どうし、最大全角70文字（半角カナ140文字、半角英数字160文字）の文字メッセージを送受信することができます。SMSの宛先は相手の電話番号となります。

リトライ機能

相手が電源を切っていたり、電波の届かないところにいる場合、サービスセンターにメッセージが保管され、送信が終了するまでくり返し配信します。

- MMSのとき
  受信通知は、最大24時間リトライ（配信）動作を繰り返します。
  受信通知のリトライ期間が過ぎてもメッセージはサービスセンターに保管されています。メッセージの受信については、P.15-2をご覧ください。
  サービスセンターでの保管期間は30日間です。
- SMSのとき
  最大72時間リトライ（配信）動作を繰り返します。
  設定された保管期間内に受信されないと、SMSは自動的に消去されます。

ウェブ

ボーダフォンライブ！が提供するさまざまな内容のコンテンツにアクセスできるインターネット接続サービスです。情報の検索や画像、サウンドなどを702sMOだけで利用できます。

ウェブのご利用には、別途ご契約が必要です。

メニューからアクセス

ウェブのメニューから必要な情報を入手できます。

画像・文字情報・サウンド

インターネットアクセス

インターネットから情報を入手できます。

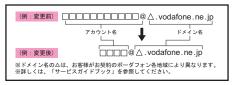
Vアプリ

ゲームや 3D画像などのいろいろなアプリケーションをダウンロードして利用できます。

- 702sMOでは、ボーダフォン携帯電話専用のVアプリのみご利用になれます。

- 各サービスの通信料や詳細は、『3Gガイドブック』をご覧ください。
- 各サービスの利用を禁止することができます。（☞P.14-6）

メールアドレスの変更

お買い上げ時のメールアドレスのアカウント名を、お好きな文字に変更できます。
オリジナルメールアドレスの詳細については、『3Gガイドブック』をご覧ください。

- この操作は、ウェブを利用します。
- 迷惑メール防止のために、お買い上げ時のメールアドレスを変更されることをおすすめします。

ウェブを「OFF」（利用禁止）に設定しているときは、操作できません。

メモリ使用状況の確認

702sMOに保存されているメールデータ容量の目安を確認することができます。

メールメモリの使用状況を確認する

1 **待受画面で［メニューキー］を押す**

2 **［ナビゲーションキー］で「メール」を選択して◎を押す**

3 **［メニューキー］を押し、［上下キー］で「メールメモリ使用量」を選択して◎を押す**

メールメモリの使用状況が表示されます。

4 **確認が終わったら［ソフトキー］［戻る］を押す**

Vodafone live!の禁止設定

ボーダフォンライブ！の各サービス（メール、ウェブ、Vアプリ）の操作を禁止できます。
- 「メール」を利用禁止にしても、メールボックスの表示やSMSの送受信は可能です。
- お買い上げ時は、すべてが「ロック解除」に設定されています。

1 **待受画面で を押す**

2 **で「設定」を選択して◎を押す**

3 **で「セキュリティ設定」を選択して◎を押す**

4 **で「機能ロック」を選択して◎を押す**

5 **4桁のロック解除コードを入力する**

6 **で設定するサービスを選択して◎を押す**

7 **で「ロック中」または「ロック解除」を選択して◎を押す**

メール受信

新着メールの確認

新しいMMSやSMSを受信すると、メール着信音が鳴り、メール着信アニメーションやインジケータでお知らせします。

でメール着信音の音量を調節できます。

1 新しいメールを受信する

2 ◎を押す

送信者が表示されます。

3 [詳細]を押す（SMSの場合は[開く]）

SMSを受信した場合は、すでに702sMOにダウンロードされているメール本文が表示されます。
MMSを受信した場合は、送信元のアドレスまたは電話番号（電話帳に登録されている場合は名前）と、件名が表示されます。[受信]を押すと本文がダウンロードされます。

- 複数のメールを受信したとき でメールを選択して ◎ を押します。
- 702sMO の電源を切っていたなどの理由でメールを受信できなかった場合は、受信通知の再送を行ってください。（☞P.15-3）

- 受信時に着信音を設定することができます。（☞P.5-10）
- 特定の相手からメールが届いたとき、電話帳に登録している画像を表示することもできます。（☞P.5-11）

受信できなかったMMSを再受信する

702sMOの電源を切っていたり、圏外の状態が24時間以上続いた場合、MMSの配信が停止されます。以下の操作で受信通知を再受信してください。

- 受信通知の再送操作を行った時点で、メールサーバーに保存されているメッセージのうち新しいものから30件が一度に再送されます。すでに受信通知が届いているメール（本文未受信のMMS）についても再送されます。

1 受信画面で〔⌐〕を押す。

2 〔◎〕で「Vodafone live!」を選択して◎を押す

3 〔◎〕で「Vodafone live!」を選択して◎を押す

ウェブに接続されます。

4 〔◎〕で「My Vodafone」を選択して◎を押す

My Vodafoneメニューが表示されます。

5 〔◎〕で「受信通知再送」を選択して◎を押す

6 〔◎〕で「再送」を選択して◎を押す

702sMOにメールの送信者名とタイトルが送信されます。

詳細については、『3Gガイドブック』をごらんください。

通話中にメール受信を通知しない

通話中にメールを受信したときに、着信音を鳴らさないように設定できます。

1 待受画面で を押す

2 で「設定」を選択して◎を押す

3 で「発着信設定」を選択して◎を押す

4 で「MSGアラート」を選択して◎を押す

5 で「通話中はOFF」を選択して◎を押す

受信したメールを利用する

受信したメールを利用して、返信、転送、電話の発信を行うことができます。

すぐに返信する

受信メッセージを確認し、相手に返信します。相手のメールの本文を引用することもできます。

1 メール詳細画面で ［返信］を押す

2 本文を入力し、 ［送信］を押す

メールが送信されます。

- メール設定または SMS 設定の、履歴付き返信を「ON」に設定しているときは、引用なしで返信できません。

- 受信メールに返信先指定が含まれているときは、指定されている返信先が宛先に入力されます。
- SMS に返信するときは、元のメッセージで設定されていた文字コードで返信されます。

すぐに転送する

受信メッセージを他の相手に転送できます。

1 **メール詳細画面で［ソフトキー］を押す**

2 **［上下キー］で「転送」を選択して◎を押す**

本文入力画面が表示されます。

3 **［ソフトキー］［送信先］を押し、送信先を選択して［ソフトキー］［送信］を押す**

メールが送信されます。

メモ　元のメールと同じメールタイプで送信されます。

送信者に電話をかける

相手の方がボーダフォン携帯電話から送信してきたとき、通知された電話番号を利用して、相手の方に電話をかけることができます。

1 **メール詳細画面で［ソフトキー］を押す**

2 **［上下キー］で「音声コール発信」を選択して◎を押す**

相手の方へTVコールをかけるときは、「TVコール発信」を選択して◎を押します。

メール送信

メールの作成方法

Step1
本文を入力する(☞ P.16-3)
「SMS」か「MMS」のいずれかを選択し、本文を入力します
本文を入力したら、[送信先]を押します

Step2
宛先を入力する(☞ P.16-5)
相手先の電話番号を入力します
電話帳から宛先を指定することもできます

Step3
送信する(☞ P.16-7)
本文と宛先を入力したら、[送信]を押します

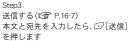
MMSの場合
「MMS定型文」が利用できます(☞ P.17-5)

データフォルダ内の画像やサウンド、ムービーなどを添付することができます(☞ P.17-10)

スライドショウのように複数のページが自動的に切り替わるメールを作成できます(☞ P.17-12)

ボーダフォン携帯電話の電話番号のほか、E-mailアドレスも利用できます(☞ P.17-6)

ボーダフォン携帯電話とE-mailアドレスを合わせて5件まで指定できます。CC、BCCも利用できます(☞ P.17-13)

受取確認や優先度、返信先アドレスの設定ができます(☞ P.17-14)

メールの件名を入力することができます(☞ P.17-8)

送信可能文字数

SMS	最大全角70文字 (半角カナ140文字、半角英数字160文字)
MMS	全角約15000文字／半角約30000文字 (添付ファイルとメッセージ本文などを合わせて最大300Kバイト)

宛先の件数や添付ファイルのデータ量によって、メッセージ本文の入力可能文字数は異なります。

入力項目

SMS	宛先、本文
MMS	宛先、件名、本文、添付ファイル、優先度、受取り要求

本文と宛先を入力・指定するだけでも送信することができます。

Step1　本文を入力する

メールの本文を入力します。
SMSの場合は、最大全角70文字（半角カナ140文字、半角英数字160文字）、MMSの場合は、全角約15000文字／半角約30000文字（添付ファイルとメッセージ本文などを合わせて最大300Kバイト）まで入力できます。

宛先の件数や添付ファイルのデータ量によって、メッセージ本文の入力可能文字数は異なります。

1 **待受画面で▭を押す**

2 **◎で「メール」を選択して◎を押す**

3 **◎で「新規作成」を選択して◎を押す**

4 **◎で「MMS」または「SMS」を選択して◎を押す**

本文入力画面が表示されます。

5 **本文を入力し、▭［送信先］を押す**

送信先選択画面が表示されます。

- 定型文を挿入するとき
  ①本文入力画面で▭を押し、◎で「挿入」を選択して◎を押す
  ②◎で「定型文」または「MMS定型文」を選択して◎を押す
  ③◎で定型文の種類を選択して◎を押す
  本文に定型文の文章や画像などが挿入されます。
- 電話帳や着信／発信履歴の電話番号やメールアドレスを挿入するとき
  ①本文入力画面で▭を押し、◎で「挿入」を選択して◎を押す
  ②◎で「引用」を選択して◎を押す
  ③◎で挿入するデータを選択して▭［OK］を押す。
- 追加ページを挿入するとき（MMSのみ）
  ①本文入力画面で▭を押し、◎で「挿入」を選択して◎を押す
  ②◎で「新規ページ」を選択して◎を押す
  ◎で前のページ、◎で次のページを表示できます。
- 不要なページを削除するとき（MMSのみ）
  ①本文入力画面で削除するページを表示して▭を押し、◎で「ページ削除」を選択して◎を押す
  ②▭［YES］を押す

- 本文の送信イメージを確認するとき
  ▭を押し、◎で「プレビュー」を選択して◎を押します。
- 送信するMMSのおおよそのデータ量は、メール詳細で確認できます。

- メール作成中にメールを受信するとメッセージが表示されます。［開く］を押すと作成途中のメールを下書きに保存し、新着受信メールを表示します。［戻る］を押すとメール作成を続けることができます。
- メール作成中に電話がかかってくるとメッセージが表示されます。［応答］を押すと作成途中のメールを下書きに保存し、電話を受けることができます。［転送］を押すとメール作成を続けることができます。

- メールの作成を中止するとき
  を押し、で「メール作成を中止する」を選択して◎を押します。保存するときは、「下書きに保存する」を選択します。

MMS本文入力について

- 全角文字と半角文字を組み合わせたときなど、文字数に制御コードが含まれるため、入力できる文字数が減ることがあります。
- 宛先にE-mailアドレスを入力したときは、半角カナや絵文字を入力することができません。
- 宛先にE-mailアドレスを入力したときは、E-mailアドレス分だけ送信可能文字数が減ります。
- 添付ファイルとメッセージ本文などを合わせて、最大300Kバイトまで送信することができます。ただし、宛先の件数、添付する画像やサウンドなどのデータ量によって、件名や本文の入力可能文字数は異なります。

定型文を利用する

お買い上げ時に登録されている定型文や、ウェブからダウンロードしたMMSの定型文を使って本文を入力できます。MMSの定型文には画像やサウンドなどが挿入されたものもあります。

1　待受画面でを押す

2　で「メール」を選択して◎を押す

3　で「新規作成」を選択して◎を押す

4　で「MMS定型文」を選択して◎を押す

5　でMMS定型文を選択して◎を押す

選択したMMS定型文が挿入された本文入力画面が表示されます。

- MMS定型文を再生する
  ①MMS定型文一覧画面で、Ⓒ でMMS定型文を選択し、▭ を押す
  ②Ⓒで「表示」を選択して◎を押す
- MMS定型文のサイズを確認する
  ①MMS定型文一覧画面でⒸでMMS定型文を選択し、▭ を押す
  ②Ⓒで「詳細」を選択して◎を押す

6 MMS定型文を修正する

通常の本文と同じように修正したり、挿入することができます。

- ビジュアルの画像を再生するとき
  画像を選択し、▭［表示］を押します。▭［詳細］を押すと、タイトルやサイズなど画像の詳細を確認することができます。確認が終わったら▭［戻る］を2回押します。
- 音声データを削除するとき
  ▭ を押し、Ⓒで「サウンド削除」を選択して◎を押します。

Step2　宛先を入力する

メールの宛先を指定します。SMSの場合はボーダフォン携帯電話の電話番号を複数指定できます。MMSの場合は、E-mailアドレスまたはボーダフォン携帯電話の電話番号を複数指定できます。
宛先はダイヤルボタンで直接入力するほか、電話帳、発着信履歴、送信履歴、メールグループなどから宛先を選択することもできます。

MMSの場合、以下の宛先指定が可能です。
- E-mailアドレスは半角英数128文字まで入力できます。
- E-mail アドレスまたはボーダフォン携帯電話の電話番号の混在が可能です。
- To/Cc/Bccの指定が可能です。

1 本文入力後の送信先選択画面（☞P.16-3）で、Ⓒで「新規電話番号」または「新規メールアドレス」を選択して◎を押す

2 電話番号またはメールアドレスを入力し、▭［OK］を押す

宛先を電話帳から選択するとき
送信先選択画面で表示された電話帳から宛先を選択して◎を押します。

3 宛先を追加するときは、操作1～2を繰り返す

「Cc：」「Bcc：」を追加するとき（☞P.16-11）

- 電話番号の前に「184」「186」を入力して送信することはできません。
- 作成したメールが送信可能容量を超えたときは、確認メッセージが表示されます。

メールの作成を中止するとき

を押し、で「メール作成を中止する」を選択して◎を押します。保存するときは、「下書きに保存する」を選択します。

宛先を修正／消去する

指定した宛先を修正したり、消去することができます。

1 宛先選択画面で、指定済みの宛先を選択して◎を押す

☑が☐に変わります。

2 新しい宛先を指定する

電話帳からメールを作成する

電話帳の詳細画面からメールを作成することができます。

1 を押し、で「電話帳」を選択して◎を押す

検索画面が表示されます。

2 検索する文字を入力し、[検索]を押す

電話帳一覧から探す場合は、を押します。

3 で送信する相手を選択して◎を押す

電話帳詳細画面が表示されます。

4 を押し、で「送信」を選択して◎を押す

5 「SMS」または「MMS」を選択して◎を押す

本文入力画面が表示されます。

Step3　送信する

作成したメールを送信します。

1　**宛先選択画面で［送信］を押す**

メールのサイズなど詳細を確認するとき
を押し「メール詳細」を選択して◎を押します。

作成したメールを下書きに保存するには（☞P.16-14）

電波状況によっては接続中断の確認メッセージが表示されます。

画像／サウンドファイルなどの添付

MMSには、画像やサウンド、ムービーを添付して送信できます。

- 添付ファイルとメール本文などを合わせて、最大300Kバイトまで送信できます。

データフォルダ内のファイルを添付する

データフォルダ内の静止画や動画、サウンドファイルなどを選択してメールに添付できます。

画像やサウンドファイルによっては、添付できないものがあります。

1 **本文入力画面で[キー]を押す**

2 **[キー]で「オプション設定」を選択して◎を押す**

3 **[キー]で「添付ファイル」を選択して◎を押す**

4 **添付するファイルの種類や電話帳データを選択して◎を押す**

16

メール送信

静止画やムービーを撮影して添付する

1 本文入力画面で[キー]を押す

2 [キー]で「オプション設定」を選択して◎を押す

3 [キー]で「添付ファイル」を選択して◎を押す

4 [キー]で「新規ピクチャー」または「新規ムービー」を選択して◎を押す

5 [キー]［撮影］を押す

6 [キー]［挿入］を押す

[キー]［撮り直し］を押すと、撮影をやり直すことができます。

7 [キー]［戻る］を2回押して、本文入力画面に戻る

- 続けて静止画やムービーを撮影して添付するときは、手順6のあと[キー]で「新規添付ファイル」を選択して◎を押し、手順4～6を繰り返します。
- 添付済みファイルを消去するときは、手順1～3を行い、消去するファイルを選択して[キー]を押し、[キー]で「1件削除」を選択して◎を押します。

ページを追加する

メールにページを追加し、複数のページがスライドショーのように再生されるメールを作成できます。また画像やサウンド、ムービーなどをメール内のページで表示、再生するように添付することができます。

1 本文入力画面で[キー]を押す

2 [キー]で「挿入」を選択して◎を押す

3 挿入したいメディアを選択して◎を押す

「新規ページ」を選択した場合は、作成中のメールに新しいページが追加され、メッセージを入力できるようになります。

「ピクチャー」「サウンド」「ムービー」を選んだ場合は、データフォルダ内にある各メディアファイルを挿入できます。
「新規ピクチャー」「新規ムービー」「音声メモ」を選んだ場合は、その場でメールに挿入する写真やムービー、音声の撮影、記録が行えます。

4 ▭を押してメニューを表示し、「ページ表示時間」を選択して◎を押す

各ページが表示される秒数を指定し、◎を押します。

5 ▭を押して「プレビュー」を選択して◎を押す

ページ切り替えのタイミングや各メディアの再生をプレビューできます。

送信オプション設定

MMSを送信するときのオプションを設定します。

送信オプションで設定した内容は、作成中のメール1件に対してのみ有効です。

件名を入力する

MMSの場合は、メールの件名を入力できます。全角253文字、半角512文字まで入力できます。

1 送信先選択完了後に を押す

2 で「オプション設定」を選択して◎を押す

3 で「件名」を選択して◎を押す

4 件名を入力し、 [OK]を押す

- 全角文字と半角文字を組み合わせたときなど、文字数に制御コードが含まれるため、入力できる文字数が減ることがあります。
- 宛先にE-mailアドレスを入力したときは、半角カナや絵文字を入力することができません。
- 入力できる文字数は、使用する文字や添付ファイルの有無により変わります。

CCやBCCを追加する

宛先として指定したアドレスは「TO」として送信されますが、それとは別に、「Cc:」や「Bcc:」で宛先を指定することができます。

1 本文入力画面で を押す

2 で「オプション設定」を選択して◎を押す

3 で「Cc:」または「Bcc:」を選択して◎を押す

4 で「新規電話番号」または「新規メールアドレス」を選択して◎を押す

5 電話番号またはメールアドレスを入力し、［OK］を押す

宛先を電話帳から選択するとき
送信先選択画面で表示された電話帳から宛先を選択して◎を押します

6 ［完了］を押す

受取確認を設定する

受取確認を「ON」に設定すると、送信したメールが相手に届いたかどうかを、配信レポートで確認できます。
- お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。
- MMS では、ボーダフォン携帯電話 1 件のみに送信するときに設定できます。

1 本文入力画面でを押す

2 で「オプション設定」を選択して◎を押す

3 で「受取り」を選択して◎を押す

4 で「配信レポート」を選択して◎を押す

☑が☐に変わります。

5 ［完了］を押す

優先度を設定する

MMSの優先度を３段階（通常・高・低）で設定します。
- お買い上げ時は、「通常」に設定されています。
- MMSのみに設定できます。

1 **本文入力画面で［キー］を押す**

2 **［上下キー］で「オプション設定」を選択して◎を押す**

3 **［上下キー］で「優先度」を選択して◎を押す**

4 **［上下キー］で優先度を選択して［キー］［選択］を押す**

作成したメールを下書きに保存する

メールをすぐに送信せず、下書きに保存することができます。

- 保存したメールはあとから編集したり、送信できます。
- 下書きには、最大200件または送信メールと合わせて最大１Mバイトまで保存することができます。

1　本文入力画面で[メニューキー]を押す

2　[上下キー]で「下書きに保存」を選択して◎を押す

メッセージが表示され、下書きに保存されます。

メールボックス

メールの内容確認

受信したSMSやMMSは受信メールボックスに、送信したSMSやMMSは送信メールボックスに保存されます。また、作成後、送信せずに保存したSMSやMMSは下書きボックスに保存されます。

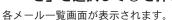
メール一覧から確認する

1 **待受画面でを押す**

2 **◎で「メール」を選択して◎を押す**

3 **◎で「受信メール」、「送信メール」または「下書き」を選択して◎を押す**

各メール一覧画面が表示されます。

- 受信メールボックス

- 送信メールボックス

- 下書きボックス

4 でメールを選択して［開く］を押す

メール詳細画面が表示されます。

- を押すと前のメール、を押すと次のメールが表示されます。
- メール一覧画面で、で「新規作成」を選択して◎を押すと、新しくメールを作成できます。

メールボックス内の表示設定

メールメニューを並べ替える

メールメニューはお買い上げ時、以下の順番に設定されていますが、自分の好みの順番に並べ替えることができます。

- メールメニュー

受信メール
新規作成
留守番電話
定型文
送信メール
下書き
MMS定型文

1 待受画面で ▭ を押す

2 ◎で「メール」を選択して◎を押す

3 ▭ を押す

4 ◎で「リストの並べ替え」を選択して◎を押す

メールメニューが表示されます。

5 ◎で移動する項目を選択して◎を押す

6 ◎で移動する位置を選択して◎を押す

メールメニューの項目が並び変わります。

メールの返信

受信メールの送信者に返信することができます。
- MMSで一度に送信できる宛先は、合計５人までです。

1 **待受画面で[キー]を押す**

2 **[キー]で「メール」を選択して◎を押す**

3 **[キー]で「受信メール」を選択して◎を押す**

4 **[キー]で返信する受信メールを選択して◎を押す**

5 **[キー]［返信］を押す**

6 **本文を入力する**

7 **[キー]［送信］を押す**

メールが送信されます。

メモ 受信メールに返信先指定が含まれているときは、指定されている返信先が宛先に入力されます。

17

メールボックス

メールの転送

受信したメールを別の相手に転送できます。

1 **待受画面で〔━〕を押す**

2 **〔◇〕で「メール」を選択して◎を押す**

3 **〔↕〕で「受信メール」を選択して◎を押す**

4 **〔↕〕で転送する受信メールを選択して◎を押す**

5 **〔━〕を押す**

6 **〔↕〕で「転送」を選択して◎を押す**

7 **送信先を指定して送信する（☞P.16-5）**

メモ 転送メールは、元のメールと同じメールタイプで送信されます。

配信確認

送信したあとで、MMSまたはSMSが相手に届いたかどうかを確認できます。送信オプションによって、配信レポートが自動的に配信されるように設定しておくこともできます。（☞P.16-12）

送信メールの状態を確認する

送信メールの状態を確認できます。

1 **待受画面で[キー]を押す**

2 **[方向キー]で「メール」を選択して◎を押す**

3 **[方向キー]で「送信メール」を選択して◎を押す**

4 **[方向キー]で確認する送信済みメールを選択して◎を押す**

5 **[キー]を押す**

6 **[方向キー]で「メールステータス」を選択して◎を押す**

送信状況が表示されます。

17

メールボックス

下書きからのメール送信

下書き内のSMSやMMSを1件ずつ送信します。本文や宛先、メールオプション指定などを編集し直すこともできます。

1 **待受画面で を押す**

2 **で「メール」を選択して◎を押す**

3 **で「下書き」を選択して◎を押す**

4 **で送信するメールを選択して◎を押す**

本文入力画面が表示されます。

5 **必要に応じて本文を編集し、 [送信先]を押す**

6 **送信先を指定して送信する（☞P.16-5）**

メモ 702sMOは、送信トレイと送信メールのメモリを共用しているため、それぞれのデータの登録状況によって、保存できなくなることがあります。

メールの保護

消去したくない受信メールを保護できます。

- 下書きのMMSやSMS、連結受信中のSMSは、あらかじめ保護されています。
- 送信メールと未送信メールは保護できません。

1 待受画面で[ソフトキー]を押す

2 [方向キー]で「メール」を選択して◎を押す

3 [方向キー]で「受信メール」を選択して◎を押す

受信メール一覧画面が表示されます。

4 [ソフトキー]を押す

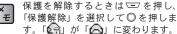
5 [方向キー]で「保護」を選択して◎を押す

「[アイコン]」が「[アイコン]」に変わります。

保護を解除するときは[ソフトキー]を押し、「保護解除」を選択して◎を押します。「[アイコン]」が「[アイコン]」に変わります。

17

メールボックス

メールの消去

不要なメールを消去できます。

メールを指定して消去する

1 待受画面で を押す

2 で「メール」を選択して◎を押す

3 で「受信メール」、「送信メール」、「下書き」のいずれかを選択して◎を押す

4 でメールを選択して を押す

5 で「1件削除」を選択して◎を押す

削除確認画面が表示されます。

6 ［YES］を押す

削除しないときは、 ［NO］を押します。

メールボックス内のメールをすべて消去する

メールボックス内のメールをまとめて消去することができます。消去する範囲は以下から選択できます。

保護設定したメールは、消去できません。消去するときは、「保護解除」を選択して、保護設定を解除してください。

消去範囲

全て		保護されていないすべてのメールを消去します。
受信メール	既読のみ	受信メールボックス内の既読メールを消去します。
	全て	受信メールボックス内の保護されていないメールを消去します。
送信メール	ー	送信メールボックス内のすべてのメールを消去します。
下書き	ー	下書きボックス内のすべてのメールを消去します。

1　待受画面で を押す

2　 で「メール」を選択して◎を押す

3　 を押し、 で「メールの消去」を選択して◎を押す

4　 で「全て」、「受信メール」、「送信メール」、「下書き」のいずれかを選択して◎を押す

「受信メール」を選択した場合は、さらに「既読のみ」または「全て」のいずれかを選択します。

5　 [YES] を押す

指定した範囲のメールがまとめて消去されます。

メールメニューから「受信メール」、「送信メール」、「下書き」のいずれかを選択してから、 を押し、 で「メールの消去」を選択することもできます。

メールを自動消去する

受信メールと送信メールの自動クリーンアップを設定すると、保存するメモリがいっぱいになったときに、古いメールを自動的に消去して、新しいメールを保存することができます。

自動消去の範囲

種類	内容
3日前のメール	3日前より古いメールを削除する
5日前のメール	5日前より古いメールを削除する
7日前のメール	7日前より古いメールを削除する
最新5件保存	最新5件分だけ残して削除する
最新10件保存	最新10件分だけ残して削除する
最新20件保存	最新20件分だけ残して削除する
カスタム	メール件数または残しておく日にちを指定する

1 待受画面で を押す

2 で「メール」を選択して◎を押す

3 で「受信メール」または「送信メール」を選択して を押す

4 で「メール設定」を選択して◎を押す

5 で「自動消去設定」を選択して◎を押す

6 で自動消去する範囲を選択して◎を押す

残すメールの件数または日数を指定するとき
①で「カスタム」を選択して◎を押す
②で件数または日数を選択してを押す
③で「メール」(件数の場合)または「日」(日数の場合)を選択する
④［OK］を押す

- 自動消去しないときは、「なし」を選択します。
- 自動消去されたくないメールは保護しておいてください。(☞P.17-9)
- お買い上げ時は、「なし」に設定されています。
- 送信メールは、保存するメモリがいっぱいになると、古いものから順に自動的に削除されます。

メール内の電話番号／E-mailアドレス

電話帳に登録する

送受信メールの送信元や本文に含まれる電話番号／E-mailアドレスを電話帳に登録することができます。

1 **送受信メール詳細画面で[キー]を押す**

2 **[キー]で「登録」を選択して◎を押す**

3 **[キー]で「電話番号」または「メールアドレス」を選択して◎を押す**

4 **[キー]で保存する電話番号やアドレスを選択して◎を押す**

電話帳の詳細画面に、選択した電話番号やアドレスが入力した状態で表示されます。

5 **電話帳の残りの項目を入力し、[キー][完了]を押す**

17

メールボックス

添付ファイルの利用

データフォルダに保存する

メールに添付されている静止画や、動画、サウンドファイルは、702sMOのデータフォルダに保存できます。

ファイルによってデータフォルダに保存できないものもあります。

1 **受信メール詳細画面で、◎ で添付ファイルを選択する**

2 **[表示] を押す**

添付ファイルが再生されます。

3 **[保存] を押す**

4 **◎で「保存」を選択して [選択] を押す**

5 **ファイル名を入力し、 [OK] を押す**

壁紙／スクリーンセーバーに設定する

受信メールに添付された画像を、壁紙やスクリーンセーバーに設定することができます。

- 画像のデータサイズなどによっては、壁紙やスクリーンセーバーに設定できないものもあります。
- 動画は設定できません。

1 **受信メール詳細画面で、◎ で添付ファイルを選択する**

2 **[表示] を押す**

添付ファイルが再生されます。

3 **[保存] を押す**

4 **◎で「壁紙に設定」または「スクリーンセーバーに設定」を選択して [選択] を押す**

5 **[YES] を押す**

メール一覧画面の表示を切り替える

受信メール一覧画面の表示内容を、「送信者」あるいは「件名」のいずれかに切り替えることができます。

- お買い上げ時は、「送信者」に設定され、電話番号やE-mailアドレス、電話帳に登録されている名前などが表示されます。
- 「件名」に設定した場合、SMSは本文の先頭の文字が表示されます。

1 **待受画面で ▭ を押す**

2 **◎で「メール」を選択して◎を押す**

3 **▭ を押し、◎で「メール設定」を選択して◎を押す**

4 **◎で「受信メール表示」を選択して◎を押す**

5 **◎で「送信者」または「件名」を選択して◎を押す**

6 **▭［完了］を押す**

メールのその他機能

MMS設定

MMS返信時のメールタイプを設定する

1 待受画面で を押す

2 で「メール」を選択して◎を押す

3 を押し、で「メール設定」を選択して◎を押す

4 で「MMS設定」を選択して◎を押す

5 で「MMS作成」を選択して◎を押す

6 で「返信メールタイプ」を選択して◎を押す

7 で「MMS」または「SMS」を選択して◎を押す

SMS返信時のメールタイプを設定する

1 待受画面で▭を押す

2 ◎で「メール」を選択して◎を押す

3 ▭を押し、◎で「メール設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「SMS設定」を選択して◎を押す

5 ◎で「返信設定」を選択して◎を押す

6 ◎で「SMS」または「MMS」を選択して◎を押す

SMSの場合

SMSセンター番号を変更する

SMSセンター番号を変更できます。
ご契約されたボーダフォンから番号変更のお知らせがないときは、変更しないでください。

- お買い上げ時は、「+819066519300」に設定されています。
- SMSセンター番号は、USIMカードに登録されます。

1 待受画面で[ボタン]を押す

2 [十字キー]で「メール」を選択して◎を押す

3 [ボタン]を押す

4 [上下キー]で「メール設定」を選択して◎を押す

5 [上下キー]で「SMS設定」を選択して◎を押す

6 [上下キー]で「サービスセンター番号」を選択して◎を押す

7 サービスセンターの電話番号を入力し、◎を押す

ユーザー作成定型文の登録

本文の作成時によく使う文章を、定型文として登録できます。

1 **待受画面で を押す**

2 **で「メール」を選択して◎を押す**

3 **で「テキスト定型文」を選択して◎を押す**

保存した定型文を編集／削除するとき
一覧から定型文を選択して を押し、「編集」または「削除」を選択して◎を押します。

4 **で「新規作成」を選択して◎を押す**

5 **定型文を入力し、［OK］を押す**

定型文が保存されます。

メールの初期化

送受信メールをすべて消去する

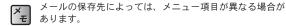
1 待受画面で［–］を押す

2 ［十字キー］で「メール」を選択して◎を押す

3 ［–］を押し、［上下キー］で「メールの消去」を選択して◎を押す

4 ［上下キー］で「全て」を選択して◎を押す

メールの保存先によっては、メニュー項目が異なる場合があります。

5 ［・］［YES］を押す

メールがまとめて消去されます。

ウェブの基本操作

SSL

702sMOはSSL（Secure Socket Layerの略）に対応した情報画面を表示できます。SSLとは、ウェブ上でデータを暗号化して送受信することにより、通信内容の「盗聴」や「改ざん」、第三者の「なりすまし」を防止し、個人情報をより安全にやりとりするための通信方法です。クレジットカードの番号や個人情報などを送受信する際に使用されます。

セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合、お客様は自己の判断と責任においてSSLを利用することに同意されたものとします。
お客様自身によるSSLの利用に際し、ボーダフォンおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、日本ボルチモアテクノロジーズ株式会社、エントラストジャパン株式会社は、お客様に対しSSLの安全性等に関して何ら保証を行うものではありません。
万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承願います。

キャッシュメモリ（一時保存用のメモリ）

ウェブで入手したメニューや情報は、「キャッシュメモリ」に一時保管されます。
一度表示したことのある情報画面を再度表示させようとしたとき、キャッシュメモリにその情報が保存されていれば、保存されている情報が表示されます。
なお、キャッシュメモリが一杯になると、古い情報から順に自動的に消去され、新しい情報に置き換えられます。

- キャッシュメモリに一時保存されている情報を消去できます。
- 有効期限が指定されている情報は、有効期限を過ぎるとキャッシュメモリから消去されます。

ウェブにアクセスする

情報の入手方法や情報画面での基本的な操作方法を説明します。

メニューからアクセスする

ボーダフォンウェブのメニューから読みたい項目を選び、情報を入手できます。

- ボーダフォンウェブのサービス内容については、『3Gガイドブック』をご覧ください。
- ウェブのメニューは、変更されることがあります。

1 待受画面で⌐を押す

2 ◎で「Vodafone live!」を選択して◎を押す

3 ◎で「Vodafone live!」を選択して◎を押す

ブラウザを起動して接続を開始します。

4 ◎で読みたい項目にカーソルを移動して◎を押す

メモ　ウェブに接続できない場合は、ボーダフォンにお問い合わせください。

5 ウェブを終了するときは、⌐を押す

待受画面に戻ります。

ストリーミングコンテンツについて

ストリーミングコンテンツにアクセスすると、動画などが表示されます。再生中に一時停止した場合も、セッションを保つために通信が継続されます。

URLを入力しアクセスする

ホームページのURLを入力して、接続することができます。

- インターネットのホームページによっては、情報を入手できないことがあります。また、画像表示などパソコンで見る内容と異なることがあります。

1 **待受画面で ⌐ を押す**

2 **◎で「Vodafone live!」を選択して◎を押す**

3 **◎で「URL入力」を選択して◎を押す**

4 **URLを入力し、◎を押す**

ブラウザを起動して接続を開始します。

情報画面の操作のしかた

カーソル移動

情報画面では◯を使って、項目を選択できます。選択できる情報項目にはアンダーラインがついています。

1 **◯で項目を選択する**

2 **◎を押して決定する**

画面のスクロール

一番下や一番上の選択項目にカーソルがあるとき、さらに◯を押すと情報画面が上下にスクロールします。

チェックボックス／リストメニュー／プルダウンメニュー／実行ボタンの選択

◯で項目やボタンを選択して◎を押すと、チェックボックスをチェックしたり、機能を実行することができます。また、さらにリストメニューやプルダウンメニューから◯と◎でメニューを選択することもできます。

文字入力

情報画面の文字入力ボックスには文字を入力できます。

1 **◯で文字入力欄を選択する**

2 **◎を押す**

3 **文字を入力する**

- 文字入力方法は、メールや電話帳の入力と同じです。ただし、入力できる文字の種類に制限がある場合があります。
- 間違えたときは、Clear/Backで1文字ずつ削除できます。

ブラウザメニューを表示する

1　情報画面で◯を押す

ブラウザメニューが表示されます。

情報内の電話番号／E-mailアドレス／URLを利用する

情報画面に電話番号（先頭に「TEL:」がついている番号）やE-mailアドレスが含まれているときは、その画面から電話をかけたり、MMSを送信することができます。また、URL（「http://」または「https://」で始まるアドレス）が含まれているときには、インターネットアクセスすることもできます。

- アンダーラインがついていないときは、利用することができません。
- 電話番号やE-mailアドレス、URLが表示されていなくても、操作できることもあります。

情報画面内の電話番号に電話をかける

1　◯で情報画面内の電話番号を選択して◎を押す

2　◯［承認］を押す

3　◯を押す

電話番号がダイヤルされます。

情報画面内のE-mailアドレスにMMSを送信する

1 ⓒでE-mailアドレスを選択して［送信先］を押す

MMSの新規作成画面が表示されます。

2 タイトルや本文を入力し、メールを送信する（☞P.16-2）

情報画面内のURLに接続する

1 ⓒでURLを選択して◎を押す

該当のインターネットのホームページに接続されます。

情報画面内のE-mailアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

情報の利用

画像ファイルの利用

リンクされている静止画をデータフォルダに保存したり、壁紙として登録することができます。

- 壁紙に設定
- スクリーンセーバーに設定

データフォルダに保存する

702sMOには、あらかじめ写真、静止画、およびアニメーションが保存されていますが、さらに画像をダウンロードして保存することができます。

画像のデータサイズなどによっては、データフォルダに保存できないことがあります。

1 **静止画のある情報画面を表示する**

2 **でダウンロード用のリンクを選択して◎を押す**

3 **ダウンロードが完了したら［登録］を押す**

以下の項目から利用方法を選択してください。

- メール添付
- 保存

動画ファイルの利用

動画をダウンロードして、マルチメディアのムービーに保存します。

- 動画ファイルの利用方法について（☞P.10-2）

- ダウンロード中に電話がかかってきた場合は、［応答］を押すと、ダウンロードを中断せずに電話を受けることができます。

メールに添付された画像を保存するには（☞P.17-14）

データフォルダに保存する

動画ファイルをダウンロードしたり、MMSで動画ファイルを受信したりできます。

1 **動画が含まれる情報画面を表示する**

2 **でリンクを選択して◎を押す**

3 **［登録］を押す**

サウンドファイルの利用

情報にサウンド（メロディ）が含まれているときは、サウンドを再生したり、データフォルダに保存することができます。

- データフォルダに保存したサウンドは、MMS に添付して、送信することもできます。ただし、転送制限がかけられているサウンドもあります。

データフォルダに保存する

1 **サウンドが含まれる情報画面を表示する**

2 **でサウンドダウンロード用のリンクを選択して◎を押す**

3 **［登録］を押す**

お気に入り

よく利用する情報画面を、画面ごとにお気に入りに登録しておくと、あとで簡単に表示することができます。

お気に入りに登録する

1 情報画面で ▭ を押す

2 ◯で「登録」を選択して◎を押す

3 ◯で「お気に入りへ保存」を選択して◎を押す

4 ◎を押す

お気に入りを表示する

1 待受画面で ▭ を押す

2 ◯で「Vodafone live!」を選択して◎を押す

3 ◯で「お気に入り」を選択して◎を押す

4 ◯でページを選択して◎を押す

登録内容を編集する

1 待受画面で[key]を押す

2 [key]で「Vodafone live!」を選択して◎を押す

3 [key]で「お気に入り」を選択して◎を押す

4 [key]で変更するタイトルを選択して[key]を押す

5 [key]で「名前の変更」を選択して◎を押す

6 名前を修正し、◎を押す

お気に入りを削除する

1 待受画面で[key]を押す

2 [key]で「Vodafone live!」を選択して◎を押す

3 [key]で「お気に入り」を選択して◎を押す

4 [key]で削除するタイトルを選択して[key]を押す

5 [key]で「削除」または「全件削除」を選択して◎を押す

ウェブショートカット

よく利用するウェブページのURLをウェブショートカットに登録しておくと、簡単な操作で接続することができます。

ウェブショートカットに登録する

1　登録したい情報画面で を長押しする

2　［YES］を押す

この後、名前、ボタンを登録し、［完了］を押します。

ウェブショートカットからアクセスする

1　待受画面で を押す

2　で「Vodafone live!」を選択して◎を押す

3　で「ウェブショートカット」を選択して◎を押す

4　で表示するウェブショートカットを選択して◎を押す

登録されているウェブページに接続し、情報画面が表示されます。

登録内容を編集する

1 待受画面で[key]を押す

2 [key]で「Vodafone live!」を選択して◎を押す

3 [key]で「ウェブショートカット」を選択して◎を押す

4 [key]で項目を選択して[key]を押す

5 [key]で「編集」を選択して◎を押す

6 各項目を入力し、[key]［完了］を押す

「名前」「ボタン」「URL」を編集します。

ウェブショートカットを削除する

1 待受画面で[key]を押す

2 [key]で「Vodafone live!」を選択して◎を押す

3 [key]で「ウェブショートカット」を選択して◎を押す

4 [key]で項目を選択して[key]を押す

5 [key]で「1件削除」を選択して◎を押す

6 [key]［YES］を押す

履歴

履歴からアクセスする

1 待受画面で ▭ を押す

2 ◎で「Vodafone live!」を選択して◎を押す

3 ◎で「履歴」を選択して◎を押す

履歴一覧が表示されます。

4 ◎で履歴を選択して◎を押す

履歴を消去する

1 待受画面で ▭ を押す

2 ◎で「Vodafone live!」を選択して◎を押す

3 ◎で「ブラウザ設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「履歴を消去」を選択して◎を押す

履歴が消去されます。

情報表示中の各種設定

最新の情報に更新／再取得する

キャッシュメモリ（☞P.19-2）の利用によって、702sMOに表示されている情報画面の内容が、必ずしも最新のウェブページの内容と一致しないことがあります。
このような場合などに、情報画面の内容を最新の内容に更新したり、正常に受信できなかった情報を再取得することができます。

1 **更新する情報画面で［ー］を押す**

2 **ⓒで「更新」を選択して◎を押す**

ウェブのその他機能

画像やサウンドの取得設定（テキストブラウズ）

情報画面に画像やサウンドが含まれているとき、それらを受信せず、文字情報だけを表示することができます。

- 画像とサウンドを別々に設定することができます。
- お買い上げ時は、すべて取得するように設定されています。

1 **待受画面で ▭ を押す**

2 **◎で「Vodafone live!」を選択して◎を押す**

3 **◎で「ブラウザ設定」を選択して◎を押す**

4 **◎で「テキストブラウズ設定」を選択して◎を押す**

5 **◎で「画像」を選択して◎を押す**

6 **「OFF」を選択して◎を押す**

文字情報だけを表示するときは、「ON」を選択します。

7 **◎で「サウンド」を選択して◎を押す**

8 **「OFF」を選択して◎を押す**

文字情報だけを表示するときは、「ON」を選択します。

ウェブの初期化

Cookieを消去する

Cookieとは、ボーダフォンライブ！サービスセンターと702sMOの間で受け渡しするユーザー情報やアクセス履歴などの情報です。この情報を消去できます。

1 **待受画面で を押す**

2 **で「Vodafone live!」を選択して◎を押す**

3 **で「ブラウザ設定」を選択して◎を押す**

4 **で「Cookieを消去」を選択して◎を押す**

確認画面が表示されます。

5 **[クリア]を押す**

ウェブキャッシュの初期化

702sMO内に記録されているキャッシュをすべて消去できます。

1 **待受画面で を押す**

2 **で「Vodafone live!」を選択して◎を押す**

3 **で「ブラウザ設定」を選択して◎を押す**

4 **で「ウェブキャッシュのクリア」を選択して◎を押す**

情報画面表示中に を押して「ウェブキャッシュクリア」を選択してもキャッシュを消去することができます。

ウェブ表示中の機能

マルチ接続で機能を呼び出す

ウェブ表示中に、次のような機能を呼び出すことができます。

- 新規発信：電話をかけることができます。
- 電話帳：電話帳を呼び出すことができます。
- メール：メール機能を呼び出すことができます。
- カレンダー：カレンダーを呼び出すことができます。
- テキストブラウズ設定：マルチメディア機能を呼び出すことができます。

1 **情報画面で ⊏⊐ を押す**

2 **⊙で「機能呼出」を選択して◎を押す**

3 **⊙で機能を選択して◎を押す**

情報画面のURLを確認する

表示中の画面のURLを確認することができます。

1 **情報画面で ⊏⊐ を押す**

2 **⊙で「URL表示」を選択して◎を押す**

Vアプリの基本操作

Vアプリをご利用になる前に

メモリカードをご利用の場合

メモリカードを別のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用（データの編集や追加、消去など）したときは、「Vアプリ手動シンクロ」を行い、Vアプリライブラリの情報を更新する必要があります。

- Vアプリライブラリを更新しないと、正しく動作しないことがあります。
- Vアプリライブラリのファイル数やデータ量によっては、情報更新が完了するまで時間がかかることがあります。

702sMOからメモリカードに保存したVアプリは、お客様のUSIMカードが取り付けられた702sMOまたは機種交換されたボーダフォン携帯電話以外では利用できません。

- 通信料については、『3Gガイドブック』をご覧ください。

Vアプリのダウンロード

Vアプリを Vodafone live！でダウンロードします。

ダウンロードするVアプリによっては、メモリカードにも保存できます。

- 電波状態のよい所でダウンロードしてください。
- ダウンロードの際に、「署名されていないアプリケーションです。ダウンロードしますか？」と表示されるVアプリの動作は保障されません。

1 待受画面で を押す

2 で「Vodafone live!」を選択して◎を押す

3 で「Vodafone live!」を選択して◎を押す

4 でダウンロードするゲームやアプリケーションを選択して◎を押す

5 詳細を確認し ［受信］を押す

ダウンロード確認画面が表示されます。

6 ［YES］を押す

ダウンロードが開始されます。

ダウンロード確認画面

Vアプリのダウンロード時、Vアプリ本体をダウンロードする前に、タイトルやサイズなどのVアプリ情報を受信します。（ダウンロード確認画面）このダウンロード確認画面で確認したあと、Vアプリ本体をダウンロードすることができます。

Vアプリの起動

お買い上げ時に登録されているVアプリや、ダウンロードしたＶアプリのゲームやアプリケーションを起動します。

1 **待受画面で を押す**

2 **で「Vアプリ」を選択して◎を押す**

3 **でゲームやアプリケーションを選択して◎を押す**

Vアプリが起動します。

Vアプリ起動中に電話などの着信があると、Vアプリが一時停止し、着信画面が表示されます。Vアプリを起動させたまま着信通知を表示させることもできます。（☞P.24-2）

Vアプリの終了／一時停止／削除

Vアプリを終了／一時停止する

1 Vアプリ利用中に[key]を押す

2 [key]で「終了」または「一時停止」を選択して◎を押す

Vアプリを削除する

登録されているVアプリを消去できます。

1 待受画面で[key]を押す

2 [key]で「Vアプリ」を選択して◎を押す

3 [key]で消去するVアプリを選択して[key]を押す

4 [key]で「1件削除」を選択して◎を押す

5 [key]「YES」を押す

Vアプリの利用

Vアプリの待受設定

待受画面に常にVアプリを起動させておくことができます。
- 待受設定できるVアプリは1件のみです。また、待受設定できないVアプリもあります。
- 一時停止中のVアプリがあるときは、設定できません。
- メモリカード内のVアプリは設定できません。

Vアプリ待受を設定する

Vアプリを待受に設定します。
- お買い上げ時、待受設定されているVアプリはありません。

1 **待受画面で ⌨ を押す**

2 **◎で「設定」を選択して◎を押す**

3 **◎で「Vアプリ設定」を選択して◎を押す**

4 **◎で「Vアプリ待受設定」を選択して◎を押す**

5 **アプリを選択して◎を押す**

Vアプリのその他機能

Vアプリ起動中の着信設定

Vアプリ起動中に電話やメールが着信した場合や、アラーム設定時刻になった場合の動作を設定します。

着信優先／アラーム優先	Vアプリを一時停止して、着信を受けたり、アラームが動作するようにします。
Vアプリ優先	Vアプリを継続します。ただし、着信やアラームの通知はディスプレイに表示されます。

- 待受設定したVアプリの起動中に着信したときは、設定にかかわらず、「アプリ優先」の動作になります。
- お買い上げ時は、着信が「着信優先」に設定され、アラームは、「アラーム優先」に設定されています。

1 待受画面で ▭ を押す

2 ◎で「設定」を選択して◎を押す

3 ◎で「Vアプリ設定」を選択して◎を押す

4 ◎で「Vアプリ優先設定」を選択して◎を押す

5 ◎で「着信」を選択して◎を押す

6 ◎で「着信優先」または「Vアプリ優先」を選択して◎を押す

7 ◎で「アラーム」を選択して◎を押す

8 ◎で「アラーム優先」または「Vアプリ優先」を選択して◎を押す

Vアプリの再生音量調節

Vアプリ動作中の効果音などの音量を調節します。

Vアプリの音量を設定する

1 **待受画面で[メニューキー]を押す**

2 **[十字キー]で「設定」を選択して◎を押す**

3 **[上下キー]で「Vアプリ設定」を選択して◎を押す**

4 **[上下キー]で「再生音量」を選択して◎を押す**

5 **[上下キー]で音量を選択して◎を押す**

Vアプリのバイブレータ設定

Vアプリからバイブレータを動作させることができますが、これを制限できます。

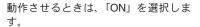
1 **待受画面で[メニューキー]を押す**

2 **[十字キー]で「設定」を選択して◎を押す**

3 **[上下キー]で「Vアプリ設定」を選択して◎を押す**

4 **[上下キー]で「バイブ設定」を選択して◎を押す**

5 **[上下キー]で「OFF」を選択して◎を押す**

動作させるときは、「ON」を選択します。

Vアプリ起動中のディスプレイ設定

ディスプレイのパネル照明を設定する

Vアプリ起動中のディスプレイのバックライトの点灯を設定できます。

ON	Vアプリ起動中は、常に点灯します。
OFF	Vアプリ起動中は、ボタンを押したときに点灯します。

- お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

1 待受画面で を押す

2 で「設定」を選択して◎を押す

3 で「Vアプリ設定」を選択して◎を押す

4 で「パネル照明」を選択して◎を押す

5 で「ON」を選択して◎を押す

常時点灯させないときは、「OFF」を選択します。

Vアプリの初期化

Vアプリをすべて削除する

Vアプリライブラリに保存されているVアプリをすべて消去します。

- Vアプリ待受設定も解除されます。

1 待受画面で を押す

2 で「設定」を選択して◎を押す

3 で「Vアプリ設定」を選択して◎を押す

4 で「全アプリ削除」を選択して◎を押す

5 [YES] を押す

システムの詳細情報を表示する

JavaシステムのCLDCバージョン、MIDPバージョン、空き容量、ヒープサイズの詳細情報を確認できます。

1 待受画面で を押す

2 で「設定」を選択して◎を押す

3 で「Vアプリ設定」を選択して◎を押す

4 で「Javaシステム」を選択して◎を押す

内容が表示されます。

Abridged English Manual

Confirming Standard Accessories

Accessories

■ Battery (MOBE01)

■ Rapid Charger (MOCE01)

■ TransFlash™ Memory Card

■ SD Adapter

■ USB Cable & Utility Software (MOGF01)

Optional Items

■ Desktop Holder (MOEE01)

■ In-Car Charger (MOJE01)

■ Stereo Earphone/Microphone (MOCF01)

- Inquiries regarding accessories and options (☞p.25-55)
- For Battery, Rapid Charger and USB Cable & Utility Software, additional quantities may be purchased separately.

Safety Precautions

IMPORTANT INFORMATION ON SAFE AND EFFICIENT OPERATION.
READ THIS INFORMATION BEFORE USING YOUR HANDSET.
Keep this manual in a convenient location for future reference.
Observe precautions to avoid injury to self or others or damage to property.
Vodafone is not liable for any damages resulting from use of this product.
To assure optimal phone performance and make sure human exposure to RF energy is within the guidelines set forth in the relevant standards, always adhere to the following procedures.

■ The following symbols indicate the different degrees of injury or damage that may occur if information provided is not observed.

Symbol	Meaning
⚠ DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠ WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
⚠ CAUTION	Risk of injury or damage to property from improper use

■ The following icons are categorized to describe terms that must be followed.

Icon	Meaning
	Indicates a prohibited action.
	Indicates not to disassemble the device.
	Indicates not to use the device near water or get it wet.
	Indicates not to handle the device with wet hands.
	Indicates that instructions specified are compulsory (must be followed).
	Indicates that the power cord must be unplugged from the power outlet.

Handset, Battery & Charger

DANGER

●**Use only the specified battery, charger or holder.**
The battery may leak, overheat, explode or catch fire.

WARNING

●**Do not throw or otherwise subject to strong force or impacts.**
The battery may leak, overheat, explode or catch fire. Other devices may also be damaged or catch fire.

●**Do not use the handset in locations such as gas stations where there is a risk of explosion or fire.**
Use of the handset in dusty environments or in locations where there are propane, gasoline or other flammable gases may cause an explosion or fire.

●**Do not place the handset, battery, or charger inside cooking appliances such as microwave ovens or pressure cookers.**
The battery may leak, overheat, explode or catch fire, and the handset or charger may overheat, emit smoke or catch fire. The internal circuitry may also be damaged.

●**Do not use or leave the handset in locations subject to high temperatures, such as in direct sunlight or inside a car on a hot day.**
The battery may leak, overheat, explode, catch fire. Other devices may also be damaged and cause malfunction. Part of the casing may also become hot and cause burns.

CAUTION

●**Do not store the handset in humid, dusty or hot locations.**
May cause malfunction or injury.

●**Do not leave the handset on unstable surfaces, such as on a wobbling table or sloped surface.**
The handset may fall and cause injury or be damaged.

● **If a child is using the handset, have a guardian teach them the proper handling procedures. In addition, check that the child is using the handset as directed.**
May result in bodily injury.

● **Keep the handset out of the reach of young children.**
A young child may swallow or suffer other bodily injury.

Handset

● **Do not disassemble or modify handset.**
Fire, injury or electric shock may result.

● **When instructed to do so, turn OFF the handset when aboard aircraft.**
Any use of a handset must be in accordance with applicable regulations per airline crew instructions.

● **Turn OFF the handset prior to entering any area with a potentially explosive atmosphere. Do not remove, install or charge batteries in such areas.**
Sparks in a potentially explosive atmosphere can cause an explosion or fire resulting in bodily injury or even death.
Note: The areas with potentially explosive atmospheres referred to above include fueling areas such as below decks on boats, fuel or chemical transfer or storage facilities, areas where the air contains chemicals or particles, such as grain, dust or metal powders. Areas with potentially explosive atmospheres are often but not always posted.

● **To avoid possible interference with blasting operations, turn OFF the handset when you are near electrical blasting caps, in a blasting area or in areas posted "Turn off electronic devices."**
Obey all signs and instructions.

● **Turn OFF the handset around precision instruments.**
Instruments may malfunction.
Note: Example of such devices includes hearing aids, implanted pacemakers and defibrillators, other electronic medical devices, smoke detectors, automated doors and other automated devices. Confirm with the manufacturer or retailer before using the handset if using an implanted pacemaker or defibrillator.

● **Turn OFF the handset in any facility where posted notices instruct you to do so.**
These facilities may include hospitals or health care facilities that may be using equipment that is sensitive to external RF energy.

● **Persons with pacemakers should NOT carry the handset in the breast pocket.**
The handset may interfere with the operation of sensitive electronic equipment.

● **If you have a weak heart, take extra precautions when setting functions such as the vibrator and ringtone volume for incoming calls.**
Various settings may have effects on your heart.

● **Pull off the road and park before making or answering a call if driving conditions so require.**

● **Do not place a handset in the area over an air bag or in the air bag deployment area.**
Air bags inflate with great force. If a handset is placed in the air bag deployment area and the air bag inflates, the handset may be propelled with great force and cause serious injury to occupants of the vehicle.

CAUTION

● **The handset may sometimes affect car mechanisms when used in a car.**
For safe driving, check that steps to protect the car from electromagnetic waves have been implemented with the automobile retailer before using.

● **The materials used in this handset may cause an allergic reaction in some people.**
If you have a reaction while using the handset, immediately stop the use and consult a doctor.

● **Do not expose to water.**
May cause overheating, electric shock, malfunctions or bodily injury. Be attentive to where and how you use your handset.

● **If you hear thunder while using the handset outdoors, immediately turn it OFF and move to a safe location.**
There is a risk of being struck by lightning and suffering electric shock.

● **Keep the handset away from credit cards, phone cards and floppy disks to avoid data loss.**

● **Do not subject display to shocks.**
The display is made of glass and may cause injury if broken.

● **Do not use the handset if the antenna is damaged.**
The broken antenna may cause burns or other injuries if in contact with skin.

● **Do not swing the handset by the antenna or strap.**
May result in injury or breakage.

● **Do not use in crowded areas.**
The antenna may strike others and cause injury.

● **Turn handset power OFF in crowded areas.**

● **Do not attach metal objects such as speaker pins.**
May result in injury.

● **Do not use the flash except as a simple light or when taking photos.**
May result in injury or vision impairment.

● **While charging, do not cover with paper, cloth, or blankets, or allow your skin to come into contact for a long period of time.**
May result in burns or malfunction.

● **Do not turn up the volume too high when using the stereo earphone microphone (optional).**
Loud volume may result in hearing impairment. Additionally, loud volume causes surrounding sounds to be inaudible and may result in an accident.

Battery

DANGER

● **Do not disassemble or modify the battery. In addition, do not solder directly to the handset.**
The battery may leak, overheat, explode or catch fire.

● **Do not use or store near fire, heat source or in extreme heat.**
The battery may leak, overheat, explode or catch fire.

● **Do not expose to fire.**
The battery may leak, overheat, explode or catch fire.

● **Do not connect wires and other metal objects to connector terminals.**
Keep away from metal necklaces and other objects when carrying or storing.

● **Do not nail, hammer or step on the battery.**
The battery may leak, overheat, explode or catch fire.

● **Keep the battery out of rain or extreme humidity.**
Fire, electric shock or malfunction may occur. Be aware of surroundings when using.

● **Do not force the battery when connecting to the charger.**
The battery may leak, overheat, explode or catch fire.

● **If battery fluid gets into eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.**
Eyes may be severely damaged.

WARNING

● **If battery does not charge properly, stop charging.**
The battery may leak, overheat, explode or catch fire.

● **If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery from handset.**
The battery may leak, overheat, explode or catch fire.

● **If there is leakage or abnormal odor, avoid fire sources.**
May catch fire/burst.

● **If battery fluid gets on skin or clothes, rinse with clean water immediately.**
Failure to do so may result in rashes.

● **Keep handset away from direct sunlight (inside cars, etc.) or heat sources.**
The battery may leak, overheat, explode or catch fire.

Charger

● **Do not charge a wet battery.**
The battery may leak, overheat, explode or catch fire.

● **Do not use a damaged charger or In-Car Charger cord.**
Continued use may result in fire, overheat or electric shock.

● **Do not short-circuit the charger terminal when the adapter or charger is connected to a power outlet. Also, do not allow any part of your body to come into contact with the charger terminal.**
May result in a fire, electric shock, equipment malfunction or bodily injury.

● **Keep the charger dry.**
Charger may heat or cause electric shock if exposed to water or other fluids. Be aware of surroundings when using.

● **Do not disassemble or modify handset.**
Fire, electric shock or malfunction may occur.

● **Keep the handset out of rain or extreme humidity.**
Electric shock may occur.

● **Avoid wires and other metal objects and secure the plug when inserting the power cord into an outlet.**
Electric shock may occur.

● **Do not touch plug with wet hands.**
Electric shock may occur.

● **Be sure to unplug charger or In-Car Charger before a long period of disuse.**
Fire, electric shock or malfunction may occur.

● **Use only the specified voltage.**
Non-specified voltage may cause fire or electric shock.
Rapid Charger: 100 V to 240 V AC

● **Keep the charger clean.**
Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.

● **If water or foreign matter should get inside handset, unplug the charger.**
May result in a fire or electric shock, or emit smoke.

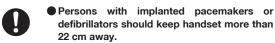
CAUTION

● **Do not place heavy objects on the charger cord.**
Fire or electric shock may occur.

● **Grasp plug (not cord) to unplug Rapid Charger.**
Pulling on the cord may damage the cord and cause an electric shock or fire.

● **When cleaning the handset, unplug the charger/In-Car Charger.**
Electric shock may occur.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference April, 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

● **Persons with implanted pacemakers or defibrillators should keep handset more than 22 cm away.**
Implanted pacemakers or defibrillators may malfunction due to radio waves.

● **Turn handset power OFF in crowded places such as trains. People with implanted pacemakers or defibrillators may be near.**
Implanted pacemakers or defibrillators may malfunction due to radio waves.

● **Observe these rules when visiting medical institutions:**

- Do not take handset into operating rooms, Intensive or Coronary Care Units.
- Keep handset OFF in hospitals.
- Keep handset OFF in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding mobile phone use in medical institutions.
- If function to automatically turn power on is set, cancel settings before turning power OFF.
- Consult manufacturer for radio wave effects on electronic equipment if devices other than implanted pacemakers and defibrillators are used outside of medical institutions.

Memory Card

 WARNING

- **Keep Memory Card out of the reach of children.**
  It may be accidentally swallowed. If swallowed, consult a doctor immediately.

 CAUTION

- **Do not insert objects other than Memory Card into the memory card slot.**
  Fire, electric shock or malfunction may occur.

- **When saving or loading memory card data, do not turn off your phone, shake or subject to shock, or remove the memory card.**
  May result in data loss or malfunction.

- **Use only the specified Memory Card.**
  May result in data loss or malfunction. For details on specified equipment, contact the Vodafone Customer Center (☞p.25-55) or your nearest Vodafone dealer.

General Notes

General Use

- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of data. Please keep separate records of Phone Book data, etc.
- Japan Mode (3G mode) is only available in Japan.

In Automobiles

- Do not use the handset while driving. Doing so is dangerous.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect an automobile's electronic equipment.

Aboard Aircraft

- Never use handset aboard aircraft. (Keep power OFF.)

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. Vodafone is not liable for any resulting damages.
- Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Do not drop or subject the handset to shocks.
- Clean handset with dry, soft cloth.
  Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Handset is not waterproof. Keep it away from fluids and high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset display.
- Make sure the handset power is turned OFF when inserting/removing Memory Card.
- Do not attach other labels or stickers. Damage to Memory Card slot or card contents may result.
- Use an oil-based felt-tip pen to write on Memory Card. Do not use a pencil or ballpoint pen. Damage to Memory Card or contents may result.
- Do not touch the terminals with your hands or metal objects.
- Memory Cards have limited product life span. After long usage, data may not be savable.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera. In addition, materials recorded using this product are also subject to the above defined restrictions.

Symbols Used In This Manual

Menu Key

Press the Menu Key to display the menu when appears at the bottom center of the screen. For example, "press " means "press to display the menu" in this chapter.

Navigation / Select Key

The Navigation/Select Key is notated as follows depending on the operation.

- , , or : Move the key up, down, left or right
- : Press the key

When selecting a menu item, moving the cursor, or scrolling the screen, move the Navigation/Select Key up, down, left or right.

Press the key to confirm selecting the menu item or confirm the character when entering text.

The Navigation/Select Key notation for selecting menu items is omitted in this chapter. For example, "Select ***Phone Book*** →" means "Press or to select ***Phone Book*** in the menu and press ."

Soft Key

Press the Soft Keys and to operate functions that appear on the bottom right and left of the screen.

For example, "SELECT" that appears on the left corresponds to and "BACK" that appears on the right corresponds to . The operation changes according to available functions. Press or to perform the shown function.

Corresponding guides are shown as [SELECT] and [BACK] in this chapter.

Abridged English Manual

25

Minding Mobile Manners

Basic Handset Etiquette

Please use your handset responsibly.

- Turn it off in theaters, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using it in restaurants, hotel lobbies, elevators, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or automobile traffic.

Manner mode (***Vibrate***) silences ringtones and allows use without disturbing others.

All ringtones, Key Volume and Alarm are off by default when manner mode (***Vibrate***) is set.

Manner-Related Features

Manner Mode (Vibrate) On/Off

Silences ringtones and other sounds.

1 In Standby, press and hold # for 1+ seconds

Manner mode (***Vibrate***) is set.
To disable manner mode (***Vibrate***), press and hold # for 1+ seconds again.

Changing Manner Mode (Vibrate)

Change volume of various items when ***Vibrate*** is set.

1 In Standby, press ▭

2 Select ***Settings*** → ***Ring Styles*** → ***Style:*** → ***Vibrate*** and press ◎

3 Select ***Vibrate Detail*** and press ◎

4 Select an item and press ◎

5 Select type of vibration and press ◎

Select from ***Silent*** and five vibration patterns.

USIM Card

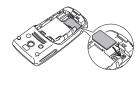
USIM Card contains phone number and other data such as Phone Book. Handset must be turned off when inserting/removing Memory Card.

When removing USIM Card from the handset, avoid bending or scratching, keep away from static electricity or water and keep the card clean. Use dry, soft cloth to clean.

Inserting USIM Card

1 Open the battery cover and remove the battery

2 Insert USIM Card, with IC Chip facing down, all the way into the slot

Battery Cover Remove Button

3 Insert the battery

4 Close the battery cover

Removing USIM Card

1 Open the battery cover and remove the battery

2 Pull out USIM Card

3 Insert the battery

4 Close the battery cover

USIM PINs

There are two Security Codes for USIM Card: PIN and PIN2. Write down PINs.

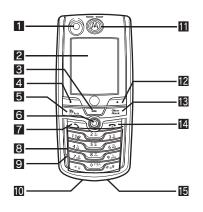
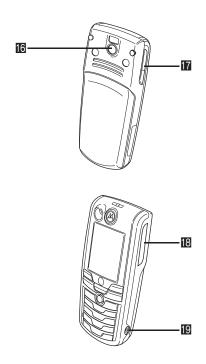
PIN & PIN2

PIN: Four to eight-digit security code to prevent unauthorized use of Vodafone handset by a third party. When ***USIM PIN*** is ***On***, PIN Code is required when the handset is turned on.

Default settings for the PIN and PIN2 are ***9999*** and both can be changed.

PIN Lock & Cancel PIN Lock

PIN Lock or PIN2 Lock is activated if PIN or PIN2 is incorrectly entered 3 times consecutively. Enter PIN Unblock Code (PUK) to cancel PIN Lock and set new PIN Code. For information on PUK, contact Vodafone Customer Center (☞p.25-55).
If PUK is incorrectly entered 10 times, USIM Card is locked and handset is disabled. USIM Card Lock cannot be canceled. Contact Vodafone Customer Center (☞p.25-55).

Handset

1 **Internal Camera**

2 **Display**

3 **Menu Button**
Open Main Menu and sub menus.

4 **Left Soft Key**
Initiate function that appears on the bottom left guide of the display.(☞P.25-15)

5 **Video Call Key**
Make or receive Video Call.

6 **Navigation / Select Key** ( ) ・
Move the key to select menus and items, move cursor during text entry, or scroll. Press the key to confirm selecting menus.

7 **Audio Call Key**
Make or receive Voice Call.

8 **Keypad**
Dial phone numbers or enter numbers and characters.

9 **Microphone**

10 **Charger Terminals**

11 **Earpiece**

12 **Right Soft Key**
Initiate function that appears on the bottom right guide of the display.(☞P.25-15)

13 **Clear Key**
Delete characters or return to the previous screen.

14 **Power On/Off & End Key**
Turn power On/Off, end calls or exit menus.

15 **External Device Connector**

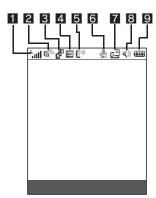
16 **External Camera**

17 **Volume Key**
Adjust speaker volume during calls or ringtone volume.

18 **Camera Key**
Activate camera or take pictures.

19 **Stereo Earphone/Microphone Jack**
Connect Stereo Earphone/Microphone.

Display

Actual screens may differ from those depicted in this manual.

1 Signal Status Indicator

Shows signal strength with vertical bars.

2 Network Indicators

Shows the status of network.

: Packet transmission area

: Packet transmission supported

3 Connection and Data Transmission Status Indicators

: Normal circuit connection

: Secure circuit connection

: Normal packet transmission to sites

: Secure packet transmission to sites

: Packet transmission

4 Transmission Status Indicators

(3G) appears in Japan. The network in use (: 3G, : GPRS, : GSM) appears when using abroad.

5 Call Status Indicators

appears during calling and talking. appears when set to forward all incoming calls (Voicemail, etc.).

6 JAVA Run Status Indicator

appears when JAVA is running.

7 Received Message Status Indicators

Shows the status of Received Message.

- : Unread SMS or MMS
- : Unread MMS
- : Message forwarded to Voicemail
- : Message forwarded to Voicemail and unread SMS or MMS
- : Received Message memory full

8 Incoming Alert Indicators

- : Silent set
- : Vibrate set
- : Vibrate & Ring set
- : Loud Ring set
- : Soft Ring set

9 Battery Indicator

Shows battery strength with vertical bars.

If ***Low Battery*** appears and Battery Alarm sounds, charge the battery.

Handset Codes

This handset uses the following codes.

Security Code

Six-digit security code entered when Unlock Code and Private Entries Code are lost, or to initialize the handset. Default setting is 000000 but can be changed.

Unlock Code

Security code used to lock handset and functions. Default setting is 1234 but can be changed.

Center Access Code

Four-digit number selected at initial subscription required to set optional services via landlines. To change this code, contact Vodafone Customer Center (☞p.25-55).

Call Barring Password

Four-digit number selected at initial subscription to configure settings for Call Barring service but can be changed using the handset.

Private Entries Code

Four to eight-digit number for when viewing private data. Set the number you like.

If codes are forgotten, contact Vodafone Customer Center (☞p.25-55).

Battery & Charger

Before Using Battery & Charger

- Battery life depends on several factors such as various settings, signal strength, temperature, active functions, attached external devices or voice/data applications used.
- To prevent injury, keep metal objects away from battery terminals.
- Use only specified battery and charger. Vodafone cannot be held responsible for damages incurred as a result of using non-specified battery or charger.
- New batteries or batteries that have been stored for a long time may take longer to charge.

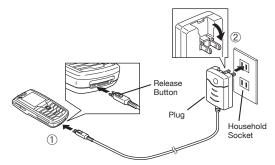
Battery Life

- Charge battery at or near room temperature.
- Keep battery within a range of –10°C to 45°C. Additionally, do not leave battery inside cars.
- Do not charge battery before storing. Store battery in a cool, dark, dry place.
- Because the battery is expendable, charging time may be longer. This is not a malfunction. Replace battery if operating time becomes substantially shorter than normal.

Battery Disposal

- Dispose of battery properly after use (battery may be recycled). Battery type is written on label. Contact a recycling center on how to dispose of battery properly.
- Do not throw battery into fire. This may result in explosion.

Using Rapid Charger

Battery is not completely charged at time of purchase. Charge battery before using handset.

1 Insert the Rapid Charger connector, with the release button facing up, to the left side of the battery terminal on your handset until you hear a click. (Repeat this process in the case of a bad connection.)

2 Plug in Rapid Charger

3 When ***Charge Complete*** appears, pull plug from socket while holding release button

Turning Handset On/Off

Turning Power On

Press and hold [power key] for 2+ seconds

Turning Power Off

Press and hold [power key] for 2+ seconds

Changing Display Language

1 In Standby, press [menu key]

2 Select ***Settings*** → ***Initial Setup*** → ***Language***

3 Select ***English*** or ***日本語*** and press ◎

Showing Own Number

1 In Standby, press [menu key] [# key]

2 Select ***Line1*** and press ◎

Setting Keypad Lock

Set Keypad Lock to prevent accidental operation when carrying around the handset while the power is on.

Press [menu key] [* key] in Standby

Keypad Lock is activated, and ***Press Menu then * to lock or unlock keypad*** appears if a key is pressed.
Press [menu key] [* key] again to deactivate Keypad Lock.

Setting Date & Time

1 In Standby, press ⊟

2 Select ***Settings*** → ***Initial Setup*** → ***Time and Date***

3 Enter current date and time

Calling from Abroad (International Roaming)

1 In Standby, press ⊟

2 Select ***Settings*** → ***Network Set*** → ***Network Setup*** → ***Band***

3 Select regional band and press ◎

To automatically switch: Select ***Automatic***.
For North America (including Hawaii) : Select ***1900***.
For Asia, Europe, Oceania : Select ***GSM900/1800*** or ***European***.

4 Select ***Type*** → ***Automatic*** and press ◎

5 Select ***Speed*** → ***Medium*** and press ◎

Making a Call

Calling in Japan

1 In Standby, enter phone number

2 Check number and press

3 Press to end call

Calling Japan from Abroad

Call landlines or mobile phones in Japan or abroad.

1 In Standby, press and hold for 1+ seconds

+ is entered.

2 Dial phone number

Enter other party's country code and phone number (without 0 in area code).

3 Press

Redial

1 In Standby, press

2 Select phone number and press

Checking Call Time

Checking Previous Call Time

Show call time of previous call.

1 In Standby, press [key]

2 Select ***Call Logs*** → ***Call Times*** → ***Last Call*** and press ◎

Checking Total Call Time

Show total call time since last reset.

1 In Standby, press [key]

2 Select ***Call Logs*** → ***Call Times*** → ***Dialled Calls***, ***Received Calls*** or ***All calls*** and press ◎

Checking Lifetime Call Time

Show total call time from when handset was purchased.

1 In Standby, press [key]

2 Select ***Call Logs*** → ***Call Times*** → ***Lifetime*** and press ◎

Answering Calls

1 Incoming calls are notified by ringtone or vibrator

2 Select [ANSWER] to talk

3 Press to end call

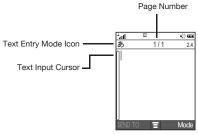
When Call Cannot be Answered

Forward call to preset phone number or other numbers.

During incoming call, press [DIVERT]

Entering Characters

Text Entry Mode

In the text input screen, press [Mode] to switch between katakana, roman letters, number and hiragana modes.

Current text entry mode is displayed in Text Entry Mode Icon.

あ ：Hiragana mode
ア ：Katakana mode
Abc ：Roman letter mode
123 ：Number mode

Key Assignments

	Kanji/Hiragana Entry Mode	Katakana Entry Mode (Single-byte)	Roman Letter Mode	Number Mode
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	. - @ / : ~ 1	1
2	かきくけこ	カキクケコ	a b c 2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	d e f 3	3
4	たちつてとっ	タチツテト ッ	g h i 4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	j k l 5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	m n o 6	6
7	まみむめも	マミムメモ	p q r s 7	7
8	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	t u v 8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	w x y z 9	9

	Kanji/Hiragana Entry Mode	Katakana Entry Mode (Single-byte)	Roman Letter Mode	Number Mode
0 わをん	わをんゎ、。 ？！ー・	ﾜｦﾝ､｡ ?!ｰ･	0	0 (Press and hold for 1 seconds to enter +)
*	Pictographs (Before confirming character: Add ゛/゜)	*	Pictographs (Before confirming character: Add ゛/゜)	*
#	、。 (Press after confirming character to enter symbols)	Enter symbols	Enter symbols	#
	Move cursor up (Before confirming character: Default conversion (reverse order)) (While converting: Show conversion list)	Move cursor up		

	Kanji/Hiragana Entry Mode	Katakana Entry Mode (Single-byte)	Roman Letter Mode	Number Mode
	Move cursor down (Before confirming character: Default conversion (priority order)) (End of text: Line break) (While converting: Show conversion list)	Move cursor down (After confirming character: Line break)		
	Move cursor left (While converting: Change characters to convert)	Move cursor left		
	Move cursor right (While converting: Change characters to convert)	Move cursor right		
Clear/Back	Erase one character left of cursor (Press for 1+ seconds: Erase all text being edited)			
	Line break			
A/a	Enter spaces (Press for 1+ seconds: Enter multiple spaces)			

	Kanji/Hiragana Entry Mode	Katakana Entry Mode (Single-byte)	Roman Letter Mode	Number Mode
(When entering text)	Toggle between upper and lower cases (only letters that can be turned to lower case)		Toggle between upper and lower cases	Enter spaces

Entering Symbols, Pictographs and Emoticons

Symbols

1 Press in hiragana, katakana or roman letter mode

Palette appears.

2 Select a symbol and press ◎

Pictographs (E-Moji)

1 Press in hiragana or roman letter mode

Palette appears.

2 Select a pictograph and press ◎

Emoticons

1. In the text input screen, press [soft key]

2. Select ***Entry Mode*** and press ◎

3. Select ***Emoticon*** and press ◎

Emoticon list appears.

4. Select an Emoticon and press ◎

Phone Book Entry Items

Item	Description	
	Handset	USIM Card
Name	Kanji, hiragana, katakana, roman letters, numbers, symbols, Pictographs (up to 24 single/ double-byte)	Kanji, hiragana, katakana, roman letters, numbers, symbols, Pictographs (up to 24 single/ double-byte)
Yomigana	Kanji, hiragana, katakana, roman letters, numbers, symbols, Pictographs (up to 24 single/ double-byte)	Kanji, hiragana, katakana, roman letters, numbers, symbols, Pictographs (up to 24 single/ double-byte)
No. (phone number)	Up to 40 digits	Up to 40 digits
Type	Divided into 7 types	—
Store To	Handset or USIM Card	Handset or USIM Card
Voice Name	Record other party's name	—
Speed No. (Speed Dial number)	1 to 500	501 to 550

Item	Description	
	Handset	USIM Card
Category	4 groups	4 groups
Street 1, Street 2	Up to 30 single/ double-byte characters	—
City	Up to 30 single/ double-byte characters	—
County	Up to 30 single/ double-byte characters	—
Zip/Postal Code	7 digits	—
Country	Up to 30 single/ double-byte characters	—
Birthday	Date	—
Ringer ID	Select from list	—
Picture	Select from list	—
Private	—	Select Yes or No
Email Address	50 single-byte characters	50 single-byte characters

Saving to Phone Book

Save phone numbers, mail addresses, and names to Phone Book.

1 In Standby, press

2 Select ***Phone Book*** and press

3 Press [New]

4 Select ***Phone Number*** and press

5 Select ***Name*** and press , enter the name and press

6 Select ***No.*** and press , enter the phone number and press [OK]

7 Select ***Type*** and press

8 Select an icon and press

Select from ***Work***, ***Home***, ***Main***, ***Mobile***, ***Video***, ***Fax***, ***Pager***.

9 Press [DONE]

Editing Phone Book

1 In Standby, press

2 Select ***Phone Book*** and press

3 Select a name with and press

4 Select ***Edit*** and press

5 Edit using the same procedure as "Saving to Phone Book"

Dialing from Phone Book

1 In Standby, press

2 Select ***Phone Book*** and press

3 Select a name with and press

Press when making a Video Call.

Various Search Methods for Phone Book

- Yomigana Search Window
  Enter characters and press [SEARCH] to show matching entries.
- Speed Dial Search Window
  Enter Speed Dial number and press [SEARCH] to show matching entries.

Video Call

Making Video Calls

Talk while viewing the other party.
To use Video Call, it is required that the other party also has a Video Call compatible phone.

1 In Standby, enter phone number

Check the signal quality and enter phone number.

2 Check the number and press

Call is made.

3 Press when call is finished

Call ends.

Receiving Video Calls

1 The handset rings and ***Incoming Video Call*** appears

2 Press and talk

3 Press when call is finished

When Video Call Cannot be Answered

Forward to a saved Transfer to link when call cannot be answered.

Press [DIVERT] while a Video Call is incoming

Call is forwarded.

Before Using the Camera

The 702sMO is equipped with an external camera and an internal camera. Use the cameras to capture still and video images.

- The Camera is a precision instrument; however, some pixels may appear brighter or darker than others.
- If the 702sMO is left in a warm location, image quality of pictures and movies shot or saved afterwards may be lessened.

Precautions Before Using the Camera

- Make sure that the lens is clean before taking pictures. Fingerprints and oil on the lens will cause pictures to be out of focus. Wipe the lens with a soft cloth.

Precautions When Using the Camera

- Be careful not to shake camera. Image may become blurry. Hold firmly and shoot or place on a solid surface and use the Auto-Timer to shoot.
- Be careful to keep your fingers and the strap away from the lens.

Capturing Still Images

Specify the resolution and image quality in Still Image Capture Mode.

Resolution: MMS (160 × 120 pixels), Medium (320 × 240 pixels), High (640 × 480 pixels)

Quality: Good, Better, Best

Capturing Images

1 In Standby, press

2 Select ***Camera*** and press ◎

A camera is activated and Still Image Capture Mode is started. An image is displayed in the Viewfinder.

3 Press [CAPTURE]

A picture is taken.

Hint: To switch the flash On and Off, press .

4 Press [OPTIONS]

5 Select ***Store Only*** and press

Capturing Movies

Specify the image quality and recording time in Movie Capture Mode.
Recording time: MMS Short (10 seconds), MMS Long (15 seconds), Maximum (30 seconds)
Quality: Good, Better, Best

When saving to a Memory Card, the maximum recording time is 3 minutes.

Capturing Movies

1 In Standby, press

2 Select ***Record Video*** and press

3 Press [CAPTURE]

Movie capturing is started.

To pause capturing, press [PAUSE].

4 Press [STOP]

Movie capturing is stopped.

5 Press [OPTIONS]

6 Select ***Store Only*** and press

Memory Cards

Inserting/Removing Memory Card

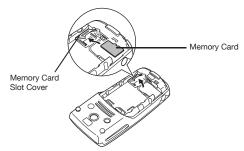
Handset must be turned off when inserting/removing Memory Card.

Inserting

1 Slide the battery cover in the direction indicated with the arrow and remove it

Remove battery if inserted.

2 Open Memory Card slot cover and set Memory Card

Be careful of Memory Card orientation when setting.

3 Close Memory Card slot cover and set battery

4 Push in until the battery cover clicks

Removing

1 Slide the battery cover in the direction indicated with the arrow and remove it

Remove battery if inserted.

2 Open Memory Card slot cover and remove Memory Card

3 Push in until the battery cover clicks after setting battery

SD Adapter

Turn labels of SD adapter and Memory Card so that they face each other. Push in the direction of the arrow.

Locking Memory Card

Set Write Protection Switch to Lock to prevent accidental erasure or overwriting. Switch Write Protection Switch to Lock to prevent data from being deleted or saved.

Data Folder Configuration

The three folders in Data Folder include Pictures folder, Sound & Ringtone folder and Videos folder. Organize created, received or downloaded files. Also, create a category in a folder and organize files. Directly access download sites for wallpaper, videos and ringtones from Pictures folder, Sound & Ringtone folder and Videos folder.

Toggle between ***Phone Memory*** and ***Memory Card*** if Memory Card is inserted and ***Pictures***, ***Videos*** or ***Sound&Ringtone*** is selected.

Checking Saved Files

1 In Standby, press ⊟

2 Select ***Data Folder*** and press ◎

3 Select ***Pictures***, ***Sound&Ringtone*** or ***Videos*** and press ◎

4 Select a file and press ◎

Selected file opens.

Attaching Files from Data Folder

When attaching files to MMS:

- Send up to 300 KB of mail and attachments.

Attach image, video and sound files from Data Folder to MMS.

1 In message input screen, press ⊟

2 Select ***Message Options*** → ***Attachments*** and press ◎

3 Select file type to attach or data from Phone Book and press ◎

Call Forwarding Service

Forward Voice and Video Calls to another phone number.

1 In Standby, press

2 Select ***Settings*** → ***Diverts*** → ***Voice Calls*** or ***Video Calls*** → ***Divert*** and press ◎

3 Select a forwarding method and press ◎

- Forwarding Method
  All Calls : Forward all incoming calls.
  If Unavailable : Forward when call cannot be answered.
  Detailed : Forward to different numbers depending on conditions.
  Off : Calls are not forwarded.

4 Select ***To*** and press ◎

5 Enter a forwarding number and press [OK]

6 Press [DONE]

Voicemail Service

Received Voicemail messages are saved on the Voicemail Center. Call the Voicemail Center to check messages.

Checking Messages (Play Messages)

1 In Standby, press

2 Select ***Messaging*** → ***Voicemail*** and press ◎

When a Message is Recorded

New Voicemail Message appears when a message is recorded.

1 Press

Call the Voicemail Center.

Before Using Vodafone live!

Mail

Exchange messages with Vodafone handsets, e-mail compatible handsets, personal computers and other devices both in Japan and overseas.

MMS: Exchange long text messages of up to approximately 30,000 single-byte characters or 15,000 double-byte characters with Vodafone handsets, e-mail compatible handsets, personal computers and other devices. Attach movie, picture, sound and other files to messages.
A separate subscription is required for using MMS.

SMS: Exchange text messages of up to 70 double-byte characters, 140 single-byte katakana, or 160 single-byte alphanumeric characters with Vodafone handsets (Sky Mail/SMS compatible models). Enter a Vodafone number to send SMS.

Retry Function
If a recipient's handset is turned off or out of range, messages are stored at Service Center. The Center attempts to deliver messages for up to 72 hours. Undeliverable SMS and MMS Notices are deleted. However, MMS is stored at the Center for up to 30 days.

Web

Web is an Internet connection service for accessing various contents provided by Vodafone live!. Search for information or download images, sounds, etc. for exclusive use on the handset.
A separate subscription is required for using Web.

Access from Menu: Obtain information from the Web menu.

Internet Access: Obtain information from the Internet.

V-applications

Download and run a variety of V-applications such as games and 3D images.

702sMO may not support unofficial V-applications.

Checking New Messages

Incoming mail ringtone, animation and indicator notify you when new MMS or SMS is received.

1 A new message is received

2 Press ◎

The sender's name appears.

3 Press [READ] (for MMS)

When an MMS message is received, the sender's email address or phone number (or name, if the phone number is stored in the phonebook) and the subject appear. Press [PICKUP] to download the message.
For SMS, press [READ]. The body text downloaded to the handset appears.

Using Received Messages

Reply to or forward a received message or call senders directly from messages received from Vodafone handsets.

Replying to Message Immediately

Check a received message and reply to the sender. Choose whether or not to include original message text. Send one message to up to five recipients.

1 Open a message and press [REPLY]

2 Enter body text and press [SEND]

The message is sent.

Forwarding Message Immediately

Forward a received message to another recipient.

1 Open a message and press [soft key]

2 Select ***Forward*** and press ◎

The body text input screen appears.

3 Press [key] [Send to], select a recipient and press [key] [SEND]

The message is sent.

Calling Sender

When a message is received from a Vodafone handset, call the sender from the message.

1 Open a message and press [soft key]

2 Select ***Voice Call Back*** or ***Video Call Back*** and press ◎

3 Press [key] [CALL]

The phone number is dialed.

Sending Messages

Character Entry Limits

SMS	Up to 70 double-byte characters, 140 single-byte katakana or 160 single-byte alphanumeric characters
MMS	Up to approximately 15,000 double-byte characters or approximately 30,000 single-byte characters (up to 300 KB of a combination of file attachments and message body text)

Message character limit differs by attachment size and number of recipients.

Input Items

SMS	Recipient, body text
MMS	Recipient, subject, body text, file attachment, priority level, receipt request

Messages can be sent without entering Subject.

1 In Standby, press

2 Select ***Messaging*** → ***Create Message*** → ***New SMS*** or ***New MMS*** and press ◎

3 Enter body text and press [Send to]

4 Select or enter a phone number or address

Alternatively, select a phone number or address from the Phone Book.
To select it, go back to body text input screen, press and select ***Insert*** → ***Contact Info***.

5 Enter a subject (for MMS)

To enter a subject, press and select ***Message Options*** → ***Subject***.

6 Press [SEND]

The created message is sent.

Checking Contents of Message

Received SMS and MMS are saved to the Received Message, and sent SMS and MMS are saved to the Sent Messages. Unsent SMS and MMS are saved to the Draft Messages.

1 In Standby, press

2 Select ***Messaging*** → ***Received Message***, ***Sent Messages*** or ***Draft Messages*** and press

The message list for the selected mailbox appears.

3 Select a message and press [READ]

The message details appear.

Replying & Forwarding

Replying to Messages

Reply to the sender of a received message.

- Send one MMS message to up to five recipients.

1 In Standby, press

2 Select ***Messaging*** → ***Received Message*** and press

3 Select a message and press

4 Press [REPLY]

5 Enter body text

6 Press [SEND]

Forwarding Message

Forward a received message to another recipient.

1 In Standby, press ⊟

2 Select ***Messaging*** → ***Received Message*** and press ◎

3 Select a message and press ◎

4 Press ⊟

5 Select ***Forward*** and press ◎

6 Specify an address and send the message (☞p.25-49)

Accessing the Web

Accessing from Menu

From the Vodafone Web menu, select an item to access information.

- The Web menu is subject to change.

1 In Standby, press [key]

2 Select ***Vodafone live!*** → ***Vodafone live!*** and press ◎

The browser is activated and a connection is established.

3 Select an item and press ◎

4 Press [key] to end the Web.

The handset returns to Standby.

Accessing by Entering URL

Access an Internet home page by entering a URL.

- Some pages cannot be accessed. Content may appear differently from when viewed on a personal computer.

1 In Standby, press [key]

2 Select ***Vodafone live!*** → ***Enter URL*** and press ◎

3 Enter a URL and press ◎

The browser is activated and a connection is established.

V-applications

Activating V-application

Activate a default or downloaded V-application (game, application, etc.).

1 In Standby, press

2 Select ***V-appli*** and press

3 Select a game or application and press

The V-application is activated.

Ending/Pausing V-applications

1 Press while a V-application is activated

2 Select ***End*** or ***Suspend*** and press

Specifications

Due to changes in specifications some information may be slightly different.

702sMO

Continuous Call Time※1	Approximately 130 minutes
Continuous Standby Time※2	Approximately 220 hours
Dimensions (W×H×D)	Approximately 53×116×24.5mm
Handset Weight	Approximately 140 g

※1 Continuous Call Time is an average measured with a new, fully-charged battery, maximum power sending set, and normal signal reception.

※2 Continuous Standby Time is an average measured with a new, fully-charged battery and normal signal reception without calls or operations. Standby Time may decrease to less than half with a weak signal (indoors, driving, or in a purse, etc.) or out of service area in Standby. Standby Time may also vary due to battery level or temperature.

- Continuous Call Time and Continuous Standby Time may decrease if display backlight is used frequently (when using Vodafone live! etc.).

Customer Service

If you have questions about Vodafone handsets or services, please call General Information. For loss or repairs, please contact Vodafone Customer Center.

Vodafone Customer Centers
Dial toll free 157 from a Vodafone handset for General Information Dial toll free 113 from a Vodafone handset for Vodafone Customer Center

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription Area

Subscription Area		
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Vodafone Customer Center	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Vodafone Customer Center	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Vodafone Customer Center	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Vodafone Customer Center	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Vodafone Customer Center	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Vodafone Customer Center	0088-250-113

機能一覧

Vアプリ	Vアプリダウンロード
Vodafone live！	Vodafone live！
	ウェブショートカット
	URL入力
	ブラウザ設定
	履歴
	ウェブ接続設定
	お気に入り
マルチメディア	カメラ
	ムービーカメラ
	ピクチャー
	ムービー
	メロディ＆サウンド
メール	新規作成
	留守番電話再生
	受信メール
	テキスト定型文
	送信メール
	下書き
	MMS定型文

カメラ	
データフォルダ	ピクチャー
	メロディ＆サウンド
	ムービー
ツール	アラーム
	簡易電卓
	カレンダー
	USIMアプリ
	コンテンツキー一覧
電話帳	
ムービーカメラ	
ショートカット	[追加方法]
	メロディダウンロード
	ピクチャーダウンロード
	Vアプリダウンロード
	ムービーダウンロード
通話履歴	着信履歴
	発信履歴
	ノートパッドメモリ
	通話時間

設定	ユーザー設定
	着信音
	留守番転送設定
	発着信設定
	初期設定
	一般設定
	ショートカット
	イヤホンマイク
	運転中モード
	ネットワーク設定
	セキュリティ設定
	Vアプリ設定

故障かな？と思ったら

症状	確認すること	処置
電源が入らない	• 電池パックは充電されていますか？ • ディスプレイにが表示されていますか？ • を2秒以上押していますか？	• 電池の残量表示が以上であることを確認してください。少なければ充電してください。 • は画面が現れて起動音が鳴るまで押し続けてください。しばらく時間がかかる場合があります。作動しなければ電池パックが充電されているか確認してください。
	• 破損、落下、水濡れしていませんか？ • モトローラ製以外の電池パックや充電器を使っていませんか？	落としたり、濡らしたり、モトローラ製以外の電池パックや充電器を使用すると、故障することがあります。濡らしたり、他社製の付属品を使用した場合の故障は保証対象外です。

症状	確認すること	処置
USIMカードが挿入されているのに「USIMカードを挿入してください」または「USIMカードを確認してください」と表示される	USIMカードを正しくセットしましたか？	USIMカードが正しく入っているか確認してください。（☞P.1-5）
「USIMカードがロックされています」と表示される		USIMカードのロックを解除するため、PUKコードが必要です。ボーダフォンまでご連絡ください。（☞P.26-33）
電話をかけることができない／受けることができない	電波状態は良好ですか？	電波状態を確認してください（電波状態表示のアンテナが1本以上表示される場所へ移動してください）。電気や無線妨害、橋や高層ビルなどの障害物がある場所での使用は避けてください。

症状	確認すること	処置
電話をかけることができない／受けることができない	702sMO 対応のUSIM カードが入っていますか？	必要なら電源をOFF にして 702sMO 対応のUSIMカードが入っていることを確認してください。（☞P.1-5）
電話をかけようとしたら、高音と低音が交互に聞こえる	しばらくお待ちください。	ダイヤル発信の準備ができていません。電源を入れてから電話をかけるまでの時間が短かった可能性があります。画面にボーダフォンの名前が現れてから、電話をかけてください。
受信しにくい、また通話がよく途切れる	電波状態は良好ですか？	電波状態を確認してください（電波状態表示のアンテナが1本以上表示される場所へ移動してください）。橋や高層ビルなどの障害物がある場所での使用は避けてください。

症状	確認すること	処置
相手の声が聞こえない	スピーカの音量が小さすぎませんか？	通話中に本体側面のを押して音量を上げてください。音量が大きくなったことが表示されます。また、イヤホンがキャリーケースで塞がれていないか確認してください。
相手に自分の声が聞こえない	● ミュートにしていませんか？ ● マイクがキャリーケースやステッカーなどで塞がれていないか確認してください。	消音状態になっている可能性があります。ミュートを解除してください。
「ロック解除コード」と表示される		お買い上げ時に設定されているコード（1234）か、電話番号の最後の4桁を入力してください。それでも解除されない場合はボーダフォンへ連絡してください。（☞P.26-33）

症状	確認すること	処置
ある機能を使用しようとしたらロック解除コードを要求される		その機能はロックされています。ロック解除コードを忘れた場合は、P.11-12をご覧ください。
暗証番号がわからない		ボーダフォンへお問合せください。（☞P.26-33）
着信音が鳴らない		または が表示されている場合、着信音の機能がOFFになっています。変更するにはP.9-2をご覧ください。また、着信音が鳴るように設定してあっても、バイブレータやサイレントになっている可能性があります（☞P.3-2）。
受信トレイを開くことができない		SMSを使う前に、受信トレイを正しく設定してください。詳しくはボーダフォンへお問合せください。

症状	確認すること	処置
留守番電話のコマンドやパスワード、他のコードを送信することができない		電話がつながってから、コードとパスワードをプッシュトーンで送信します。プッシュトーンはロング、ショート、またはOFFに設定を変更できます。うまくいかなければ、プッシュトーンの設定を変更してください。（☞P.12-2）
画面が暗すぎる	画面の明るさを調整してみましたか？バックライトが消灯していませんか？	画面の明るさを変更してください。（☞P.8-10）バックライトの点灯時間を変更することもできます。
電池の寿命が短くなっている。長持ちさせるにはどうすればいいですか？		電池パックの性能は、充電時間、使用内容、温度変化、バックライトの使用などによって変わってきます。（☞P.1-12）
ボイスタグを録音することができない	静かな場所で録音していますか？	静かな場所へ移動して録音してください。口からマイクまで約10cm離して、普通のトーンで話してください。

付録

26

症状	確認すること	処置
データケーブルを本体に接続するとビープ音が鳴る	ビープ音は正しく接続できたことを表しています。	端子が正しく差し込まれるとビープ音が鳴ります。音が鳴らない場合は、ケーブルが外部機器側(大きい端子)と本体側(小さい端子)に正しく接続されているか確認してください。また、パソコンが省電力モードになっていてポートが作動しないようになっている可能性もあります。ポートを使用しているアプリケーション(ダイヤルアップなど)を開くと、自動的に作動します。
ケーブルでデータ送信すると、パソコンに転送速度19200bps と表示される		19200bps は、パソコンと702sMO を回線交換(CSD) 接続した際の転送速度です。本体とネットワークの転送速度は14400bps か 9600bps で、本体側の画面に表示されます。GPRS 接続の場合、転送速度はさらに早くなります。
パソコンのアプリケーションを終了してもデータ通信を終了することができない		を押してください。または、ケーブルを外すか本体の電源を切ってみてください。接続を切る場合は、常にパソコン側から操作してください。なお、いずれの方法でもパソコン側のアプリケーションに損傷を与えることがあります。
ブラウザを起動したら、「ネットワークに接続できません」と表示される		圏外エリアにいるか、ウェブアクセスに対応していないネットワークへ接続している可能性があります。
ブラウザを起動したら、「サーバが応答しません」と表示される		数分後に再度起動してください。サーバが一時的に混雑しているようです。

区点コード一覧

4桁の区点コードを使用して、文字や記号などを入力することができます。

- 表示内容は、実際と見えかたが異なる場合があります。

区点1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				

区点1〜3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
					あ					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
					い					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
					う					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
					え					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
						け				
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
						こ				
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
						さ				
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
						し				
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児

区点 1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常

区点 1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
						そ				
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
						た				
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
						ち				
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
						つ				
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
						て				
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
						と				
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
						な				
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
						に				
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
						ぬ～の				
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
						は				
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
						ひ				
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
						ふ				
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
						へ				
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
					ほ					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
					ま					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
					み					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
					む					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					め					
442										冥

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
					も					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
					や					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					

付録

26

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る～れ									
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	競	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
745	袓	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

絵文字一覧

付録

主な仕様

仕様の変更などにより、内容が一部異なる場合があります。

702sMO

連続通話時間※1	約130分
連続待受時間※2	約220時間
サイズ（W×H×D）	約53×116×24.5mm
質量	約140g

※1 充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信を設定のうえ、電波が正常に受信できる制止状態から算出した平均的な計算値です。

※2 充電を満たした新品の電池パックを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる制止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によってはご利用時間が変動することがあります。

- ディスプレイの照明が点灯している状態でのご利用（Vodafone live!ご利用時など）が多い場合、連続通話時間及び連続待受時間が短くなります。

索引

アルファベット

あ

か

さ

た

は

ま

ら

わ

保証とアフターサービス

保証について

702sMO本体をお買い上げいただいた場合は保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保障期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」（☞P.26-4）をお読みの上、もう一度お確かめください。
それでも異常がある場合は御契約いただいたボーダフォン各地域の故障受付（☞P.26-33）または最寄のボーダフォンショップへご相談ください。
その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター	
総合案内	ボーダフォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付	ボーダフォン携帯電話から113（無料）

一般電話からおかけの場合

ご契約地域

ご契約地域		
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県 長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）